

# 現場説明事項

工事名称 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第3期工事)(ゼロ債務)

担当部署 総務部 営繕課

## 「説明事項」

### 1. 工事目的

本工事は、水谷中学校普通教室棟の長寿命化のための機械設備工事を行う。

### 2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

### 3. 工事範囲

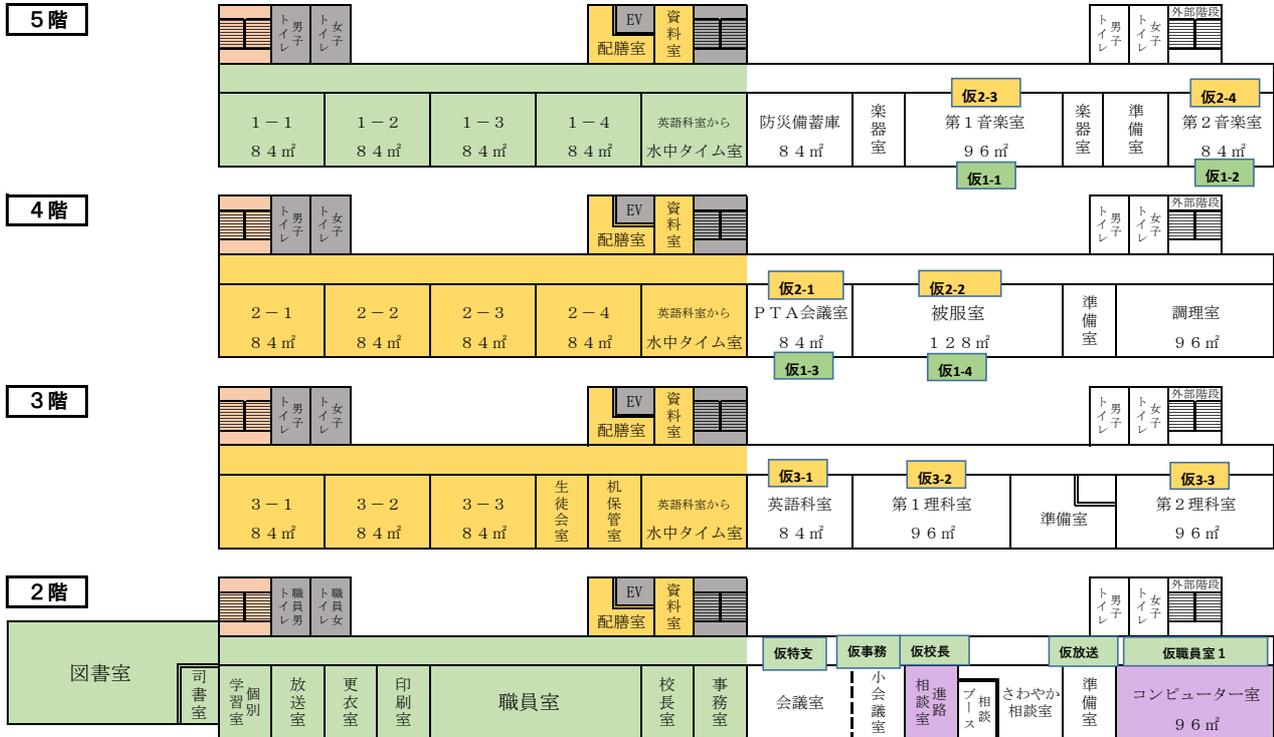
本工事の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

### 4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、設計図製本3部（見開きA3版）を提出すること。
- 2) 関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。
- 3) 仮設については、学校・学校関係者に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については、学校と協議し設置し、会議を開催できるスペースを含むこと。
- 4) 工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に車両等を駐車しないこと。  
また、スクールゾーンを留意して工事車両は通行すること。
- 5) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 6) 水谷中学校の学校環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。また、生徒の授業等に支障となる騒音、振動、異臭等が伴う工事は、原則、学校休業日に行うこと。
- 7) 現場施工期間は関連工事（建築工事、電気設備工事）を含め 令和8年6月1日から令和8年11月30日とする。また、下記①～⑦の事項に留意し、工事を進めること。
  - ①施工にあたっての調査・準備は学校、監督員と協議の上、施工期間前に可能とする。
  - ②昇降口（外構含む）・中央階段までの廊下は夏季休業期間で完了すること。（令和8年7月18日から令和8年8月24日）
  - ③3・4階工事は、令和8年6月1日から令和8年8月24日までに関連工事を含めて完了すること。
  - ④1・2・5階工事・外部トイレ工事は夏休み開始（令和8年7月18日）に合わせて行うこと。
  - ⑤別途発注予定の電気設備工事で行う施設全停電作業は、学校、監督員と協議の上、行うものとする。
  - ⑥問題なく速やかに終了させるため学校、監督員、関連工事業者（建築工事、電気設備工事）を含めて綿密に協議をすること。

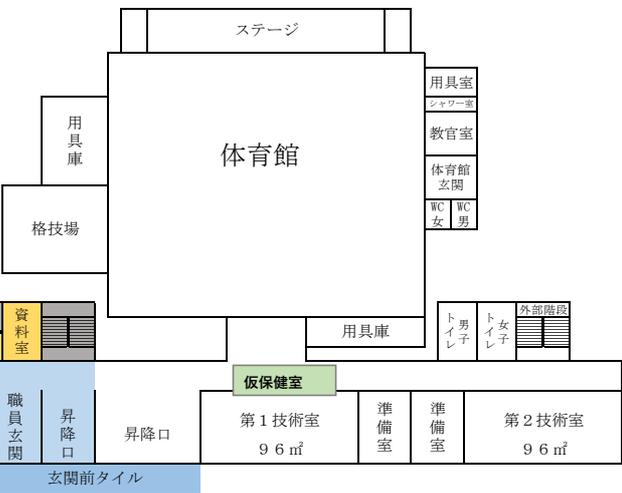
- ⑦上記の各施工については、電気設備系統、空調設備・給排水管系統等をよく確認し学校運営に支障のないようにすること。また、施工期間内に現場使用前検査（各種試験結果確認含む）を受け、関連工事とともに引き渡すこと。
- 8) 例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 9) ホルムアルデヒド等の有害化学物質の発生材は、SDS（安全データシート）を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。
- 10) 竣工図の原図は、監督員と協議の上、CAD データから作成すること。
- 11) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。
- 12) 同施設において、「市立水谷中学校長寿命化建築工事(第3期工事)(ゼロ債務)」「市立水谷中学校長寿命化電気設備工事(第3期工事)(ゼロ債務)」を予定しているため、当該工事受注者と十分協議し、工事を進めること。

# 令和8年度 学級配置計画 市立水谷中学校長寿命化工事（第3期工事）（ゼロ債務）



6月～夏休み前工事  
 6月～夏休み工事  
 6月～11月末工事  
 夏休み工事  
 夏休み～11月末工事

※電気、給排水管、空調等、別のフロアに支障が出る工事は学校、監督員と協議の上、工事を進めること。  
 ※wifiについては常時生かす（サマリーフレッシュ期間以外）



- 6月～夏休み工事**
- 2-1, 2-2, 2-3, 2-4 3-1, 3-2, 3-3, → 5階【・第1音楽室 ・第2音楽室】 4階【・PTA会議室・被服室】  
 7クラスを右の教室へ移動する。  
 3階【・水中タイム室・英語教室・第1理科室・第2理科室】 2階【・会議室】  
 1階【・第1技術室・第2技術室】  
 ※仮教室の場所は候補であり、変更の可能性あり。
- 夏休み～11月末工事**
- 1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 特支, 職員室, 事務室, 校長室, 保健室 → 5階【・水中タイム室】 4階【・水中タイム室・PTA会議室・被服室】  
 9部屋を右の教室へ移動する。  
 2階【・会議室・小会議室・進路相談室・コンピューター室】 1階【・第1技術室・第2技術室】  
 ※仮教室の場所は候補であり、変更の可能性あり。

・配膳室に配管が通っているため給食搬入路を確保し工事を行う。給食に影響がないように仮設間仕切りで区切ること。（建築工事）  
 ・中央階段前の廊下は仮設間仕切りで区分けを行い生徒動線と工事動線を分けるようにする。（建築工事）

工 程 表

工事名 市立水中学校長寿命化機械設備工事(第3期工事)(ゼロ債務)

工 種	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
1 仮設工事	[Yellow bars indicating work duration from June to November]							
2 石綿撤去工事(建築工事)	[Yellow bars indicating work duration from June to August]							
3 屋上防水・ベランダ防水(建築工事)	[Yellow bars indicating work duration from July to October]							
4 外壁改修工事(建築工事)	[Yellow bars indicating work duration from June to October]							
5 階段室	[Yellow bars indicating work duration from June to October]							
6 昇降口(外構含む・中央階段までの廊下)	[Yellow bars indicating work duration from July to August]							
7 普通教室棟(3・4階)	[Yellow bars indicating work duration from June to August]							
8 普通教室棟(1・2・5階)外部トイレ	[Yellow bars indicating work duration from July to November]							
9								
10 検査	[Red vertical bars indicating inspection points in August, November, and January]							
11	3・4階使用前検査 (in August), 1・2・5階使用前検査 (in November), 完了検査 (in January)							
12								
13								
14	夏休み期間 (July 18 - August 24)							
備考	<p>※現場施工期間は令和8年6月1日から令和8年11月30日までとする。</p> <p>※騒音、振動、異臭等、その他生徒の授業等に支障があると思われる工事は、原則、学校休業日に行うこと。</p> <p>※昇降口・昇降口前外構・中央階段までの廊下は夏休み期間内工事とし、生徒の授業等に支障がないようにすること。</p> <p>※3・4階工事は、令和8年6月1日から令和8年8月24日までに関連工事を含めて完了すること。</p> <p>※1・2・5階・外部トイレの改修工事は夏休み開始(令和8年7月18日)に合わせて行うこと。</p> <p>※上記工程表のとおり現場使用前検査(各種試験結果確認等含む)を受け引渡すこと。(関連工事共)</p>							

# 設 計 仕 様 書

工事名称 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第3期工事)(ゼロ債務)

---

工事場所 富士見市 大字水子 地内

---

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称						市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第3期工事)(ゼロ債務)					
請負工事費											
工事概要						市立水谷中学校普通教室棟の長寿命化機械設備工事 給水・排水・ガス配管等の更新 空調設備・換気設備・衛生器具の更新 高架水槽・消火用補給水槽の更新					
						上段		設計変更			
						下段		原設計			
総括表						備		考			
名称		摘要		数量	単位	金額					
機械設備工事				1	式						
計				1	式						
共通仮設費				1	式						
純工事費				1	式						
現場経費				1	式						
工事原価				1	式						
一般管理費				1	式						
工事価格				1	式					スクラップ控除前	
改め				1	式					スクラップ控除	
消費税相当額				1	式					10%	
請負工事費				1	式						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
仮設建物費	現場事務所、倉庫、下小屋、 作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に 要する費用	1.0	式			
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備 とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率)+ (積上げ)
屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の 整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
計						

(P.共通 - 2 - )

( )

( )

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設 積上げ						
レントゲン調査費	調査費用（基本料金）	3.0	日			
レントゲン調査費	箇所（フィルム・作業費）	31.0	か所			
ラフテレンクレーン	50t	3.0	日			
合計						

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
機械設備工事						
	3期					
直接工事費		1.0	式			
合計						

(P. - M - 1 )

( ..... ) 富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費	3期					
1. 空調設備工事		1.0	式			
2. 換気設備工事		1.0	式			
3. 自動制御設備工事		1.0	式			
4. 衛生器具設備工事		1.0	式			
5. 給水設備工事		1.0	式			
6. 給湯設備工事		1.0	式			
7. 排水設備工事		1.0	式			
8. ガス設備工事		1.0	式			
9. 消火設備工事		1.0	式			

(P. - M - 2 )

( ..... )

富士見市 総務部 営繕課

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
10. 撤去工事		1.0	式			
11. 処分費		1.0	式			
合計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1.	空調設備工事												
1-1	機器設備			1.0		式							
1-2	配管設備			1.0		式							
	計												
2.	換気設備工事												
2-1	機器設備			1.0		式							
2-2	ダクト設備			1.0		式							
	計												
3.	自動制御設備工事												
		自動制御設備		1.0		式							
	計												

(P. — M — 4 )

( ..... )

富士見市 総務部 営繕課

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4.	衛生器具設備工事	衛生器具設備	1.0	式		
	計					
5.	給水設備工事	給水設備				
5-1	機器設備	1.0	式			
5-2	配管設備	1.0	式			
	計					
6.	給湯設備工事	給湯設備				
6-1	機器設備	1.0	式			
6-2	配管設備	1.0	式			
	計					

(P. — M — 5 )

( ..... )

富士見市 総務部 営繕課

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7. 排水設備工事	排水設備					
7-1 機器設備		1.0	式			
7-2 配管設備		1.0	式			
計						
8. ガス設備工事						
8-1 都市ガス設備		1.0	式			
8-2 液化石油ガス設備		1.0	式			
計						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
9.	消火設備工事												
9-1	機器設備			1.0		式							
9-2	配管設備			1.0		式							
	計												
10.	撤去工事												
10-1	空調設備			1.0		式							
10-2	換気設備			1.0		式							
10-3	自動制御設備工事			1.0		式							
10-4	衛生器具設備			1.0		式							
10-5	給水設備			1.0		式							
10-6	排水設備			1.0		式							

(P. — M — 7 )

( ..... )

富士見市 総務部 営繕課

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
10-7	ガス設備			1.0		式							
10-8	消火設備			1.0		式							
	計												
11.	処分費			1.0		式							
	計												

上段 変更設計

下段 原設計

## 積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1.	空調設備工事												
1-1	機器設備												
	ガスヒートポンプエアコン												
	GHP-1 (屋外機 床置)	冷房56.0kW	暖房63.0kW	1.0		台							
	GHP-1-1 (室内機 天吊)	冷房5.6kW	暖房6.3kW	2.0		台							
	GHP-1-2 (室内機 天吊)	冷房5.6kW	暖房6.3kW	2.0		台							
	GHP-1-3 (室内機 天吊)	冷房5.6kW	暖房6.3kW	2.0		台							
	GHP-1-4 (室内機 天吊)	冷房5.6kW	暖房6.3kW	2.0		台							
	ガスヒートポンプエアコン												
	GHP-2 (屋外機 床置)	冷房71.0kW	暖房80.0kW	1.0		台							
	GHP-2-1 (室内機 天吊)	冷房5.6kW	暖房6.3kW	2.0		台							
	GHP-2-2 (室内機 天吊)	冷房5.6kW	暖房6.3kW	2.0		台							

(P. — M — 9 )

( ..... ) 富士見市 総務部 営繕課

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
GHP-2-3 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-2-4 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-2-5 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
ガスヒートポンプエアコン GHP-3 (屋外機 床置)	冷房71.0kW 暖房80.0kW	1.0	台			
GHP-3-1 (室内機 天吊)	冷房7.1kW 暖房8.0kW	2.0	台			
GHP-3-2 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-3-3 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-3-4 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-3-5 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			

上段 変更設計

下段 原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ガスヒートポンプエアコン						
GHP-8 (屋外機 床置)	冷房85.0kW 暖房95.0kW	1.0	台			
GHP-8-1 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	4.0	台			
GHP-8-2 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	3.0	台			
GHP-8-3 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-8-4 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	4.0	台			
GHP-RC	ワイヤードリモコン	19.0	台			
CR-1	集中コントローラー	2.0	台			
据付費		1.0	式			改修機械別紙明細-1
機器搬入費		1.0	式			改修機械別紙明細-2
試運転調整		1.0	式			
計						

上段 変更設計

下段 原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1-2 配管設備						
(冷媒)						
冷媒用断熱材被覆銅管改修	ガス管 (厚20mm) 28.58 φ	124.0	m			
冷媒用断熱材被覆銅管改修	ガス管 (厚20mm) 25.40 φ	14.0	m			
冷媒用断熱材被覆銅管改修	ガス管 (厚20mm) 22.20 φ	79.0	m			
冷媒用断熱材被覆銅管改修	ガス管 (厚20mm) 19.05 φ	5.0	m			
冷媒用断熱材被覆銅管改修	ガス管 (厚20mm) 15.88 φ	75.0	m			
冷媒用断熱材被覆銅管改修	ガス管 (厚20mm) 12.7 φ	123.0	m			
冷媒用断熱材被覆銅管改修	液管 (厚10mm) 15.88 φ	96.0	m			
冷媒用断熱材被覆銅管改修	液管 (厚10mm) 12.7 φ	43.0	m			

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
冷媒用断熱材被覆銅管改修	液管 (厚10mm) 9.52φ	264.0	m			
冷媒用断熱材被覆銅管改修	液管 (厚10mm) 6.35φ	17.0	m			
保温		1.0	式			改修機械別紙明細-3
(ドレン)						
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	衽` 接合 屋外架空 50A	16.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	衽` 接合 屋外架空 40A	14.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	衽` 接合 屋外架空 32A	4.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	衽` 接合 屋外架空 25A	8.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	衽` 接合 屋外架空 20A	3.0	m			

上段 変更設計

下段 原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
保温機能付空調用ドレン管改修	屋内一般 40A	35.0	m			
保温機能付空調用ドレン管改修	屋内一般 32A	113.0	m			
保温機能付空調用ドレン管改修	屋内一般 25A	6.0	m			
保温機能付空調用ドレン管改修	屋内一般 20A	92.0	m			
青銅逆止弁	10k(ねじ・スイング) 50A	1.0	個			
青銅逆止弁	10k(ねじ・スイング) 40A	3.0	個			
青銅逆止弁	10k(ねじ・スイング) 32A	1.0	個			
青銅逆止弁	10k(ねじ・スイング) 25A	1.0	個			
青銅逆止弁	10k(ねじ・スイング) 20A	1.0	個			
既設管接続						改修機械別紙明細-4
計						

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2 換気設備工事						
2-1 機器設備						
EF-1i 有圧扇	200φ x 250m <sup>3</sup> /h 電気シャッター ウェザーカバー, コントロールスイッチ含む	1.0	台			
EF-1j 有圧扇	250φ x 300m <sup>3</sup> /h 電気シャッター ウェザーカバー, コントロールスイッチ含む	1.0	台			
EF-1k 有圧扇	250φ x 320m <sup>3</sup> /h 電気シャッター ウェザーカバー, コントロールスイッチ含む	1.0	台			
EF-1l 有圧扇	250φ x 350m <sup>3</sup> /h 電気シャッター ウェザーカバー, コントロールスイッチ含む	11.0	台			
EF-1m 有圧扇	250φ x 400m <sup>3</sup> /h 電気シャッター ウェザーカバー, コントロールスイッチ含む	32.0	台			
EF-1n 有圧扇	250φ x 320m <sup>3</sup> /h 電動シャッター ウェザーカバー, コントロールスイッチ含む	2.0	台			
EF-1o 有圧扇	250φ x 580m <sup>3</sup> /h 電動シャッター ウェザーカバー, コントロールスイッチ含む	2.0	台			
EF-1p 有圧扇	250φ x 650m <sup>3</sup> /h 電動シャッター ウェザーカバー, コントロールスイッチ含む	4.0	台			
EF-4a 天井換気扇	150φ x 300m <sup>3</sup> /h 深型フード, コントロールスイッチ含む	1.0	台			

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
EF-6a 天井換気扇	150φ x300m3/h					
	深型フード、コントロールスイッチ含む	1.0	台			
EF-10a 天井換気扇	150φ x100m3/h					
	深型フード、コントロールスイッチ含む	1.0	台			
EF-12 天井換気扇	150φ x250m3/h					
	深型フード、コントロールスイッチ含む	1.0	台			
EF-13 天井換気扇	150φ x350m3/h					
	深型フード、コントロールスイッチ含む	2.0	台			
HEU-2 全熱交換器	200φ x650m3/h					
	コンパクトリモコン、ベントキャップ含む	1.0	台			
据付費		1.0	式			改修機械別紙明細-5
計						

### 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2-2 ダクト設備						
スパイラルダクト	150φ	36.0	m			
スパイラルダクト	100φ	1.0	m			
保温		1.0	式			改修機械別紙明細-6
ユニバーサル形吹出口	VHS 250x250	1.0	個			
スリット形吸込口	GV 250x250	1.0	個			
機械研り	300mm程度 300φ	2.0	か所			
機械研り	300mm程度 250φ	4.0	か所			
機械研り	300mm程度 200φ	1.0	か所			
計						

### 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3. 自動制御設備工事						
制御ケーブル	EM-CEES1.25-2C 隠ぺい	653.0	m			
制御ケーブル	EM-CEES2.0-2C 管内	92.0	m			
ねじなし電線管(E)	19mm 露出配管	57.0	m			
計						

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4. 衛生器具設備工事						
洋風大便器	掃除口付床置排水大便器	3.0	台			
小便器	壁掛壁排水小便器	3.0	台			
洗面器		7.0	台			
化粧鏡		6.0	枚			
洗濯機 <sup>パン</sup>		1.0	個			
立水栓		70.0	個			
立混合水栓	水分岐付	1.0	個			
立混合水栓		1.0	個			
横水栓		16.0	個			

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
自動水栓(壁付)		6.0	個			
洗面化粧台		1.0	台			
洗濯機用横水栓		1.0	個			
WHE-1 電気温水器		2.0	台			
立形二口水栓	ウォータークーラー用	3.0	個			
止水栓	13A S3	75.0	個			
据付費		1.0	式			改修機械別紙明細-8
計						

(P. — M — 20 )

( ..... ) 富士見市 総務部 営繕課

## 積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5.	給水設備工事												
5-1	機器設備												
	WTFP-1 高架水槽	FRP製パ	ネルタンク	1.0		基							
	WC-1 ウォータークーラー	屋内用		3.0		台							
	据付費			1.0		式							改修機械別紙明細-9
	搬入費			1.0		式							改修機械別紙明細-10
	計												

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5-2 配管設備						
一般配管用ステンレス鋼管改修	ハジメ形管継手による接合 屋内一般 150SU	10.0	m			
	ハジメ形管継手による接合 屋外架空 150SU	12.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	ハジメ形管継手による接合 屋内一般 125SU	11.0	m			
	ハジメ形管継手による接合 屋内一般 100SU	25.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	ハジメ形管継手による接合 屋外架空 100SU	70.0	m			
	拡管式 屋内一般 60SU	25.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 屋外架空 60SU	9.0	m			
	拡管式 屋内一般 50SU	22.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 機械室・便所 50SU	16.0	m			
	拡管式 屋外架空 50SU	17.0	m			

上段 変更設計

下段 原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 屋内一般 40SU	42.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 機械室・便所 40SU	2.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 屋外架空 40SU	8.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 屋内一般 30SU	69.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 機械室・便所 30SU	1.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 屋外架空 30SU	14.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 屋内一般 25SU	39.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 機械室・便所 25SU	14.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 屋外架空 25SU	10.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 屋内一般 20SU	92.0	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 機械室・便所 20SU	12.0	m			

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁(管端防食コア)	10k 50A	1.0	個			
仕切弁(管端防食コア)	10k 40A	2.0	個			
仕切弁(管端防食コア)	10k 32A	10.0	個			
仕切弁(管端防食コア)	10k 25A	5.0	個			
仕切弁(管端防食コア)	10k 20A	5.0	個			
一般配管用ステンレス鋼ハタフライ弁	10k 150A	1.0	個			
一般配管用ステンレス鋼ハタフライ弁	10k 100A	1.0	個			
伸縮継手	単式 FJ 150A	1.0	個			
伸縮継手	単式 FJ 50A	2.0	個			
伸縮継手	単式 FJ 32A	1.0	個			
ホール弁	20A	1.0	個			

(P. — M — 24 )

( ..... ) 富士見市 総務部 営繕課

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管架台		27.0	個			
機械研り	300mm程度 100φ	1.0	か所			
機械研り	300mm程度 50φ	10.0	か所			
機械研り	300mm程度 40φ	2.0	か所			
保温		1.0	式			改修機械別紙明細-11
既設管接続		1.0	式			改修機械別紙明細-13
土工事		1.0	式			改修機械別紙明細-14
計						



上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
6-2 配管設備						
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 屋内一般 20A	6.5	m			
一般配管用ステンレス鋼管改修	拡管式 屋外架空 20A	2.0	m			
仕切弁(管端防食コア)	10k 20A	1.0	個			
保温		1.0	式			改修機械別紙明細-16
機械研り	300mm程度 40φ	1.0	か所			
計						

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7. 排水設備工事						
7-1 機器設備						
プラスチックトラップ	50φ	5.0	個			
据付費		1.0	式			改修機械別紙明細-18
計						

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
7-2 配管設備						
(雑排水)						
硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 100A	34.0	m			
硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 80A	52.0	m			
硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 65A	19.0	m			
硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 50A	22.0	m			
耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP)改修	屋内一般 100A	16.0	m			
耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP)改修	屋外配管 80A	32.0	m			
耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP)改修	屋内一般 65A	21.0	m			
耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP)改修	機械室・便所 65A	6.0	m			
耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP)改修	屋内一般 50A	138.0	m			

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP)改修	機械室・便所 50A	4.0	m			
耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP)改修	屋外架空 50A	5.0	m			
耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP)改修	屋内一般 40A	2.0	m			
(汚水)						
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡 三層管(RF-VP)改修	機械室・便所 100A	7.0	m			
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡 三層管(RF-VP)改修	機械室・便所 75A	4.0	m			
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡 三層管(RF-VP)改修	機械室・便所 50A	6.0	m			
(通気)						
耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP)改修	屋内一般 65A	20.0	m			
耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP)改修	機械室・便所 50A	13.0	m			
耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (耐火VP)改修	屋内一般 32A	21.0	m			

上段 変更設計

下段 原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁(管端防食コア)	10k 50A	1.0	個			
伸縮継手	単式 FJ 50A	2.0	個			
床排水トラップ	T5B-50	1.0	個			
床上掃除口	防水形 COB100	2.0	個			
床上掃除口	防水形 COB65	1.0	個			
床上掃除口	防水形 COB50	3.0	個			
床上掃除口	非防水形 COA100	1.0	個			
床上掃除口	非防水形 COA80	2.0	個			
床上掃除口	非防水形 COA65	2.0	個			
床上掃除口	非防水形 COA50	10.0	個			
床下掃除口	C065	1.0	個			

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床下掃除口	C050	2.0	個			
排水目皿	D-50	5.0	個			
排水トラップ	T14AA50	37.0	個			
間接排水口	50-100φ	1.0	個			
防虫網	50φ	1.0	個			
通気弁	50A	10.0	個			
通気金物	露出型 65A	1.0	個			
通気金物	露出型 50A	1.0	個			
機械研り	300mm程度 125φ	10.0	か所			

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設管接続(雑排水)		1.0	式			改修機械別紙明細-20
既設管接続(汚水)		1.0	式			改修機械別紙明細-21
土工事		1.0	式			改修機械別紙明細-22
計						

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8. ガス設備工事						
8-1 都市ガス設備						
都市ガス工事		1.0	式			改修機械別紙明細-30
計						



積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配管設備						
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	ねじ接合 屋内一般 100A	6.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	ねじ接合 屋内一般 80A	11.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	ねじ接合 屋内一般 32A	2.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	ねじ接合 屋内一般 25A	27.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	ねじ接合 屋内一般 20A	37.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	ねじ接合 屋外架空 20A	5.0	m			
プロパン・ガス用 ポリエチレン管(PE)改修	地中配管 100A	1.0	m			
プロパン・ガス用 ポリエチレン管(PE)改修	地中配管 25A	8.0	m			
プロパン・ガス用 ポリエチレン管(PE)改修	地中配管 20A	19.0	m			

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切弁(管端防食コア)	10k 32A	1.0	個			
仕切弁(管端防食コア)	10k 25A	1.0	個			
仕切弁(管端防食コア)	10k 20A	2.0	個			
ガスソック	サービ`ソック 20A	6.0	個			
ガス漏れ遮断装置制御器	小規模1回路用	3.0	個			
既設管接続		1.0	式			改修機械別紙明細-24
土工事		1.0	式			改修機械別紙明細-25
計						

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
9. 消火設備工事						
9-1 機器設備						
TF-1 消火用・補給水槽	FRP製パネルタンク	1.0	基			
HB-1 消火栓	1号消火栓	4.0	基			
HB-2 消火栓	1号消火栓 送水口付	6.0	基			
据付費		1.0	式			改修機械別紙明細-26
搬入費		1.0	式			改修機械別紙明細-27
計						

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
9-2 配管設備						
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	ねじ接合 屋内一般 100A	35.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	ねじ接合 屋内一般 65A	26.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	ねじ接合 屋外架空 65A	11.0	m			
配管用炭素鋼鋼管(白)改修	ねじ接合 屋内一般 40A	2.0	m			
保温		1.0	式			改修機械別紙明細-28
末端試験弁		2.0	組			
ラインゲ 仕切弁	10k 65A	1.0	個			
ラインゲ 逆止弁	10k 65A	1.0	個			
伸縮管継手	単式 65A	1.0	個			
配管架台		5.0	個			



## 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
10. 撤去工事						
10-1 空調設備						
機器設備	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-1
配管設備	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-2
ポンプダウン		1.0	式			撤去機械別紙明細-3
計						

## 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
10-2	換気設備					
	機器設備					
	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-4
	ダクト設備					
	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-5
計						

## 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
10-3 自働制御設備						
自働制御設備	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-6
計						

## 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
10-4	衛生器具設備					
	衛生器具設備	撤去・取外し	1.0	式		撤去機械別紙明細-7
計						

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10-5 給水設備						
機器設備	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-8
配管設備	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-9
その他	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-10
計						

## 積算用紙

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
10-6	排水設備												
	機器設備	撤去・取外し		1.0		式						撤去機械別紙明細-11	
	配管設備	撤去・取外し		1.0		式						撤去機械別紙明細-12	
	その他	撤去・取外し		1.0		式						撤去機械別紙明細-13	
	計												

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10-7 ガス設備						
都市ガス設備	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-22
液化石油ガス設備						
機器設備	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-14
配管設備	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-15
その他	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-16
計						

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10-8 消火設備						
機器設備	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-17
配管設備	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-18
その他	撤去・取外し	1.0	式			撤去機械別紙明細-19
計						

### 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11 処分費						
運搬費		1.0	式			撤去機械別紙明細-20
処分費		1.0	式			撤去機械別紙明細-21
冷媒ガス破壊処理		1.0	式			撤去機械別紙明細-23
計						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	改修機械別紙明細-1	空調機器設備 据付費					
	GHP-1 (屋外機 床置)	冷房56.0kW 暖房63.0kW	1.0	台			
	GHP-1-1 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
	GHP-1-2 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
	GHP-1-3 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
	GHP-1-4 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
	GHP-2 (屋外機 床置)	冷房71.0kW 暖房80.0kW	1.0	台			
	GHP-2-1 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
	GHP-2-2 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			

(P. — M別改 — 1 )

( ..... )

富士見市 総務部 営繕課

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
GHP-2-3 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-2-4 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-2-5 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-3 (屋外機 床置)	冷房71.0kW 暖房80.0kW	1.0	台			
GHP-3-1 (室内機 天吊)	冷房7.1kW 暖房8.0kW	2.0	台			
GHP-3-2 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-3-3 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-3-4 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-3-5 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GHP-8 (屋外機 床置)	冷房85.0kW 暖房95.0kW	1.0	台			
GHP-8-1 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	4.0	台			
GHP-8-2 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	3.0	台			
GHP-8-3 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-8-4 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	4.0	台			
ワイヤードリモコン(GHP-RC)		19.0	個			
集中リモコン(CR-1)		2.0	台			
ラフテレンクレーン	25t	6.0	日			

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
再取付 AC-1(室内機 天吊)	冷房12.5kW 暖房14.0kW	1.0	台			
再取付 EHP-1-1(室内機 天吊)	冷房9.0kW 暖房10.0kW	2.0	台			
再取付 EHP-1-2(室内機 天カセ2方向)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	1.0	台			
再取付 EHP-1-3(室内機 天カセ2方向)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	1.0	台			
再取付 ワイヤードリモコン(EHP-RC)		4.0	個			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
改修機械別紙明細-2	空調機器設備 機器搬入費					
GHP-1 (屋外機 床置) 搬入	300kg/m3未満	1.0	台			
GHP-2 (屋外機 床置) 搬入	300kg/m3未満	1.0	台			
GHP-3 (屋外機 床置) 搬入	300kg/m3未満	1.0	台			
GHP-8 (屋外機 床置)	200kg/m3未満	1.0	台			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-3	空調機器設備 保温					
冷媒用断熱材被覆銅管用 保温外装	カルバリウム 6.35~38.10mm	419.0	m			
計						
改め						

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-4	空調機器設備 既設管接続					
配管分岐	鋼管類・手間のみ 保温なし 32A	3.0	カ所			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-5	換気機器設備 据付費					
EF-1i 有圧扇	200 φ x250m3/h	1.0	台			
EF-1j 有圧扇	250 φ x300m3/h	1.0	台			
EF-1k 有圧扇	250 φ x320m3/h	1.0	台			
EF-1l 有圧扇	250 φ x350m3/h	11.0	台			
EF-1m 有圧扇	250 φ x400m3/h	32.0	台			
EF-1n 有圧扇	250 φ x320m3/h	2.0	台			
EF-1o 有圧扇	250 φ x580m3/h	2.0	台			
EF-1p 有圧扇	250 φ x650m3/h	4.0	台			
EF-4a 天井換気扇	150 φ x300m3/h	1.0	台			

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
EF-6a 天井換気扇	150φ x300m3/h	1.0	台			
EF-10a 天井換気扇	150φ x100m3/h	1.0	台			
EF-12 天井換気扇	150φ x250m3/h	1.0	台			
EF-13 天井換気扇	150φ x350m3/h	2.0	台			
HEU-2 全熱交換器	200φ x650m3/h	1.0	台			
ベントキャップ 据付	200φ	7.0	個			
ベントキャップ 据付	150φ	1.0	個			
ウェザークカバー 据付	250φ	53.0	個			
ウェザークカバー 据付	200φ	1.0	個			
計						
改め						



## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-8	衛生器具設備 据付費					
洋風大便器 据付	タンク式 普通便座	3.0	組			
小便器 据付	専用洗浄弁式壁掛小便器	3.0	組			
洗面器 据付	自動水栓付 大	7.0	台			
化粧鏡 据付	360x450 程度	6.0	枚			
洗濯機ハシ 据付	トラップ付	1.0	組			
立水栓取付	水栓類取付 20A	70.0	個			
立水栓取付	水栓類取付 20A	1.0	個			
立水栓取付	水栓類取付 20A	1.0	個			
横水栓 取付	水栓類取付 20A	16.0	個			





## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-10	給水設備 機器搬入費					
WTFP-1 高架水槽 搬入	100kg/m3未満	1.0	台			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-11	給水設備 保温					
給水管保温 150A	グラスウール 天井内, ハイ°シャフト内					
	アルミガラスクロス 150A	10.0	m			
給水管保温 150A	グラスウール 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 150A	12.0	m			
給水管保温 125A	グラスウール 天井内, ハイ°シャフト内					
	アルミガラスクロス 125A	11.0	m			
給水管保温 100A	グラスウール 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 100A	70.0	m			
給水管保温 65A	グラスウール 天井内, ハイ°シャフト内					
	アルミガラスクロス 65A	25.0	m			
給水管保温 65A	グラスウール 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 65A	9.0	m			
給水管保温 50A	グラスウール 天井内, ハイ°シャフト内					
	アルミガラスクロス 50A	38.0	m			
給水管保温 50A	グラスウール 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 50A	16.0	m			

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水管保温 40A	グラスウール 天井内, ハイ°シャフト内					
	アルミガラスクロス 40A	37.0	m			
給水管保温 40A	グラスウール 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 40A	8.0	m			
給水管保温 40A	グラスウール 屋内露出					
	合成樹脂カパ-1 40A	4.0	m			
給水管保温 32A	グラスウール 天井内, ハイ°シャフト内					
	アルミガラスクロス 32A	68.0	m			
給水管保温 32A	グラスウール 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 32A	14.0	m			
給水管保温 25A	グラスウール 天井内, ハイ°シャフト内					
	アルミガラスクロス 25A	24.0	m			
給水管保温 25A	グラスウール 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 25A	10.0	m			
給水管保温 25A	グラスウール 屋内露出					
	合成樹脂カパ-1 25A	19.0	m			

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水管保温 20A	グラスウール 天井内, パイプシャフト内					
	アルミガラスクロス 20A	55.0	m			
給水管保温 20A	グラスウール 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 20A	7.0	m			
給水管保温 20A	グラスウール 屋内露出					
	合成樹脂カパ-1 20A	25.0	m			
ガルバリウム鋼板						
		146.0	m			
計						
改め						



## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-14	給水設備 土工事					
根切り	人力	29.1	m3			
山砂		2.9	m3			
埋戻量	人力	26.2	m3			
発生土処理	人力 構内敷きならし	2.9	m3			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
改修機械別紙明細-15	給湯設備 据付費					
ガス給湯器	給湯専用 屋外壁掛式 24号	1.0	個			
給湯器自立架台		1.0	個			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
改修機械別紙明細-16	給湯設備 保温					
給湯管保温 20A	グラスウール 天井内, ハイフシャフト内					
	アルミグラスクロス 20A	8.0	m			
給湯管保温 20A	グラスウール 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 20A	2.0	m			
ガルバリウム鋼板		2.0	m			
計						
改め						

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-18	排水設備 据付費					
プ ラスタートラップ°	50 φ	5.0	個			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
----	------

下段	原設計
----	-----

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-20	雑排水設備 既設管接続					
既設管接続	配管分岐(樹脂管類) 手間のみ					
	保温有 100A	2.0	カ所			
既設管接続	配管分岐(樹脂管類) 手間のみ					
	保温有 75A	2.0	カ所			
既設管接続	配管分岐(樹脂管類) 手間のみ					
	保温有 65A	1.0	カ所			
既設管接続	配管分岐(樹脂管類) 手間のみ					
	保温有 50A	3.0	カ所			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-21	汚水設備 既設管接続					
既設管接続	配管分岐(樹脂管類) 手間のみ					
	保温無 100A	1.0	カ所			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
改修機械別紙明細-22	排水設備 土工事					
根切り	人力	84.3	m3			
山砂		8.4	m3			
埋戻量	人力	75.9	m3			
発生土処理	人力 構内敷きならし	8.4	m3			
計						
改め						

上段	変更設計
下段	原設計

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-23	ガス設備 据付費					
GS-1 ガステーブル	ガステーブル据付 幅750mm以下	2.0	台			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-24	ガス設備 既設管接続					
既設管接続	配管分岐(鋼管類) 手間のみ					
	保温無 100A	2.0	カ所			
既設管接続	配管分岐(鋼管類) 手間のみ					
	保温無 65A	2.0	カ所			
計						
改め						

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-25	ガス設備 土工事					
根切り	人力	23.6	m3			
山砂		2.4	m3			
埋戻量	人力	21.2	m3			
発生土処理	人力 構内敷きならし	2.4	m3			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-26	消火設備 据付費					
TF-1 消火用・補給水槽	FRP製パネルタンク	1.0	基			
HB-1 消火栓	屋内消火栓箱(総合形)取付 埋込形	4.0	基			
HB-2 消火栓	屋内消火栓箱(総合形)取付 埋込形放水口付	6.0	基			
計						
改め						



上段 変更設計

下段 原設計

積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
改修機械別紙明細-28	消火設備 保温					
消火管保温 100A	グラスウール 天井内, ハイフシャフト内					
	アルミガラスクロス 100A	34.0	m			
消火管保温 65A	グラスウール 天井内, ハイフシャフト内					
	アルミガラスクロス 65A	26.0	m			
消火管保温 65A	グラスウール 屋外露出, 浴室					
	熔融アルミニウム亜鉛鉄板 65A	11.0	m			
消火管保温 40A	グラスウール 天井内, ハイフシャフト内					
	アルミガラスクロス 40A	2.0	m			
カルパニウム鋼板						
		11.0	m			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
改修機械別紙明細-29	消火設備 既設管接続					
既設管接続	配管分岐(鋼管類) 手間のみ					
	保温有 100A	2.0	カ所			
既設管接続	配管分岐(鋼管類) 手間のみ					
	保温有 65A	5.0	カ所			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
改修機械別紙明細-30	ガス設備工事 都市ガス工事					
カラー鋼管	20A	2.0	m			
カラー鋼管	32A	2.0	m			
カラー鋼管	50A	2.0	m			
ガス管用器具栓	20A	4.0	個			
鉄管接続(フランジ)	50A	2.0	か所			
アングル固定鋼材 ステンレス	40L	7.0	か所			
配管分岐 鋼管 露出部	50A	1.0	か所			
強化ガスホース接続	20A 2000mm	4.0	か所			
ホール式ステージ	H=10m	1.0	日			
試験調整費		1.0	式			



## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-1						
ガスヒートポンプエアコン GHP-1（屋外機 床置）撤去	冷房71.0kW 暖房80.0kW	1.0	台			
GHP-1-1（室内機 天吊）撤去	冷房3.6kW 暖房4.5kW	3.0	台			
GHP-1-2（室内機 天吊）撤去	冷房4.5kW 暖房5.0kW	4.0	台			
GHP-1-3（室内機 天吊）撤去	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-1-4（室内機 天吊）撤去	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
GHP-1-5（室内機 天吊）撤去	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
GHP-1-6（室内機 天吊）撤去	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
GHP-1-7（室内機 天吊）撤去	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
ガスヒートポンプエアコン GHP-2（屋外機 床置）撤去	冷房45.0kW 暖房50.0kW	1.0	台			

(P. — M別撤 — 1 )

( ..... )

富士見市 総務部 営繕課

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GHP-2-1 (室内機 天吊) 撤去	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
GHP-2-2 (室内機 天吊) 撤去	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
GHP-2-3 (室内機 天吊) 撤去	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
GHP-2-4 (室内機 天吊) 撤去	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
GHP-2-5 (室内機 天吊) 撤去	冷房4.5kW 暖房5.0kW	2.0	台			
カ`ストポンプエアコン GHP-3 (屋外機 床置) 撤去	冷房56.0kW 暖房63.0kW	1.0	台			
GHP-3-1 (室内機 天吊) 撤去	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-3-2 (室内機 天吊) 撤去	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-3-3 (室内機 天吊) 撤去	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
GHP-3-4 (室内機 天吊) 撤去	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			

(P. — M別撤 — 2 )

( ..... )

富士見市 総務部 営繕課

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GHP-3-5 (室内機 天吊) 撤去	冷房5.6kW 暖房6.3kW	2.0	台			
取外し EHP-1-1 (室内機 天吊)	冷房9.0kW 暖房10.0kW	2.0	台			
取外し EHP-1-2 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	1.0	台			
取外し EHP-1-3 (室内機 天吊)	冷房5.6kW 暖房6.3kW	1.0	台			
取外し AC-1 (室内機 天吊)	冷房12.5kW 暖房14.0kW	1.0	台			
FF-1 FF式暖房機 撤去	密閉式 暖房8,550kcal/h	3.0	台			
FF-1 穴埋め補修	モルタル 普通	1.0	m2			
取外し ワイヤードリモコン(GHP-RC)		17.0	個			
取外し ワイヤードリモコン(EHP-RC)		4.0	個			
集中リモコン(CR-1) 撤去		2.0	個			

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GHP-1 (屋外機 床置) 搬出	300kg/m3未満	1.00	台			
GHP-2 (屋外機 床置) 搬出	300kg/m3未満	1.00	台			
GHP-3 (屋外機 床置) 搬出	400kg/m3未満	1.00	台			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去機械別紙明細-2	冷媒管 撤去					
液管						
冷媒用銅管 撤去	3/4B	4.0	m			
冷媒用銅管 撤去	5/8B	55.0	m			
冷媒用銅管 撤去	1/2B	98.0	m			
冷媒用銅管 撤去	3/8B	218.0	m			
冷媒用銅管 撤去	1/4B	111.0	m			

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ガス管						
冷媒用銅管 撤去	1 1/4B	4.0	m			
冷媒用銅管 撤去	1 1/8B	153.0	m			
冷媒用銅管 撤去	7/8B	59.0	m			
冷媒用銅管 撤去	3/4B	5.0	m			
冷媒用銅管 撤去	5/8B	65.0	m			
冷媒用銅管 撤去	1/2B	193.0	m			

(P. — M別撤 — 6 )

( ..... )

富士見市 総務部 営繕課

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
トレン管						
鋼管撤去 撤去	屋外架空 50A	16.0	m			
鋼管撤去 撤去	屋外架空 40A	17.0	m			
鋼管撤去 撤去	屋外架空 32A	4.0	m			
鋼管撤去 撤去	屋外架空 25A	5.0	m			
鋼管撤去 撤去	屋外架空 20A	4.0	m			
硬質塩化ビニル管 撤去	屋内一般 40A	34.0	m			
硬質塩化ビニル管 撤去	屋内一般 32A	103.0	m			
硬質塩化ビニル管 撤去	屋内一般 25A	6.0	m			
硬質塩化ビニル管 撤去	屋内一般 20A	100.0	m			

(P. — M別撤 — 7 )

( ..... )

富士見市 総務部 営繕課

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保温 撤去						
液管						
冷媒管保温 撤去	グラスウール 屋内露出					
	合成樹脂カパ-1 20A	23.0	m			
冷媒管保温 撤去	グラスウール 天井内,ハ°イ°シャフト内					
	アルミガラスクロス, 20A	253.0	m			
冷媒管保温 撤去	グラスウール 屋外露出					
	融解アルミニウム亜鉛鉄板, 20A	214.0	m			

## 積算用紙

上段 変更設計

下段 原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保温 撤去						
ガス管						
冷媒管保温 撤去	グラスウール 屋内露出					
	合成樹脂カパ-1 20A	11.0	m			
冷媒管保温 撤去	グラスウール 天井内,ハ°イ°シャフト内					
	アルミガラスクロス, 20A	177.0	m			
冷媒管保温 撤去	グラスウール 屋外露出					
	融解アルミニウム亜鉛鉄板, 20A	75.0	m			
冷媒管保温 撤去	グラスウール 天井内,ハ°イ°シャフト内					
	アルミガラスクロス, 25A	76.0	m			
冷媒管保温 撤去	グラスウール 屋外露出					
	融解アルミニウム亜鉛鉄板, 25A	134.6	m			
冷媒管保温 撤去	グラスウール 屋外露出					
	融解アルミニウム亜鉛鉄板, 32A	4.0	m			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-3	ポンプダウン					
EHP						
ポンプダウン	パッケージ型空気調和機冷媒 ポンプダウン 25.0kw以下	1.0	台			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-4	機器設備					
EF-1 学校用有圧換気扇 撤去	300φ x1200m <sup>3</sup> /h	22.0	台			
EF-4 天井換気扇 撤去	360m <sup>3</sup> /h	1.0	台			
EF-6 天井換気扇 撤去	300m <sup>3</sup> /h	1.0	台			
EF-9 中間ダクトファン 撤去	600m <sup>3</sup> /h	1.0	台			
EF-10 天井換気扇 撤去	540m <sup>3</sup> /h	2.0	台			
EF-11 有圧扇 撤去	300φ	1.0	台			
HEA-1 全熱交換器 撤去	天吊形 250m <sup>3</sup> /h	1.0	台			
ベントキャップ 撤去	150φ	7.0	個			
ウェザーカバー 撤去	300φ	23.0	個			



上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去機械別紙明細-5	ダクト 撤去					
スパイラルダクト 撤去	150mm	35.0	m			
保温						
保温 撤去	ガラスウール 屋内隠蔽 アルミガラスクロス	9.0	m <sup>2</sup>			
ユニバーサル吹出口 撤去	～0.10m <sup>2</sup>	1.0	個			
スリット形吸込口 撤去	0.1m <sup>2</sup> 以下	1.0	個			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-6	自動制御設備					
制御ケーブル	EM-CEES1.25-2C 管内	625.0	m			
制御ケーブル	EM-CEES2.0-2C 管内	64.0	m			
ねじなし電線管(E)	E19 再使用しない	54.0	m			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去機械別紙明細-7	機器設備					
和風大便器 撤去	洗浄弁式	4.0	台			
小便器 撤去	洗浄弁式壁掛小便器	3.0	台			
小便器用ハイタンク 撤去		1.0	台			
小便器用節水装置 撤去	個別式	3.0	組			
洗面器 撤去		9.0	組			
化粧鏡 撤去		4.0	枚			
石鹸入れ 撤去		6.0	個			
洗濯機パン 撤去		1.0	個			
横水栓 撤去		82.0	個			

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
クォーネット水栓 撤去		19.0	個			
横形自在水栓 撤去		2.0	個			
立水栓 撤去		7.0	個			
立水栓(台付) 撤去		1.0	個			
止水栓 撤去		1.0	個			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-8	機器設備					
高架水槽 撤去	FRP製 WF-12	1.0	基			
ウォータークーラー 撤去	立形冷水飲料器	3.0	台			
高架水槽 搬出	100kg/m3未満	1.0	台			
計						
改め						

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-9	配管設備					
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋内一般 150A	12.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋内一般 100A	20.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋外架空 100A	66.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋内一般 65A	20.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋内一般 50A	32.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋外架空 50A	6.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋内一般 40A	65.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋外架空 40A	2.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋内一般 32A	57.0	m			

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋外架空 32A	4.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋内一般 25A	34.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋外架空 25A	18.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋内一般 20A	93.0	m			
ライニング鋼鋼管 撤去	再使用しない ねじ接合					
	屋外架空 20A	5.0	m			

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	給水管 保温 撤去					
給水管保温 撤去	ポリスチレン 天井内, ハイシャフト内					
	アルミガラスクロス 150A	12.0	m			
給水管保温 撤去	ポリスチレン 天井内, ハイシャフト内					
	アルミガラスクロス 100A	20.0	m			
給水管保温 撤去	ポリスチレン 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 100A	66.0	m			
給水管保温 撤去	ポリスチレン 天井内, ハイシャフト内					
	アルミガラスクロス 65A	20.0	m			
給水管保温 撤去	ポリスチレン 天井内, ハイシャフト内					
	アルミガラスクロス 50A	32.0	m			
給水管保温 撤去	ポリスチレン 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 50A	6.0	m			
給水管保温 撤去	ポリスチレン 天井内, ハイシャフト内					
	アルミガラスクロス 40A	65.0	m			
給水管保温 撤去	ポリスチレン 屋外露出, 浴室					
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板 40A	2.0	m			
給水管保温 撤去	ポリスチレン 天井内, ハイシャフト内					
	アルミガラスクロス 32A	57.0	m			

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	給水管保温 撤去	ポリスチレン 屋外露出, 浴室					
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板 32A	4.0	m			
	給水管保温 撤去	ポリスチレン 天井内, ハイフシャフト内					
		アルミガラスクロス 25A	34.0	m			
	給水管保温 撤去	ポリスチレン 屋外露出, 浴室					
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板 25A	18.0	m			
	給水管保温 撤去	ポリスチレン 天井内, ハイフシャフト内					
		アルミガラスクロス 20A	93.0	m			
	給水管保温 撤去	ポリスチレン 屋外露出, 浴室					
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板 20A	5.0	m			
	計						
	改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-10	その他					
一般弁類 撤去	仕切弁 150A	1.0	個			
一般弁類 撤去	仕切弁 50A	1.0	個			
一般弁類 撤去	仕切弁 40A	2.0	個			
一般弁類 撤去	仕切弁 25A	5.0	個			
一般弁類 撤去	仕切弁 20A	7.0	個			
フレキシブル継手 撤去	150A	1.0	個			
フレキシブル継手 撤去	50A	2.0	個			
フレキシブル継手 撤去	40A	1.0	個			
ボール弁 撤去	仕切弁・玉形弁・逆止弁等 20A	1.0	個			
配管架台 撤去		27.0	個			

### 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電磁弁 撤去	仕切弁・玉形弁・逆止弁等 20A	1.0	個			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ					
	保温有 125A	1.0	カ所			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ					
	保温有 100A	1.0	カ所			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ					
	保温有 65A	2.0	カ所			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ					
	保温有 50A	1.0	カ所			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ					
	保温有 32A	10.0	カ所			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ					
	保温有 25A	2.0	カ所			
プラグ止め						
	65A	2.0	カ所			
プラグ止め						
	32A	10.0	カ所			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-11	機器設備					
ベントキャップ 撤去	VC65 65φ	1.0	個			
ベントキャップ 撤去	VC50 50φ	1.0	個			
床排水トラップ 撤去	T5B-50 50φ	3.0	個			
床上掃除口 撤去	防水形 COB100 100φ	1.0	個			
床上掃除口 撤去	防水形 COB65 65φ	1.0	個			
床上掃除口 撤去	防水形 COB50 50φ	2.0	個			
床上掃除口 撤去	非防水形 COA100 100φ	2.0	個			
床上掃除口 撤去	非防水形 COA80 80φ	2.0	個			
床上掃除口 撤去	非防水形 COA65 65φ	5.0	個			

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床上掃除口 撤去	非防水形 COA50 50φ	8.0	個			
床下掃除口 撤去	C065 65φ	1.0	個			
床下掃除口 撤去	C050 50φ	3.0	個			
排水目皿 撤去	50φ	43.0	個			
流しトラップ 撤去	T14BB 50φ	4.0	個			
プラスチックトラップ 撤去	PT50 50φ	6.0	個			
一般弁 撤去	仕切弁 50A	1.0	個			
間接排水口 撤去	50-100φ	1.0	個			
防虫網 撤去	50φ	1.0	個			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

積算用紙

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-12	配管設備					
(雑排水)						
鋼管 撤去	屋内一般 100A	51.0	m			
鋼管 撤去	屋内一般 65A	56.0	m			
鋼管 撤去	機械室・便所 65A	5.0	m			
鋼管 撤去	屋内一般 50A	128.0	m			
鋼管 撤去	屋外架空 50A	2.0	m			
鋼管 撤去	機械室・便所 50A	4.0	m			
鋼管 撤去	屋内一般 40A	20.0	m			

## 積算用紙

上段	変更設計
----	------

下段	原設計
----	-----

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
(污水)						
排水用鑄鉄管 撤去	100A	7.0	m			
排水用鑄鉄管 撤去	80A	4.0	m			
排水用鑄鉄管 撤去	50A	8.0	m			
(通気)						
鋼管 撤去	屋内一般 65A	25.0	m			
鋼管 撤去	屋内一般 50A	41.0	m			
鋼管 撤去	屋内一般 32A	21.0	m			

## 積算用紙

上段 変更設計

下段 原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	排水管 保温 撤去					
排水管保温 撤去	ポリスチレン 天井内, ハイフシャフト内					
	アルミガラスクロス 65A	29.0	m			
排水管保温 撤去	ポリスチレン 天井内, ハイフシャフト内					
	アルミガラスクロス 50A	85.0	m			
排水管保温 撤去	ポリスチレン 屋内露出					
	合成樹脂カパ-1 50A	20.0	m			
排水管保温 撤去	ポリスチレン 天井内, ハイフシャフト内					
	アルミガラスクロス 40A	14.0	m			
排水管保温 撤去	ポリスチレン 屋内露出					
	合成樹脂カパ-1 40A	7.0	m			
計						
改め						

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-13	その他					
一般弁類 撤去	仕切弁 50A	1.0	個			
フレキシブル継手 撤去	50A	2.0	個			
(雑排水管)						
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ 保温有 100A	2.0	カ所			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ 保温有 65A	1.0	カ所			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ 保温有 50A	12.0	カ所			
プラグ止め	50A	8.0	カ所			
(汚水管)						
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ 保温有 100A	1.0	カ所			

上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(通気管)						
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ					
	保温有 50A	10.0	カ所			
プラグ止め						
	50A	10.0	カ所			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-14	機器設備					
ガス給湯器 撤去	WGH-1					
	ガス瞬間湯沸し器 5号	1.0	台			
ガス給湯器 撤去	WGH-2					
	ガス瞬間湯沸し器 5号	1.0	台			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-15	配管設備					
鋼管 撤去	ねじ接合 屋内一般 100A	17.0	m			
鋼管 撤去	ねじ接合 屋内一般 80A	10.0	m			
鋼管 撤去	ねじ接合 屋内一般 32A	14.0	m			
鋼管 撤去	ねじ接合 屋内一般 25A	34.0	m			
鋼管 撤去	ねじ接合 屋内一般 20A	36.0	m			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-16	その他					
一般弁類 撤去	仕切弁 32A	1.0	個			
一般弁類 撤去	仕切弁 25A	1.0	個			
一般弁類 撤去	仕切弁 20A	1.0	個			
一般弁類 撤去	ガスソック 20A	8.0	個			
ガス漏れ遮断装置制御器	小規模回路用	3.0	個			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ 保温無 100A	1.0	カ所			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ 保温無 80A	1.0	カ所			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
----	------

下段	原設計
----	-----

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-17						
TF-1 消火用・補給水槽 撤去	FRP製 1.0x1.0x1.0H	1.0	基			
HB-1 消火栓 撤去	1号消火栓	4.0	基			
HB-2 消火栓 撤去	1号消火栓 送水口付	6.0	基			
消火水槽 搬出	100kg/m3未満	1.00	台			
計						
改め						





上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-19	その他					
一般弁類 撤去	仕切弁 65A	1.0	個			
一般弁類 撤去	逆止弁 65A	1.0	個			
フレキシブル継手 撤去	65A	2.0	個			
テスト弁 撤去	65A	1.0	個			
テスト弁 撤去	40A	1.0	個			
配管架台 撤去		5.0	個			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ 保温有 100A	12.0	カ所			
配管切断	配管切断(鋼管類)・手間のみ 保温有 65A	12.0	カ所			
計						
改め						



上段 変更設計

下段 原設計

### 積算用紙

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去機械別紙明細-21	処分費					
コンクリート塊	無筋 30cm以下	1.0	m3			
混合廃棄物		30.0	m3			
廃プラスチック		3.0	m3			
金属くず		8.0	m3			
計						
改め						

## 積算用紙

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-22	都市ガス設備 撤去・取外し					
ガス管撤去工事(露出管)	50A㌘	10.0	m			
ガス栓・バルブ類撤去工事(露出)	25A㌘	3.0	個			
計						
改め						

## 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
撤去機械別紙明細-23	処分費 冷媒ガス破壊処理					
冷媒ガス処理	GHP-1 冷房71.0kW	1.0	台			
冷媒ガス処理	GHP-2 冷房45.0kW	1.0	台			
冷媒ガス処理	GHP-3 冷房56.0kW	1.0	台			
計						
改め						

# 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事（第3期工事）（ゼロ債務）

機 械 設 備									
図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容
M-01	表紙・図面リスト	M-28	【改修】給排水衛生設備 機器表・器具表	M-38	【撤去】配置図	M-59	【撤去】給排水衛生設備 機器表・器具表		
M-02	機械設備工事特記仕様書（1）	M-29	【改修】給排水衛生設備 系統図	M-39	【撤去】空調設備 機器表（1）	M-60	【撤去】給排水衛生設備 系統図		
M-03	機械設備工事特記仕様書（2）	M-30	【改修】給排水衛生設備 1階平面図	M-40	【撤去】空調設備 機器表（2）	M-61	【撤去】給排水衛生設備 1階平面図		
M-04	機械設備工事特記仕様書（3）	M-31	【改修】給排水衛生設備 2階平面図	M-41	【撤去】空調設備 系統図	M-62	【撤去】給排水衛生設備 2階平面図		
M-05	【改修】配置図・仮設計画図	M-32	【改修】給排水衛生設備 3階平面図	M-42	【撤去】空調設備 1階平面図	M-63	【撤去】給排水衛生設備 3階平面図		
M-06	【改修】空調設備 機器表（1）	M-33	【改修】給排水衛生設備 4階平面図	M-43	【撤去】空調設備 2階平面図	M-64	【撤去】給排水衛生設備 4階平面図		
M-07	【改修】空調設備 機器表（2）	M-34	【改修】給排水衛生設備 5階平面図	M-44	【撤去】空調設備 3階平面図	M-65	【撤去】給排水衛生設備 5階平面図		
M-08	【改修】空調設備 系統図	M-35	【改修】給排水衛生設備 屋根・塔屋平面図	M-45	【撤去】空調設備 4階平面図	M-66	【撤去】給排水衛生設備 屋根・塔屋平面図		
M-09	【改修】空調設備 1階平面図	M-36	【改修】給排水衛生設備 高架水槽・補給水槽詳細図	M-46	【撤去】空調設備 5階平面図	M-67	【撤去】給排水衛生設備 高架水槽・補給水槽詳細図		
M-10	【改修】空調設備 2階平面図	M-37	【改修】給排水衛生設備 外便所詳細図	M-47	【撤去】換気設備 機器表	M-68	【撤去】給排水衛生設備 外便所詳細図		
M-11	【改修】空調設備 3階平面図			M-48	【撤去】換気設備 系統図	M-69	改修フロー図（1）		
M-12	【改修】空調設備 4階平面図			M-49	【撤去】換気設備 1階平面図	M-70	改修フロー図（2）		
M-13	【改修】空調設備 5階平面図			M-50	【撤去】換気設備 2階平面図	M-71	改修フロー図（3）		
M-14	【改修】換気設備 機器表			M-51	【撤去】換気設備 屋根・塔屋平面図	M-72	【3期】（参考）仮設計画図		
M-15	【改修】換気設備 系統図			M-52	【撤去】自動制御設備 管理点一覧表・計装図				
M-16	【改修】換気設備 1階平面図			M-53	【撤去】自動制御設備 系統図				
M-17	【改修】換気設備 2階平面図			M-54	【撤去】自動制御設備 1階平面図				
M-18	【改修】換気設備 3階平面図			M-55	【撤去】自動制御設備 2階平面図				
M-19	【改修】換気設備 4階平面図			M-56	【撤去】自動制御設備 3階平面図				
M-20	【改修】換気設備 5階平面図			M-57	【撤去】自動制御設備 4階平面図				
M-21	【改修】自動制御設備 管理点一覧表・計装図			M-58	【撤去】自動制御設備 5階平面図				
M-22	【改修】自動制御設備 系統図								
M-23	【改修】自動制御設備 1階平面図								
M-24	【改修】自動制御設備 2階平面図								
M-25	【改修】自動制御設備 3階平面図								
M-26	【改修】自動制御設備 4階平面図								
M-27	【改修】自動制御設備 5階平面図								

# 機械設備工事特記仕様書

## I 工事概要

1	工事名称	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事（第3期工事）（ゼロ債務）
2	工事場所	埼玉県富士見市大字水子地内
3	工期	契約日から令和9年1月29日
	現場施工期間	令和8年6月1日から令和8年11月30日
4	建物概要	現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
① 普通教室棟	RC造				
②					
③					
④					
⑤					

### 5 工事種目（●印を付いたものを適用する。）

建物別及び屋外工事種目	工事種別					屋外
	①	②	③	④	⑤	
○ 空気調和設備	一式					
○ 換気設備	一式					一式
○ 排煙設備						
○ 自動制御設備	一式					
○ 衛生器具設備	一式					一式
○ 給水設備	一式					一式
○ 排水設備	一式					一式
○ 給湯設備	一式					一式
○ 消火設備	一式					一式
○ 厨房機器設備						
○ ガス設備	一式					一式

6 指定部分 ※無・有対象部分： 工期：令和 年 月 日

- 7 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
- 専任期間の始期
 

請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間・令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
  - 専任期間の終期
 

工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
  - 専任期間の中断
 

自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時的中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

- 10 同時期発注の関連工事  
・建築工事 ・電気設備工事

## II 工事仕様

- 1 共通仕様
- この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁舎繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。  
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
  - 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を採用する。
  - 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

### 2 特記仕様

- 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。  
◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項																																																											
①	機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7A※Aを含むの有無を確認し、7A※Aを含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 ・置く ※置かない																																																											
②	電気保安技術者																																																												
③	施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。 ・配管施工（配管工事） ・建築板金施工（風道制作及び取付け） ・熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空調機器施工（冷凍空調機器の据付け）																																																											
4	技能士の適用																																																												
⑤	機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね3ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。																																																											
6	監督員事務所	本工事で ・設ける（規模 ） ※設けない																																																											
⑦	官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は発注者が代行し遅滞なく行う。また、その届出に係る費用は受注者の負担とする。																																																											
⑧	工用電力・水等	本工事に必要な電力及び水などは、使用出来るものとし、その仮設にかかる費用は、受注者の負担とする。																																																											
⑨	工用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない																																																											
⑩	足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。																																																											
⑪	建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。																																																											
⑫	埋め戻し土・盛土	※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・山砂の類																																																											
⑬	再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	再生砂などは原則使用しない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表層以外に ・使用できる。 ※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。																																																											
⑭	発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は ※本工事 ・別途） （1）引渡しを要するもの（ ） （2）買取処分を要するもの（ ） （3）再生資源化を図るもの（ ・視覚塩化ビニル管 ・ ） （4）特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。																																																											
⑮	容量等の表示	（1）機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力、燃料消費量及び任力損失は、原則として表示された数値以下とする。																																																											
⑯	配管	（1）地中埋設配管（排水管を除く） 1）地中埋設槽（コンクリート製） ※要（図示の箇所） ・不要 2）地中埋設線（キャッツアイ） ※要（舗装部の分岐、曲部） ・不要 3）埋設表示テープ（2倍折込み） ※要 ・不要																																																											
⑰	耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平地震力K <sub>h</sub> 及び設計用鉛直地震力K <sub>v</sub> （K <sub>h</sub> √2）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。  設計用水平地震度 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">耐震安全性の分類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">・特定の施設</th> <th colspan="2">・一般の施設</th> </tr> <tr> <td></td> <td>重要機器</td> <td>一般機器</td> <td>重要機器</td> <td>一般機器</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>屋上及び塔屋</td> <td>(2.0)</td> <td>(2.0)</td> <td>(2.0)</td> <td>(1.5)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>&lt;2.0&gt;</td> <td>&lt;1.5&gt;</td> <td>&lt;1.5&gt;</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>(1.5)</td> <td>(1.5)</td> <td>(1.5)</td> <td>(1.0)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>&lt;1.5&gt;</td> <td>&lt;1.0&gt;</td> <td>&lt;1.0&gt;</td> <td>&lt;0.6&gt;</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>(1.0)</td> <td>(1.0)</td> <td>(1.0)</td> <td>(0.6)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>&lt;1.5&gt;</td> <td>&lt;1.0&gt;</td> <td>&lt;1.0&gt;</td> <td>&lt;0.6&gt;</td> </tr> </tbody> </table> （注）（ ）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 < >内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階） 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し） 重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器 防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置 火を使用する設備 避難経路上に設置する機器	設置場所	耐震安全性の分類				・特定の施設		・一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	2.0	1.5	1.5	1.0	屋上及び塔屋	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)		<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0		1.5	1.0	1.0	0.6	中間階	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)		<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>		1.0	0.6	0.6	0.4	1階及び地下階	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)		<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
設置場所	耐震安全性の分類																																																												
	・特定の施設		・一般の施設																																																										
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																									
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0																																																									
屋上及び塔屋	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)																																																									
	<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0																																																									
	1.5	1.0	1.0	0.6																																																									
中間階	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)																																																									
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>																																																									
	1.0	0.6	0.6	0.4																																																									
1階及び地下階	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)																																																									
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>																																																									
⑰-1	あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持で使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。																																																											

⑱ 防露保温工事

標準仕様書第2編によるほか下記による。

区分	施工箇所	保温種別
ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅶ
	浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・Ⅶ
蒸気管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅱ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅱ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(イ)・Ⅱ
	床下、暗室内（ビツ内、共同溝を含む。）	D・(イ)・Ⅱ
冷水・冷温水管（膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・Ⅲ
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅲ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C1・(ロ)・Ⅲ
	床下、暗室内（ビツ内、共同溝を含む。）	D・(ハ)・Ⅲ
温水管（膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ロ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ
	床下、暗室内（ビツ内、共同溝を含む。）	D・(ロ)・Ⅰ
屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ロ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ
	床下、暗室内（ビツ内、共同溝を含む。）	D・(ロ)・Ⅰ

（注）1. 冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。  
 屋内露出部 ※保温化粧カバー（※樹脂製 ・垂鉛メッキ鋼板製 ・SUS製）  
 屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング ・保温化粧カバー（※樹脂製 ・垂鉛メッキ鋼板製 ・SUS製）  
 2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。  
 3. 機器類の保温材の種類は、（※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材）とする。

ダクトの保温の種類別

区分	施工箇所	保温種別
長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(ロ)・X I
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(ロ)・X I
	屋内隠ぺい、D S内	I・(ロ)・X I
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	K3・(ロ)・X I
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(ロ)・X I
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(ロ)・X I
	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・X I
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	P3・(ロ)・X I
消音内貼り	サプライチャンバー	M・(ロ)・IX
	消音チャンバー・消音エルボ	L・(ロ)・VII

（注）1. 厨房ダクトの保温材は、管轄消防の規則を確認の上、選定すること。

給排水衛生設備工事の保温の種類別

区分	施工箇所	保温種別
給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅶ
	県営住宅P S内	(ハ)・Ⅶ
排水及び通気管	床下、暗室内（ビツ内、共同溝を含む。）	—
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）	e3・(ハ)・Ⅶ
	及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	—
	屋内露出（一般居室、廊下）	—
給湯管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ロ)・Ⅰ
	膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	b・(ロ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出及び浴室、厨房内の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	d・(ロ)・Ⅰ

- （注）1. 消火、排水及び通気管のうち見えかきり部は塗装を施す。  
 2. 排水管の管種が耐火二層管、耐火V Pの場合は、保温を要しない。  
 3. 施工種別bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。  
 4. 機器類の保温材の種類は、（※グラスウール ・ロックウール）とする。  
 5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・Ⅶとする。  
 6. 便所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。  
 7. 空調設備を要する便所（特別支援学校等）以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によらず保温を要しない。  
 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。

- ⑲ 防凍保温
- ※屋外露出給水管（呼び径20以下のみ）は、保温厚40mmの防凍保温を行うこと。  
 ・図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は下記仕様により防凍保温を行う。  
 ※保温仕様は保温厚さを40mmとする。  
 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。

- ⑳ 塗装
- 露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。  
 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。  
 特記なき電線、ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。  
 ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

- ㉑ 電線

㉒ はつり及びあと施工アンカー打設

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。  
 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合には、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

㉓ 管の埋設深さ

- 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。
- 構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。
- その他の場所では、地表面（舗装する部分では路盤材下面）から管の上端まで300mmとする。

㉔ 既設管分岐・接続

既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。  
 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。

㉕ 絶縁継手の設置・種別

※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管  
 ※銅管と銅管及びこれに類する部分 ※銅管とステンレス管及びこれに類する部分  
 ※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ

㉖ 他工事との取合区分

スリープ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。

㉗ 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。

㉘ 保険

受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成日後14日まで、これを火災が保障対象になっている相連保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。  
 受注者は法定外の労災保険に付き、証書の写しを監督員に提出する。

㉙ 配管識別

配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。  
 ※使用を要する 塗装禁止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による  
 ・使用を要しない

31 誘導電動機

三相誘導電動機はJ I S C 4 2 1 3（I E 3）トップランナーモーターとする。

㉚ 完成図書の電子納品

完成図書の電子納品運用ガイドライン ※適用する ・適用しない  
 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。  
 また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。  
 県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り製本4部とする。

㉛ その他

工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

- ① 共通事項
- 改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。

- ② 改修部分の足場
- 本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。  
 （1）内部足場 ※ 脚立足場 ・枠組足場 ・  
 （2）外部足場 ※A種（枠組足場） ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種  
 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

- ③ 既存部分養生・既存家具等養生
- 関係受注業者と共用部分  
 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。  
 ・本工事で負担とする。（種別は（2）による。）
  - 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。  
 ※ビニールシート ・合板 ・  
 ・別途工事 ・本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事

- ④ 備品等の移動
- ⑤ 仮設間仕切り
- 関係請負業者と共用部分  
 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。  
 ・本工事で負担とする。（種別は（2）による。）
  - 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。  
 ・A種 ※B種 ・C種

- ⑥ 撤去後機材の扱い
- 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。
  - 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。  
 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。

- ⑦ 支持金物の再使用
- インサート金物 ・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品
  - 形鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品

- ⑧ あと施工アンカーの種別
- 金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。

- ⑨ フロン回収
- 冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。  
 ※破壊プラント搬入 ・フロン再生引抜き渡し ・未再生引抜き渡し  
 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき処理すること。

- ⑩ 総合調整
- ・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整

- ⑪ 既設基礎類の解体はつり
- 建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。  
 現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。  
 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。

- ⑫ アスベスト事前調査結果の報告
- 全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。  
 （1）図面上の縮尺は、J I S A1版とした縮尺とする。  
 （2）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように構密に打合せを行うこと。

- ⑬ その他

	一級建築士事務所 埼玉県知事登録（1） 第11789号 一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久	承認	審査	検図	製図	特記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号	工事名称 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事（第3期工事）（ゼロ債務） 図面内容 機械設備工事特記仕様書（1）	縮尺 A1=N/S A3=N/S 図面 区分 機軸設備 図面 番号 M-02
	22094											

	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機駆動機の制御方式 ※回転制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 H F C ( R 4 1 0 A、R 3 2又はR407C ) (注1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 3 2を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>11 擬音装置</p> <p>12 そ の 他</p>	<p>トイレブースに設置する。</p> <p>衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。</p>	<p>2 洗面器等の排水管</p> <p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手</p> <p>3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ・掃除口付きソケット ※満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用</p> <p>別紙樹表による。</p>																																																																						
<p>1 設計温湿度</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="6">屋 内</th> </tr> <tr> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>37.1℃</td> <td>47.1%</td> <td>28</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.5℃</td> <td>49.4%</td> <td>20</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>	外 気		屋 内						湿度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	37.1℃	47.1%	28	℃	%	℃	%	冬 期	0.5℃	49.4%	20	℃	%	℃	%	<p>1 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（V U） ・耐火二層換気管 ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） (注1) 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（V U）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） ・ (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN ・（口） ・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・湯沸室 ・ ）用の隠ぺい部ダクト（仕様はh ・（イ） ・Ⅹとし範囲は図示による）</p> <p>8 試運転調整</p> <p>風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p>	<p>○ 給水設備</p>	<p>1 配管材料</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（水道直結部分）</td> <td>・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWMA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部（・圧縮 ・ダブり） ※拡張 便所・廊下流し廻り露出配管（※拡張）とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1Iによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた漏水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（PE100）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。 7. 地中埋設部（水道直結部分）は水道事業者の指示による。 8. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。 9. 住戸内は、さや管ヘッダー配管システムとする。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	※SUS ・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS	地中埋設部（水道直結部分）	・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	地中埋設部（一般部分）	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管	便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管	湿潤シンダー内配管	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS	地中埋設部（一般部分）	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管	<p>○ 給湯設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆銅管（M鋼管） ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）</p> <p>2 絶縁フランジ</p> <p>取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁 類</p> <p>(1) 規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1Iによる。</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器</p> <p>※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p>
外 気		屋 内																																																																									
湿度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)																																																																				
夏 期	37.1℃	47.1%	28	℃	%	℃	%																																																																				
冬 期	0.5℃	49.4%	20	℃	%	℃	%																																																																				
施 工 箇 所	管 種 別																																																																										
床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	※SUS ・ポリブテン管																																																																										
ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																																																										
保温をしない屋外露出部	※SUS																																																																										
地中埋設部（水道直結部分）	・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																										
地中埋設部（一般部分）	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																										
県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管																																																																										
便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																																																										
便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																																																										
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																										
その他の部分	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																																																										
床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																																																										
湿潤シンダー内配管	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																																																										
保温をしない屋外露出部	※SUS																																																																										
地中埋設部（一般部分）	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																										
便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																																																										
便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																																																										
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																										
その他の部分	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																																																										
<p>2 総合試運転調整</p> <p>※本工事 ・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない</p> <p>室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない</p>	<p>3 煙 道</p> <p>(1) 鉄板厚（※3.2mm ・4.5mm） (2) ばいじん濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は80φとする） ・設けない</p> <p>4 煙 突</p> <p>※別途 ・本工事</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p>	<p>○ 換気設備</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（V U）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） ・ (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN ・（口） ・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・湯沸室 ・ ）用の隠ぺい部ダクト（仕様はh ・（イ） ・Ⅹとし範囲は図示による）</p> <p>8 試運転調整</p> <p>風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない</p>	<p>○ 給水設備</p>	<p>2 一体形タンク</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水 栓</p> <p>※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量 水 器</p> <p>※観メーター（※買用品 ・ ） ・子メーター（※買い取り ・ ）</p> <p>5 量水器樹</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図M C形</p> <p>6 弁 類</p> <p>規格はJ I S又はJ Vとし、水道直結部分は10 Kとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>・防寒コンクリート水栓柱（1200L） ※不凍水栓柱</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（ ・（a） ・（b） ・（c））</p> <p>9 検針方法</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	<p>○ 消火設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>屋内消火栓用 一般配管※SGP（白） ・STPG370（白）Sch40 地中埋設 ・SGP-V S ・H I V P ※高密度ポリエチレン管（消火用） 消火用 一般配管※SGP（白） ・STPG370（白）Sch40 地中埋設 ・SGP-V S ・H I V P ※高密度ポリエチレン管（消火用） 不活性ガス消火用 ※STPG370（白）Sch40 ・STPG370（白）Sch80</p> <p>2 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（ ・（a） ・（b） ・（c））</p>																																																																						
<p>6 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（V U） ・換気用耐火二層管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p>	<p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・ガラスワール製</p> <p>10 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p>	<p>○ 排煙設備</p> <p>1 ダ ク ト</p> <p>※亜鉛鉄板 ・</p> <p>2 排煙口の形式</p> <p>※天井取付（・スリット形 ※スイング形） ・壁取付（・スリット形 ・スイング形）</p> <p>3 排煙口手動開放装置</p> <p>開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式（遠隔操作 ・不要 ・要）</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。</p>	<p>○ 給水設備</p>	<p>○ ガス設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管（SGP（白） 地中埋設 ※ガス用PE管</p> <p>2 漏洩検知装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p>	<p>○ 厨房設備</p> <p>1 厨房機器の固定</p> <p>原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>2 シンク用水栓</p> <p>※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用</p> <p>標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p>																																																																						
<p>11 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管（屋外） ※硬質塩化ビニル管V P（カラー） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（XRAD'レバ'相当品） ・耐火二層管V P（F D P S-1） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管V P (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。)</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白）</p> <p>(注) 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。</p>	<p>○ 自動制御</p> <p>1 中央監視制御装置</p> <p>・有り ※無し</p> <p>2 構成・機能</p> <p>図示による</p> <p>3 電気計装用機材</p> <p>使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p>	<p>○ 衛生器具設備</p> <p>1 小便器用節水装置</p> <p>JIS B 2061（自動水栓）による電気開閉式とし、小便器（※一体形・分離形）とする。</p> <p>2 バリアフリー対応</p> <p>・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり（・本工事 ※別途工事） ・洗面器 ※自動水栓（・全部 ※一部） ・レバー式水栓（一部） ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800（耐食鏡） ・傾斜鏡（・照明無 ・照明付）</p> <p>3 衛生器具付属水栓</p> <p>(1) 器具付属止水水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>4 自動水栓類の電源</p> <p>※AC100V ・乾電池等 ・自己発電</p> <p>5 暖房便座</p> <p>(1) JIS A 4422（温水洗浄便座）とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水I型・節水II型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式（※センサー式・タッチスイッチ式） ・上階層で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じて低圧形とする。</p> <p>7 掃除用洗剤</p> <p>※共栓なしとする。 ・共栓付とする。</p> <p>8 排水器具用ゴム継手</p> <p>※使用できる ・使用できない</p> <p>9 標 記 板</p> <p>大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>10 水せつけん入れ</p> <p>せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。</p>	<p>○ 排水設備</p>	<p>1 配管材料</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>雑排水配管</td> <td>床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P・耐火V P 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）</td> </tr> <tr> <td>汚水配管</td> <td>床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・排水用/カラー付塗装鋼管</td> </tr> <tr> <td>共通配管</td> <td>その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V P ※REP-V U（経路重の場合） ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルV P又はRF-V P・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-V P、RS-V U又は、REP-V Uは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P・耐火V P 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）	汚水配管	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・排水用/カラー付塗装鋼管	共通配管	その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	その他	地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V P ※REP-V U（経路重の場合） ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）	その他の部分	※リサイクルV P又はRF-V P・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書</p> <p>第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） m3 ・中間処理施設 市 地内、（株） ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず） ・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）</p> <p>2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。</p> <p>第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>																																																								
施 工 箇 所	管 種 別																																																																										
雑排水配管	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P・耐火V P 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）																																																																										
汚水配管	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・排水用/カラー付塗装鋼管																																																																										
共通配管	その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																										
その他	地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V P ※REP-V U（経路重の場合） ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P																																																																										
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）																																																																										
その他の部分	※リサイクルV P又はRF-V P・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																										
<p>12 弁 類</p> <p>規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>13 温 度 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンパー、レタンダクト 外気取入ダクト及びレタンチャンパー</p> <p>※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・</p> <p>14 圧 力 計</p> <p>瞬間流量計はビト管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。</p> <p>15 瞬間流量計</p> <p>瞬間流量計はビト管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。</p> <p>16 油面制御装置</p> <p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>17 冷却塔</p> <p>※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>	<p>○ 衛生器具設備</p> <p>1 小便器用節水装置</p> <p>JIS B 2061（自動水栓）による電気開閉式とし、小便器（※一体形・分離形）とする。</p> <p>2 バリアフリー対応</p> <p>・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり（・本工事 ※別途工事） ・洗面器 ※自動水栓（・全部 ※一部） ・レバー式水栓（一部） ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800（耐食鏡） ・傾斜鏡（・照明無 ・照明付）</p> <p>3 衛生器具付属水栓</p> <p>(1) 器具付属止水水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>4 自動水栓類の電源</p> <p>※AC100V ・乾電池等 ・自己発電</p> <p>5 暖房便座</p> <p>(1) JIS A 4422（温水洗浄便座）とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電</p> <p>6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水I型・節水II型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式（※センサー式・タッチスイッチ式） ・上階層で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じて低圧形とする。</p> <p>7 掃除用洗剤</p> <p>※共栓なしとする。 ・共栓付とする。</p> <p>8 排水器具用ゴム継手</p> <p>※使用できる ・使用できない</p> <p>9 標 記 板</p> <p>大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>10 水せつけん入れ</p> <p>せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。</p>	<p>○ 排水設備</p>	<p>1 配管材料</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>雑排水配管</td> <td>床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P・耐火V P 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）</td> </tr> <tr> <td>汚水配管</td> <td>床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・排水用/カラー付塗装鋼管</td> </tr> <tr> <td>共通配管</td> <td>その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V P ※REP-V U（経路重の場合） ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルV P又はRF-V P・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-V P、RS-V U又は、REP-V Uは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P・耐火V P 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）	汚水配管	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・排水用/カラー付塗装鋼管	共通配管	その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	その他	地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V P ※REP-V U（経路重の場合） ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）	その他の部分	※リサイクルV P又はRF-V P・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>業務番号 22094</p> <p>工事名称 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事（第3期工事）（ゼロ債務）</p> <p>図面内容 機械設備工事特記仕様書（2）</p> <p>編尺 A1=N/S A3=N/S</p> <p>図面区分 機械設備</p> <p>図面番付 M-03</p>																																																									
施 工 箇 所	管 種 別																																																																										
雑排水配管	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P・耐火V P 厨房等の温排水 ※SGP（白） ・ 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）																																																																										
汚水配管	床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。） ※RF-V P又はリサイクルV P ・V P 耐火性能を要求される場所 ※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・排水用/カラー付塗装鋼管																																																																										
共通配管	その他の部分 ※RF-V P又はリサイクルV P ・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																										
その他	地中埋設部 ※RS-V U又はリサイクルV U ・V P ※REP-V U（経路重の場合） ・RF-V P又はリサイクルV P ・V P																																																																										
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P（F D P S-1）又は耐火V P ・SGP（白）																																																																										
その他の部分	※リサイクルV P又はRF-V P・耐火V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																										
<p>KUJI ARCHITECTS STUDIO</p> <p>株式会社 久慈設計 埼玉事務所</p> <p>埼玉県さいたま市桜区西郷8丁目20-27 TEL049-769-6033</p> <p>一級建築士事務所 埼玉県知事登録（1） 第11769号 一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久</p>	<p>承認</p> <p>審査</p> <p>検 図</p> <p>製 図</p> <p>特 記</p>	<p>改訂番号</p> <p>改訂月日</p> <p>改訂内容</p>	<p>業務番号 22094</p> <p>工事名称 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事（第3期工事）（ゼロ債務）</p> <p>図面内容 機械設備工事特記仕様書（2）</p> <p>編尺 A1=N/S A3=N/S</p> <p>図面区分 機械設備</p> <p>図面番付 M-03</p>																																																																								

1 アスベスト処理工事  
一般共通事項

留意事項

- 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。
- アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。
- この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工編）（令和4年版）（以下「改修仕様」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。

分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1]

・ 行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示

分析対象

※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481 規格群（1481-1,2,3,4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

3 アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]

・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所 ※ 図示

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考
○	測定 1	処理作業室内	処理作業室内	※各2点・各3点	
○	測定 2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
○	測定 3	処理作業室内	処理作業室内	各2点	
○	測定 4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	各1点	空気の流れを確認
○	測定 5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認
○	測定 6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
○	測定 7	処理作業後 (隔離シート撤去前)	処理作業室内	各2点 (1ヶ所は1点)	
○	測定 8	処理作業後 (シート撤去後)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
○	測定 9	処理作業後 (シート撤去後1週間以降)	処理作業室内	各2点 (1ヶ所は1点)	
○	測定 10	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
ワグレンフィルの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径(幅) 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと同径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア 測定結果

イ 測定時間

ウ 測定位置（測定高さとともに図面上に記載）

エ サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）

オ マウンティング方法

カ 顕微鏡視野面積、計数視野数

キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4 7μm 以上含有吹付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹付け材の除去 [9.1.3]

・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

5 7μm 以上含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4]

・ 行う

作業上の隔離

・ 行う

・ 行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

6 7μm 以上含有成形板類の撤去（レベル3）

1 アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5]

・ 行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・		※ 図示 ・

2 非石綿部での切断による除去

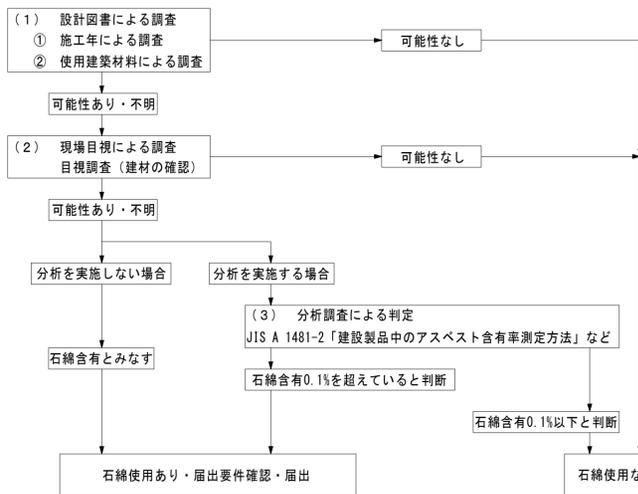
・ 行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 範 囲
・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン組込）		※ 図示 ○ 撤去範囲すべて
・ 石綿含有保温材付配管		※ 図示 ○ 撤去範囲すべて
・ 石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ○ 撤去範囲すべて
		※ 図示 ・ 撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

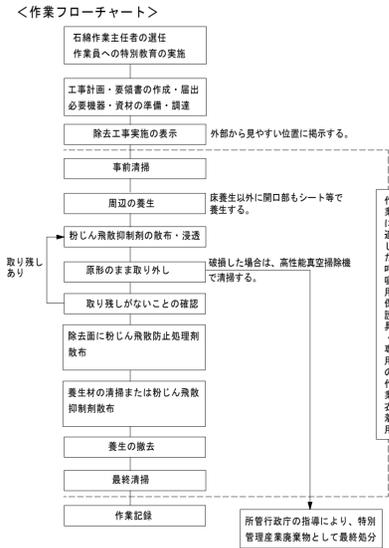
<参考>石綿使用有無の事前調査フロー



<参考>非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー

1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2）

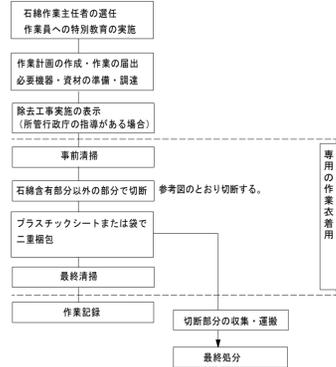
成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化した石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。



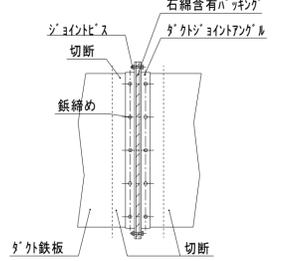
2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3）

建築物のダクトには、接合部に石綿含有物が使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

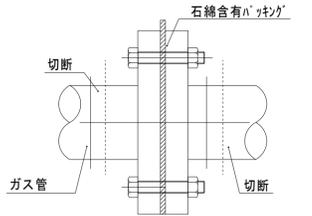
<作業フローチャート>



参考図 1 設備機器ダクト接合部の除去方法



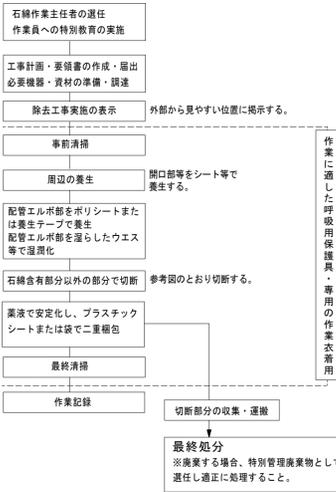
参考図 2 配管フランジパッキンの除去方法



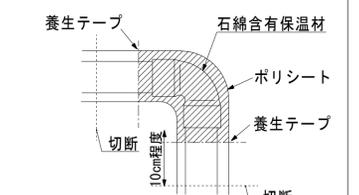
3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】（レベル2）

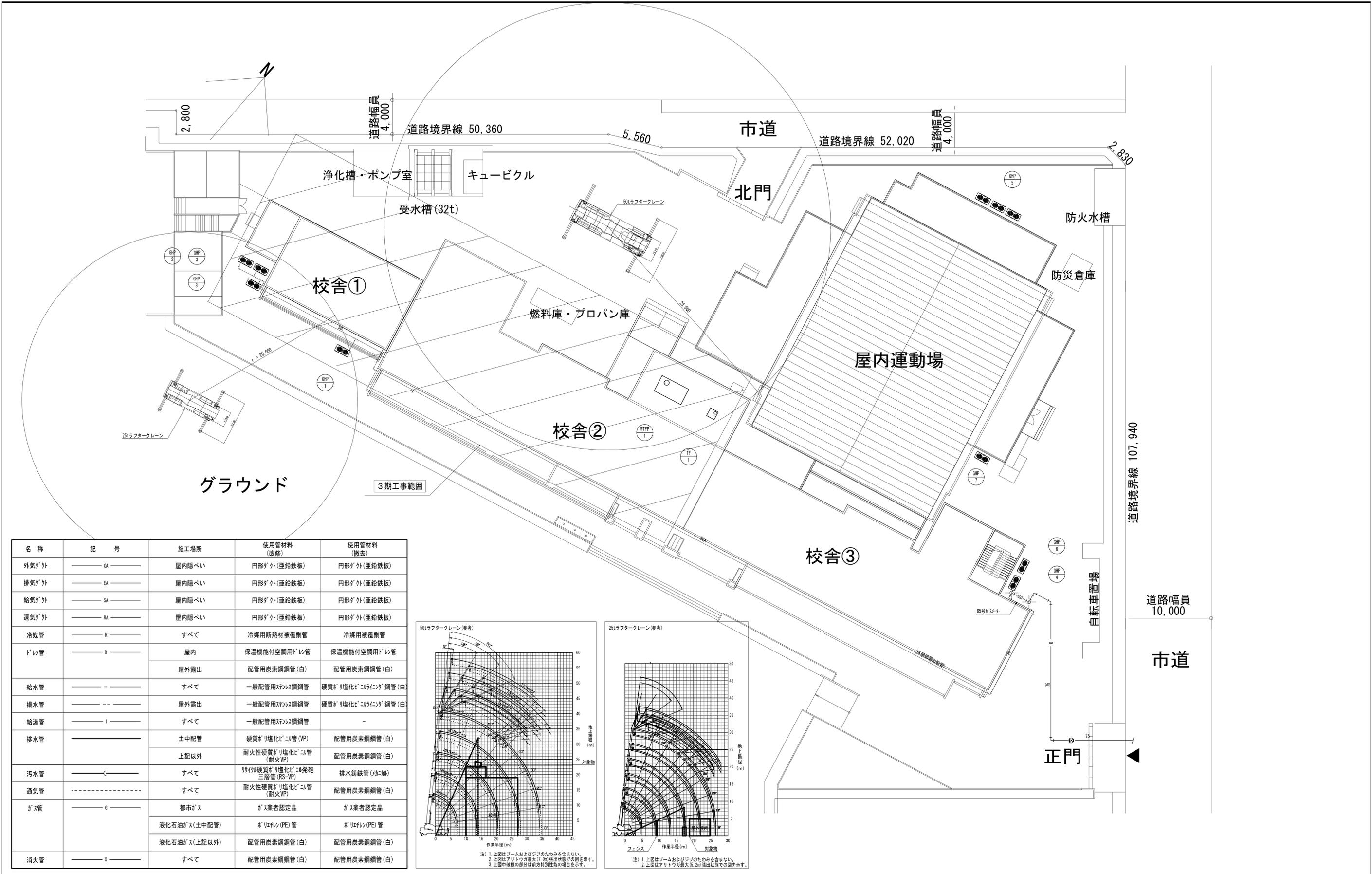
直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

<作業フローチャート>

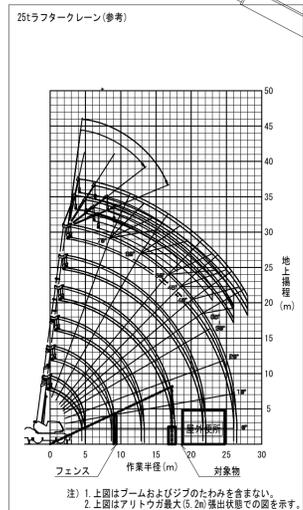
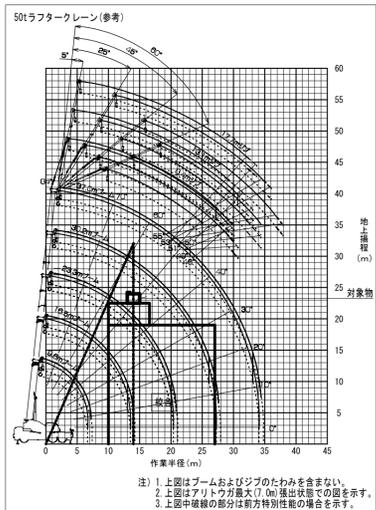


参考図 3 石綿含有保温材付配管の除去方法





名称	記号	施工場所	使用管材料 (改修)	使用管材料 (撤去)
外気ダクト	OA	屋内隠ぺい	円形ダクト(亜鉛鉄板)	円形ダクト(亜鉛鉄板)
排気ダクト	EA	屋内隠ぺい	円形ダクト(亜鉛鉄板)	円形ダクト(亜鉛鉄板)
給気ダクト	SA	屋内隠ぺい	円形ダクト(亜鉛鉄板)	円形ダクト(亜鉛鉄板)
還気ダクト	RA	屋内隠ぺい	円形ダクト(亜鉛鉄板)	円形ダクト(亜鉛鉄板)
冷媒管	R	すべて	冷媒用断熱材被覆銅管	冷媒用被覆銅管
ドレン管	D	屋内	保温機能付空調用ドレン管	保温機能付空調用ドレン管
		屋外露出	配管用炭素鋼鋼管(白)	配管用炭素鋼鋼管(白)
給水管		すべて	一般配管用ステンレス鋼管	硬質ポリ塩化ビニル管(白)
揚水管		屋外露出	一般配管用ステンレス鋼管	硬質ポリ塩化ビニル管(白)
給湯管	I	すべて	一般配管用ステンレス鋼管	-
排水管		土中配管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	配管用炭素鋼鋼管(白)
		上記以外	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(耐火VP)	配管用炭素鋼鋼管(白)
汚水管		すべて	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(三層管(RS-VP))	排水鉄管(φ100)
通気管		すべて	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(耐火VP)	配管用炭素鋼鋼管(白)
ガス管	G	都市ガス	ガス業者認定品	ガス業者認定品
		液化石油ガス(土中配管)	ポリエチレン(PE)管	ポリエチレン(PE)管
		液化石油ガス(上記以外)	配管用炭素鋼鋼管(白)	配管用炭素鋼鋼管(白)
消火管	X	すべて	配管用炭素鋼鋼管(白)	配管用炭素鋼鋼管(白)



空調設備（改修）機器表（1）

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考 (参考)	
				相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kW)	階	室名		
GHP-1	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	ガスヒートポンプマルチエアコン（屋外機）（95HP）	1台	3	200	1.24	-	地上	パナソニック：U-GH560U1D
		冷房能力	56.0 kW x 1台（室外機）	FAN			(0.75 x2)			
		暖房能力	63.0 kW x 1台（室外機）							
		ガス種	13A							
		冷房ガス消費量	45.3 kW							
		暖房ガス消費量	43.3 kW							
		外形寸法	1650 (W) x 880 (D) x 2228 (H) 重量 705 kg							
付属品	防振ゴム、遠隔監視アダプター、取付用ブラケット、Y分岐管、他一式共									
GHP-1-1	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	3F	普通教室（3-1）	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-1-2	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	3F	普通教室（3-2）	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-1-3	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	3F	普通教室（3-3）	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-1-4	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	3F	水中タイム室	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-2	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	ガスヒートポンプマルチエアコン（屋外機）（75HP）	1台	3	200	1.51	-	地上	パナソニック：U-GH710U1D
		冷房能力	71.0 kW x 1台（室外機）	FAN			(0.75 x2)			
		暖房能力	80.0 kW x 1台（室外機）							
		ガス種	13A							
		冷房ガス消費量	63.3 kW							
		暖房ガス消費量	59.3 kW							
		外形寸法	1650 (W) x 880 (D) x 2228 (H) 重量 730 kg							
付属品	防振ゴム、遠隔監視アダプター、取付用ブラケット、Y分岐管、他一式共									
GHP-2-1	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	4F	普通教室（2-1）	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-2-2	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	4F	普通教室（2-2）	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-2-3	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	4F	普通教室（2-3）	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-2-4	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	4F	普通教室（2-4）	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							

※ 1. 電気容量は参考値とする。  
2. 冷房能力及び暖房能力は、標準順条件時（JIS B 8616）の能力を示す。

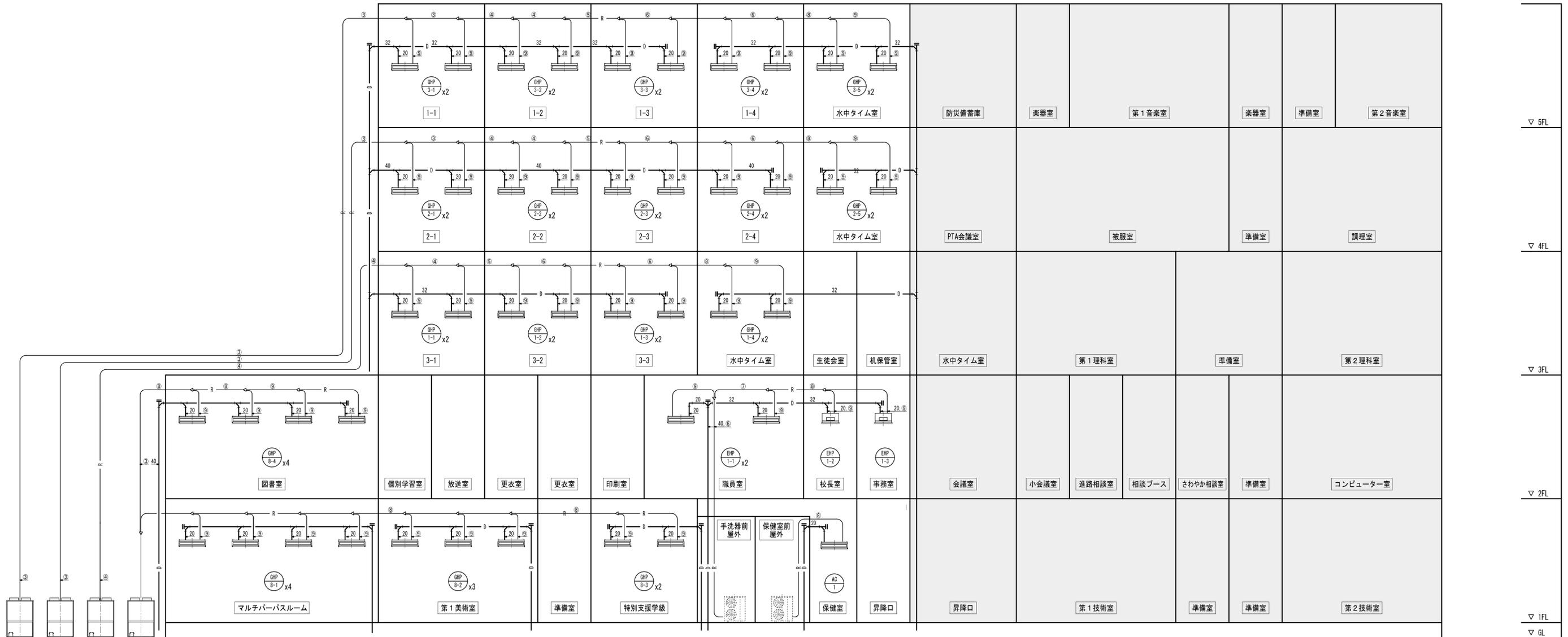
機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考 (参考)	
				相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kW)	階	室名		
GHP-2-5	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	4F	水中タイム室	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-3	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	ガスヒートポンプマルチエアコン（屋外機）（75HP）	1台	3	200	1.51	-	地上	パナソニック：U-GH710U1D
		冷房能力	71.0 kW x 1台（室外機）	FAN			(0.75 x2)			
		暖房能力	80.0 kW x 1台（室外機）							
		ガス種	13A							
		冷房ガス消費量	63.3 kW							
外形寸法	1650 (W) x 880 (D) x 2228 (H) 重量 730 kg									
付属品	防振ゴム、遠隔監視アダプター、取付用ブラケット、Y分岐管、他一式共									
GHP-3-1	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.05	5F	普通教室（1-1）	パナソニック：S-G71TU1
		冷房能力	7.1 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	8.0 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-3-2	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	5F	普通教室（1-2）	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.074)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-3-3	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	5F	普通教室（1-3）	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-3-4	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	5F	普通教室（1-4）	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							
GHP-3-5	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式	天吊形（屋内機）	2台	1	200	0.04	5F	水中タイム室	パナソニック：S-G56TU1
		冷房能力	5.6 kW x 1台（室内機）	FAN			(0.032)			
		暖房能力	6.3 kW x 1台（室内機）							
		付属品	一式共							

空調設備（改修）機器表（2）

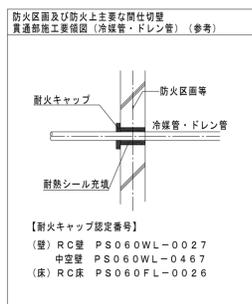
機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考 (参考)
				相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kW)	階	室名	
GHP-8	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式 ガスヒートポンプマルチエアコン（屋外機）（75HP） 冷房能力 85.0 kW x 1台（室外機） 暖房能力 95.0 kW x 1台（室外機） ガス種 13A 冷房ガス消費量 78.0 kW 暖房ガス消費量 69.2 kW 外形寸法 2026 (W) x 880 (D) x 2228 (H) 重量 810 kg 付属品 防振ゴム、遠隔監視アダプター、取付用ブラケット、Y分岐管、他一式共	1台	3	200	1.80	-	地上	パナソニック：U-GH850U1D
GHP-8-1	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 5.6 kW x 1台（室内機） 暖房能力 6.3 kW x 1台（室内機） 付属品 一式共	4台	1	200	0.04	1F	マルチパーパス ルーム	パナソニック：S-G56TU1
GHP-8-2	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 5.6 kW x 1台（室内機） 暖房能力 6.3 kW x 1台（室内機） 付属品 一式共	3台	1	200	0.04	1F	第1美術室	パナソニック：S-G56TU1
GHP-8-3	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 5.6 kW x 1台（室内機） 暖房能力 6.3 kW x 1台（室内機） 付属品 一式共	2台	1	200	0.04	1F	特別支援学級	パナソニック：S-G56TU1
GHP-8-4	ガスヒートポンプマルチ (新設)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 5.6 kW x 1台（室内機） 暖房能力 6.3 kW x 1台（室内機） 付属品 一式共	4台	1	200	0.04	2F	図書室	パナソニック：S-G56TU1
GHP-RC	ワイヤードリモコン		19個				-	各部屋	
CR-1	集中コントローラー (新設)	型式 ON-OFF集中コントローラー 外形寸法 W122 x D14+51 x h121	2台	1	100	0.004	2F	職員室	パナソニック：CZ-10AN4

※ 1. 電気容量は参考値とする。  
2. 冷房能力及び暖房能力は、標準順条件時（JIS B 8616）の能力を示す。

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考
				相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kW)	階	室名	
AC-1	空冷ヒートポンプパッケージ (ペアタイプ) (再取付け)	型式 天吊形 冷房能力 12.5 kW 暖房能力 14.0 kW 圧縮機 送風機（室外機） （室内機） 付属品 一式共	1台	3	200	3.72	1F	保健室	三菱電機：PUZ-ZRMP140KA11
EHP-1	空冷ヒートポンプパッケージ (再取付け)	（室外機） 型式 床置形 冷房能力 33.5 kW 暖房能力 37.5 kW 圧縮機 COMP 送風機 210 m3/min FAN 付属品 一式共	1組	3	200	9.51		屋外	三菱電機：PUHY-EP335DMG7
EHP-1-1	空冷ヒートポンプパッケージ (再取付け)	（室内機） 型式 天吊形 冷房能力 9.0 kW 暖房能力 10.0 kW 送風機 20 m3/min FAN 付属品 一式共	2台	3	200		2F	職員室	三菱電機：PCFY-P90KM9
EHP-1-2	空冷ヒートポンプパッケージ (再取付け)	（室内機） 型式 天井カセット形2方向吹出 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 送風機 13 m3/min FAN 付属品 一式共	1台	3	200		2F	校長室	三菱電機：PLFY-P56LM9
EHP-1-3	空冷ヒートポンプパッケージ (再取付け)	（室内機） 型式 天井カセット形2方向吹出 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 送風機 13 m3/min FAN 付属品 一式共	1台	3	200		2F	事務室	三菱電機：PLFY-P56LM9
EHP-RC	ワイヤードリモコン (再取付け)		4個				-	各部屋	



空調設備 系統図 N/S

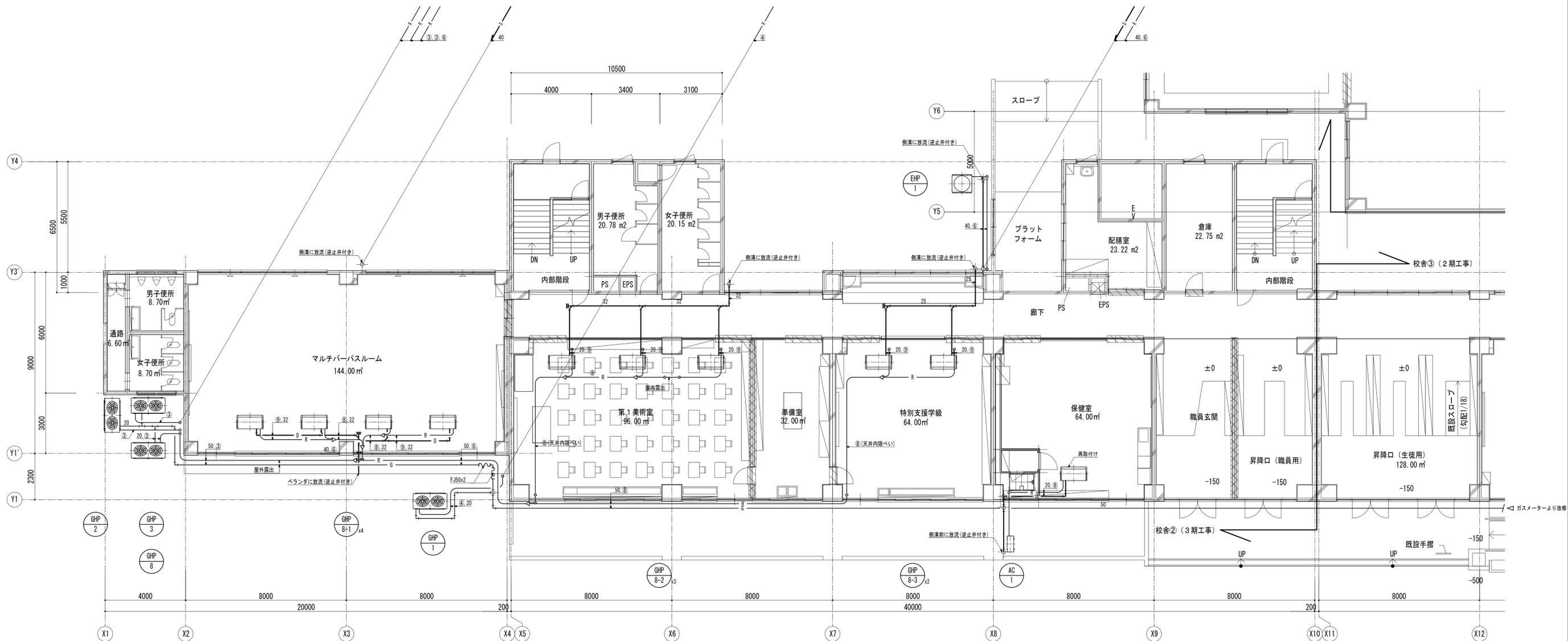


注記 1. \* はコア抜き箇所を示し、線図表の上施工すること。  
 2. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 3. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

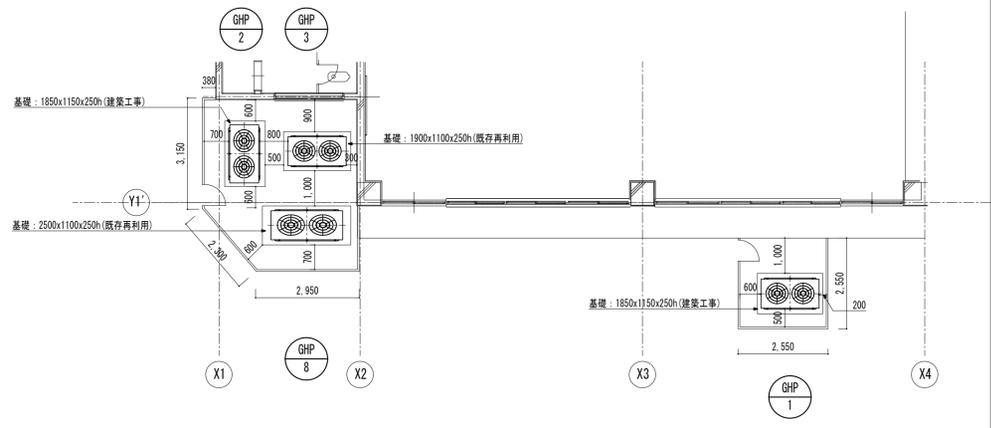
■ 冷媒用保温付配管

液	ガス	径	管種・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECOTFS1 2S-2C 室内外張り線: EM-GES1 2S-2C 集中線: EM-GES2 0-2C
②	15.88 φ	31.80 φ	
③	15.88 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	28.58 φ	
⑤	12.70 φ	25.40 φ	
⑥	9.52 φ	22.20 φ	
⑦	9.52 φ	19.05 φ	
⑧	9.52 φ	15.88 φ	
⑨	9.52 φ	12.70 φ	
⑩	6.35 φ	12.70 φ	

■ 注記  
 工事対象外  
 既設機器



GHP配置図 1:100

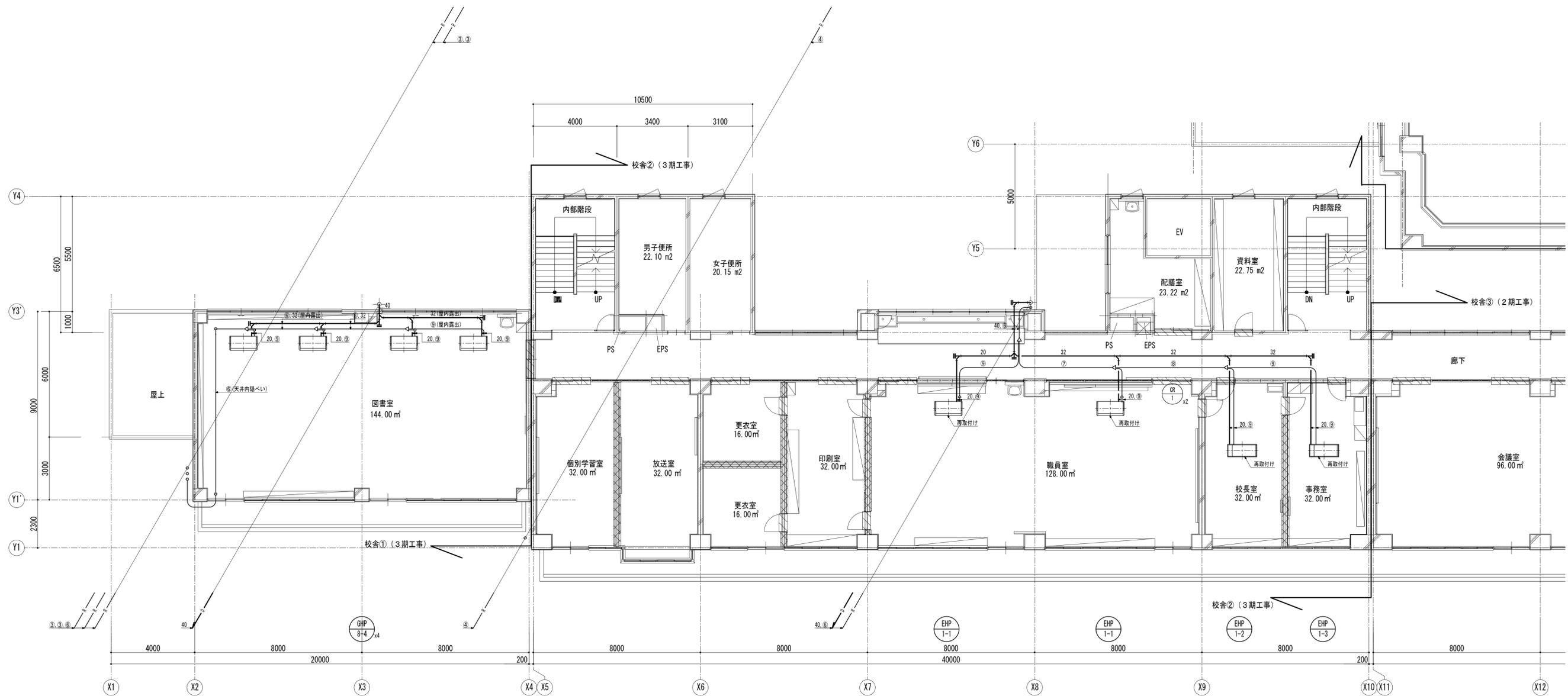


1階平面図 1/100

- 注記) 1. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 2. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 3. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。  
 3. GHP-1室外機は既存樹木を避けて設置すること。

■ 冷媒用保温付被覆銅管

液	ガス	番号線・電源線
① 19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCIFS1. 2S-2C 室内外渡り線: EM-CEES1. 2S-2C 集中線: EM-CEES2. 0-2C
② 15.88 φ	31.80 φ	
③ 15.88 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	28.58 φ	
⑤ 12.70 φ	25.40 φ	
⑥ 9.52 φ	22.20 φ	
⑦ 9.52 φ	19.05 φ	
⑧ 9.52 φ	15.88 φ	
⑨ 9.52 φ	12.70 φ	
⑩ 6.35 φ	12.70 φ	

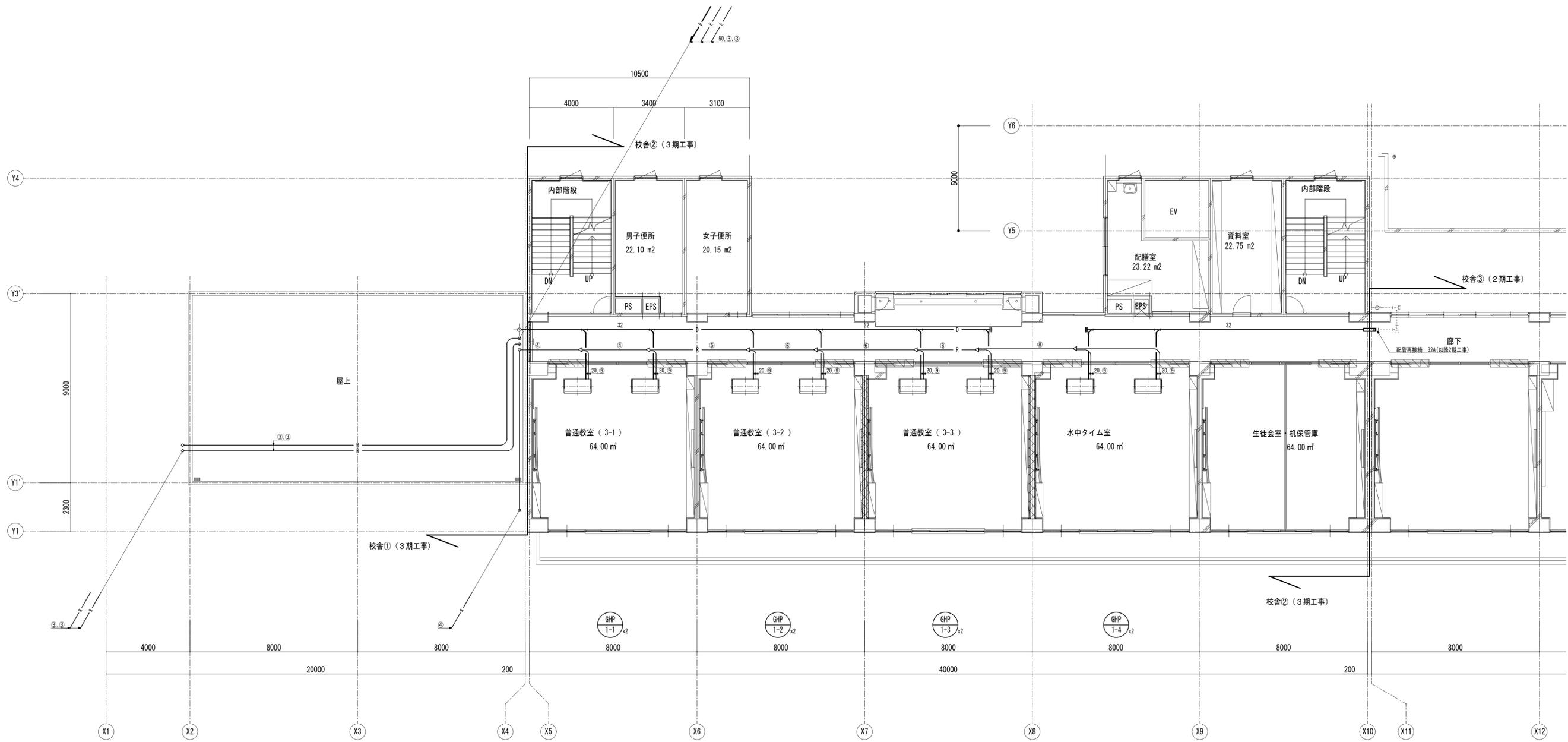


2階平面図 1/100

- 注記) 1. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 2. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 3. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

■ 冷媒用保温付被覆鋼管

径	ガス	番号線・電源線
① 19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCTS1.25-2C 室内外渡り線: EM-CEES1.25-2C 集中線: EM-CEES2.0-2C
② 15.88 φ	31.80 φ	
③ 15.88 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	28.58 φ	
⑤ 12.70 φ	25.40 φ	
⑥ 9.52 φ	22.20 φ	
⑦ 9.52 φ	19.05 φ	
⑧ 9.52 φ	15.88 φ	
⑨ 9.52 φ	12.70 φ	
⑩ 6.35 φ	12.70 φ	

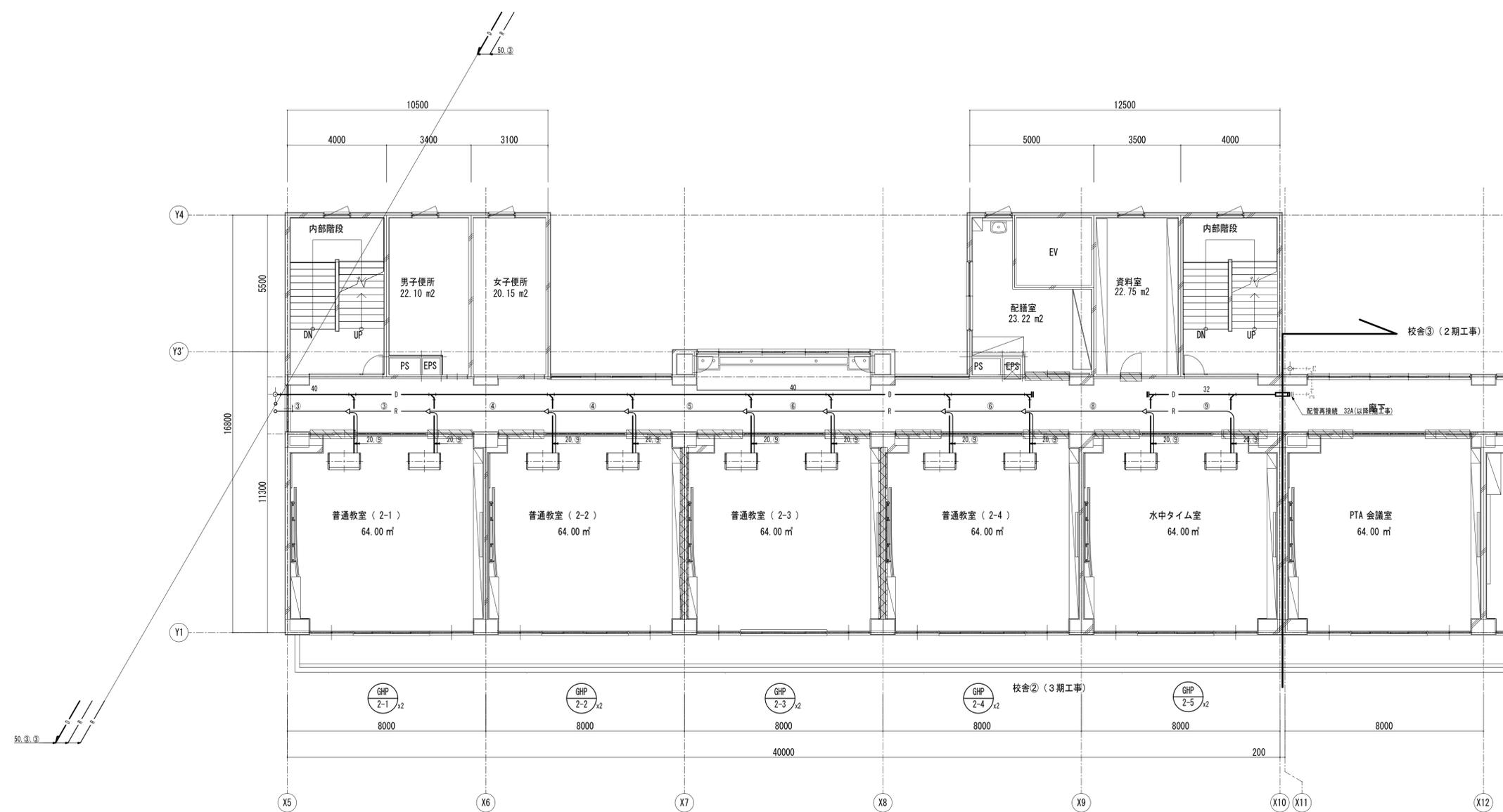


3階平面図 1/200

- 注記) 1. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 2. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 3. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

■ 冷媒用保温付被覆鋼管

径	ガス	番号線・電源線
① 19.05 φ	31.80 φ	
② 15.88 φ	31.80 φ	
③ 15.88 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	28.58 φ	リモコン線: EM-ECCIFS1. 2S-2C
⑤ 12.70 φ	25.40 φ	室内外渡り線: EM-CEES1. 2S-2C
⑥ 9.52 φ	22.20 φ	集中線: EM-CEES2. 0-2C
⑦ 9.52 φ	19.05 φ	
⑧ 9.52 φ	15.88 φ	
⑨ 9.52 φ	12.70 φ	
⑩ 6.35 φ	12.70 φ	

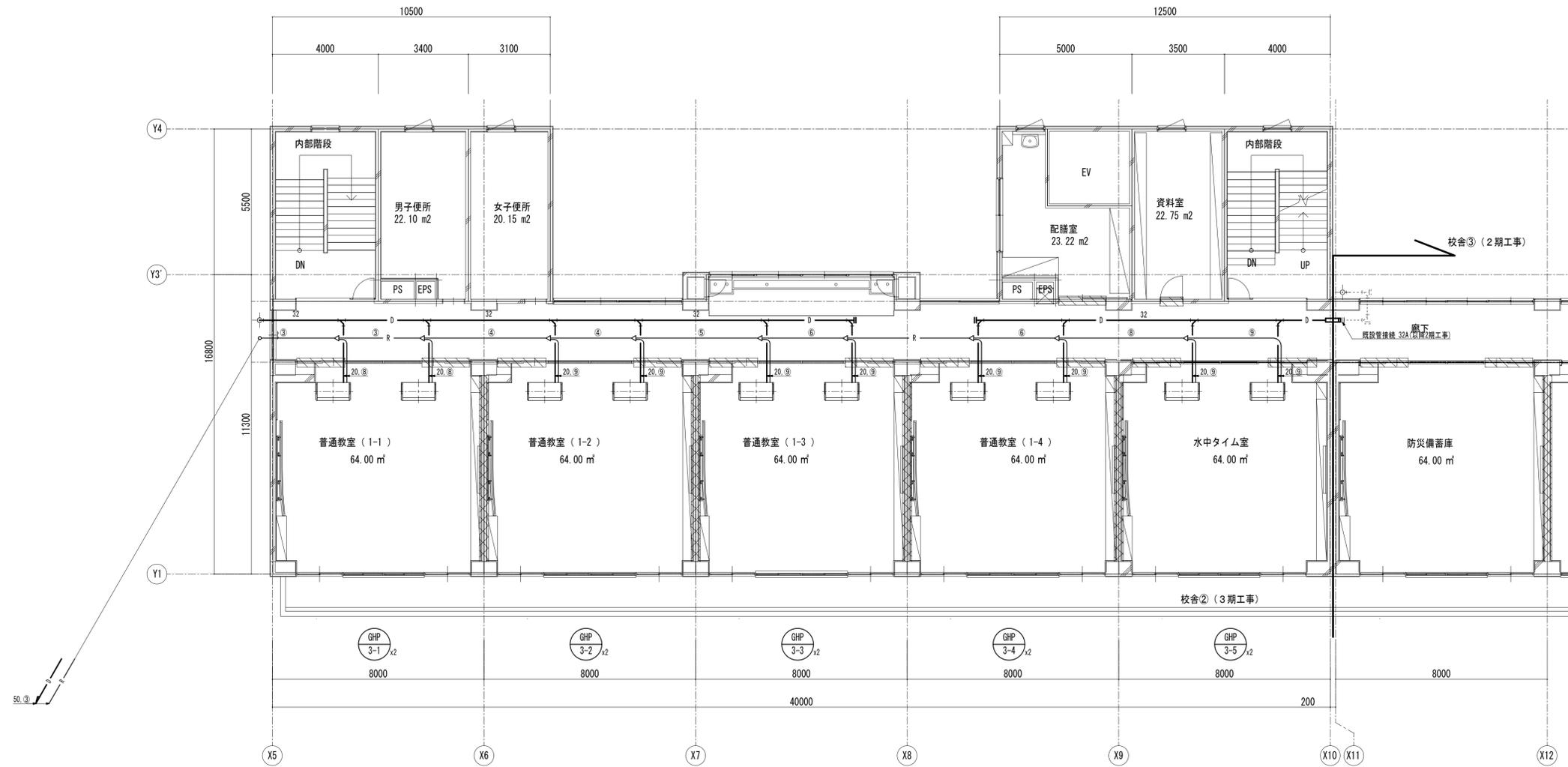


4階平面図 1/100

- 注記) 1. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 2. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 3. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

■ 冷媒用保温付被覆銅管

径	方 式	番 号 線 ・ 電 源 線
① 19.05 φ	31.80 φ	
② 15.88 φ	31.80 φ	
③ 15.88 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	28.58 φ	
⑤ 12.70 φ	25.40 φ	リモコン線：EM-ECCTFS1.25-2C 室内外渡り線：EM-CEESI.25-2C 集中線：EM-CEESZ.0-2C
⑥ 9.52 φ	22.20 φ	
⑦ 9.52 φ	19.05 φ	
⑧ 9.52 φ	15.88 φ	
⑨ 9.52 φ	12.70 φ	
⑩ 6.35 φ	12.70 φ	



5階平面図 1/100

- 注記) 1. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 2. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 3. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

■ 冷媒用保温付被覆銅管

径	ガス	信号線・電源線
① 19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCTS1 2S-2C 室内外渡り線: EM-CEES1 2S-2C 集中線: EM-CEES2 0-2C
② 15.88 φ	31.80 φ	
③ 15.88 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	28.58 φ	
⑤ 12.70 φ	25.40 φ	
⑥ 9.52 φ	22.20 φ	
⑦ 9.52 φ	19.05 φ	
⑧ 9.52 φ	15.88 φ	
⑨ 9.52 φ	12.70 φ	
⑩ 6.35 φ	12.70 φ	

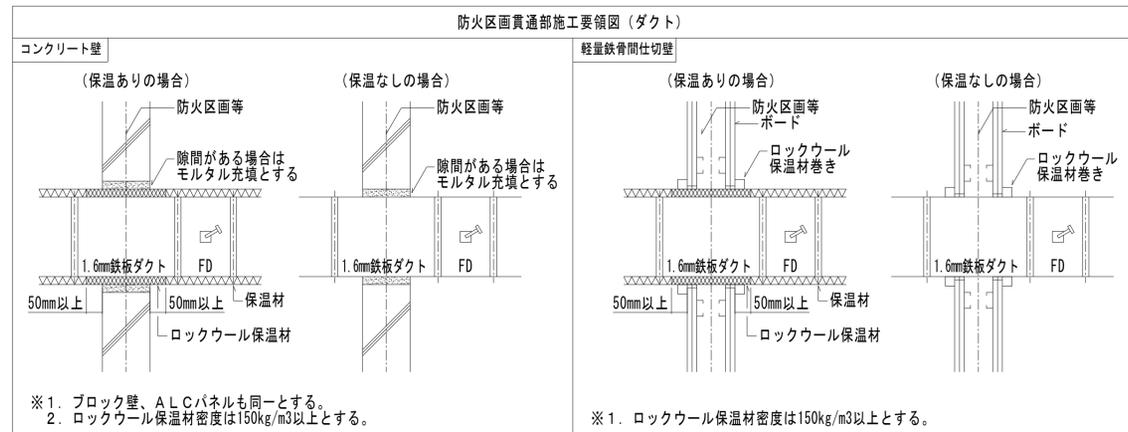
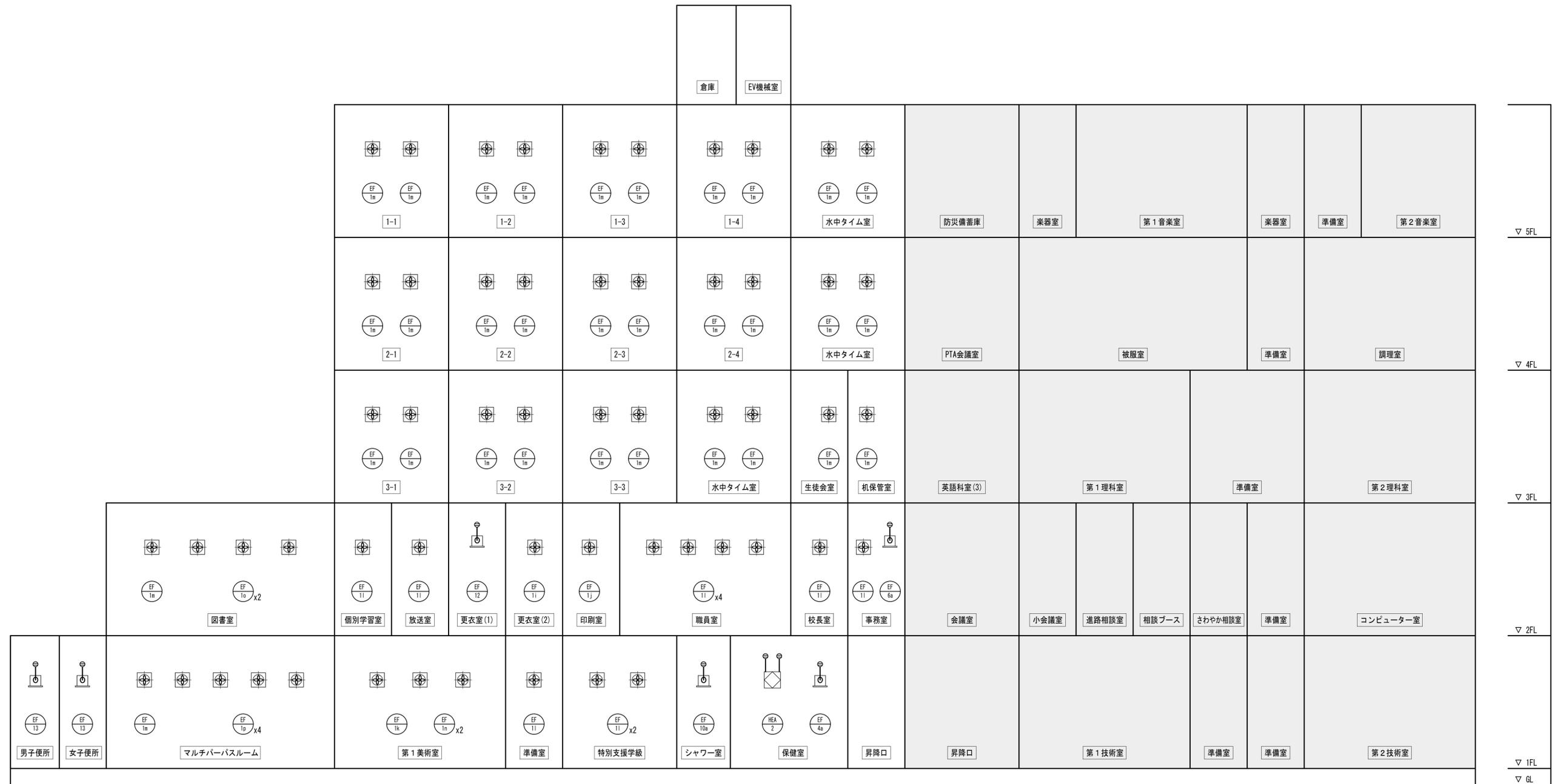
換気設備（改修）機器表

記号	名称	仕様	電力			数量	設置場所		備考 (参考)			
			φ	V	KW		階	室名				
EF-1i	有圧扇 (新設)	型式	学校用壁付換気扇(24時間換気機能付) 格子タイプ			1台	2階	更衣室	三菱電機:EX-20SC4			
		仕様	200φ x 250 m3/h x 22 Pa									
		付属品	コントロールスイッチ、ウェザーカバー(SUS)、防鳥網、電気式シャッター、その他付属品一式									
EF-1j	有圧扇 (新設)	型式	学校用壁付換気扇(24時間換気機能付) 格子タイプ			1台	2階	印刷室	三菱電機:EX-25SC4			
		仕様	250φ x 300 m3/h x 22 Pa									
		付属品	コントロールスイッチ、ウェザーカバー(SUS)、防鳥網、電気式シャッター、その他付属品一式									
EF-1k	有圧扇 (新設)	型式	学校用壁付換気扇(24時間換気機能付) 格子タイプ			1台	1階	第1美術室	三菱電機:EX-25SC4			
		仕様	250φ x 320 m3/h x 22 Pa									
		付属品	コントロールスイッチ、ウェザーカバー(SUS)、防鳥網、電気式シャッター、その他付属品一式									
EF-1l	有圧扇 (新設)	型式	学校用壁付換気扇(24時間換気機能付) 格子タイプ			11台	1階	特別支援学級	三菱電機:EX-25SC4			
		仕様	250φ x 350 m3/h x 22 Pa									
		付属品	コントロールスイッチ、ウェザーカバー(SUS)、防鳥網、電気式シャッター、その他付属品一式									
										1台	2階	事務室
										1台	2階	校長室
										1台	2階	個別学習室
										4台	2階	職員室
				1台	2階	放送室						
EF-1m	有圧扇 (新設)	型式	学校用壁付換気扇(24時間換気機能付) 格子タイプ			32台	1階	マルチバス	三菱電機:EX-25SC4			
		仕様	250φ x 400 m3/h x 22 Pa									
		付属品	コントロールスイッチ、ウェザーカバー(SUS)、防鳥網、電気式シャッター、その他付属品一式									
										1台	2階	図書室
										2台	3階	普通教室(3-1)
										2台	3階	普通教室(3-2)
										2台	3階	普通教室(3-3)
										2台	3階	水中タイム室
										2台	3階	生徒会室
										2台	4階	普通教室(2-1)
										2台	4階	普通教室(2-2)
				2台	4階	普通教室(2-3)						
				2台	4階	普通教室(2-4)						
				2台	4階	水中タイム室						
				2台	5階	普通教室(1-1)						
				2台	5階	普通教室(1-2)						
				2台	5階	普通教室(1-3)						
				2台	5階	普通教室(1-4)						
				2台	5階	水中タイム室						
EF-1n	有圧扇 (新設)	型式	業務用有圧扇 格子タイプ			2台	1階	第1美術室	三菱電機:EFG-25KSB2-W			
		仕様	250φ x 320 m3/h x 30 Pa									
		付属品	コントロールスイッチ、ウェザーカバー(SUS)、薄壁取付枠、防鳥網、電動シャッター、その他付属品一式									
EF-1o	有圧扇 (新設)	型式	業務用有圧扇 格子タイプ			2台	2階	図書室	三菱電機:EFG-25KSB2-W			
		仕様	250φ x 580 m3/h x 22 Pa									
		付属品	コントロールスイッチ、ウェザーカバー(SUS)、防鳥網、電動シャッター、その他付属品一式									

※ 1. 電気容量は参考値とする。

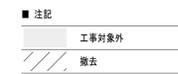
記号	名称	仕様	電力			数量	設置場所		備考
			φ	V	KW		階	室名	
EF-1p	有圧扇 (新設)	型式	業務用有圧扇 格子タイプ			4台	1階	マルチバス	三菱電機:EFG-25KSB2-W
		仕様	250φ x 650 m3/h x 22 Pa						
		付属品	コントロールスイッチ、ウェザーカバー(SUS)、防鳥網、電動シャッター、その他付属品一式						
EF-4a	排風機 (新設)	型式	天井埋込形換気扇(台所用)			1台	1階	保健室	三菱電機:VD-20ZH13
		仕様	150φ x 300 m3/h x 60 Pa						
		付属品	コントロールスイッチ、深型フード(SUS)、グリズフィルター、天吊金具、その他付属品一式						
EF-6a	排風機 (新設)	型式	天井埋込形換気扇(台所用)			1台	2階	事務室	三菱電機:VD-20ZH13
		仕様	150φ x 300 m3/h x 60 Pa						
		付属品	コントロールスイッチ、深型フード(SUS)、グリズフィルター、天吊金具、その他付属品一式						
EF-10a	排風機 (新設)	型式	天井埋込形換気扇(2部屋用、24時間換気機能付)			1台	1階	シャワー室	三菱電機:VD-15ZFLC14-S
		仕様	150φ x 100 m3/h x 75 Pa						
		付属品	コントロールスイッチ、深型フード(SUS)、副吸込グリル、天吊金具、その他付属品一式						
EF-12	排風機 (新設)	型式	天井埋込形換気扇(24時間換気機能付)			1台	2階	更衣室	三菱電機:VD-18ZLXP14-GS
		仕様	150φ x 250 m3/h x 55 Pa						
		付属品	コントロールスイッチ、深型フード(SUS)、天吊金具、その他付属品一式						
EF-13	排風機 (新設)	型式	天井埋込形換気扇(24時間換気機能付)			2台	1階	屋外	三菱電機:VD-20ZLC14-S
		仕様	150φ x 350 m3/h x 55 Pa						
		付属品	コントロールスイッチ、深型フード(SUS)、天吊金具、その他付属品一式						
HEU-2	全熱交換器 (新設)	型式	天井埋込型			1台	1階	保健室	三菱電機:LGH-N65RX4
		仕様	200φ x 650 m3/h x 120 Pa(熱交換率70%以上)						
		付属品	コンパクトリモコン、防振吊金具、虫侵入防止ユニット、ペントキャップ(SUS)その他付属品一式						

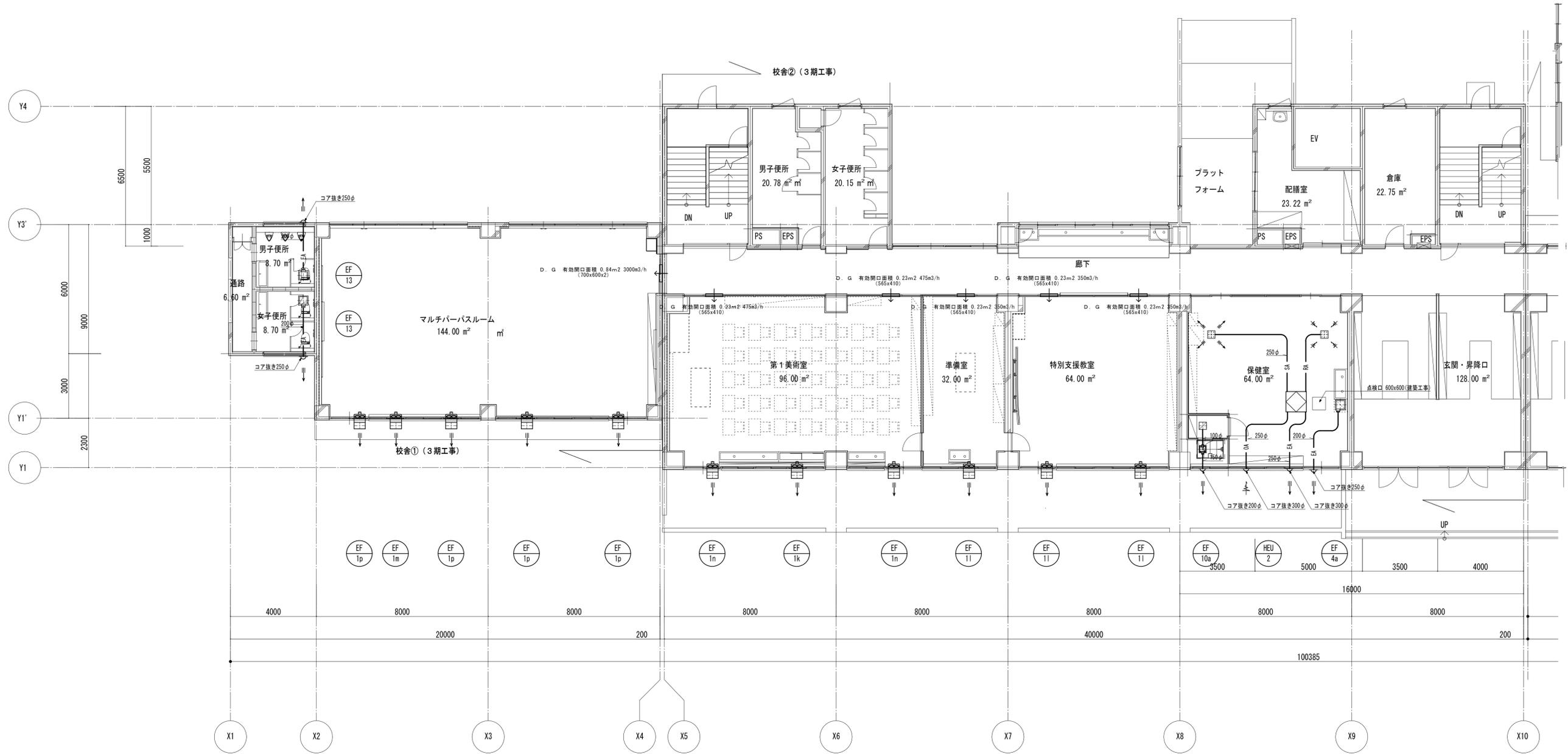
※ 1. 電気容量は参考値とする。



換気設備 系統図 N/S

- 注記) 1. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 2. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 3. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

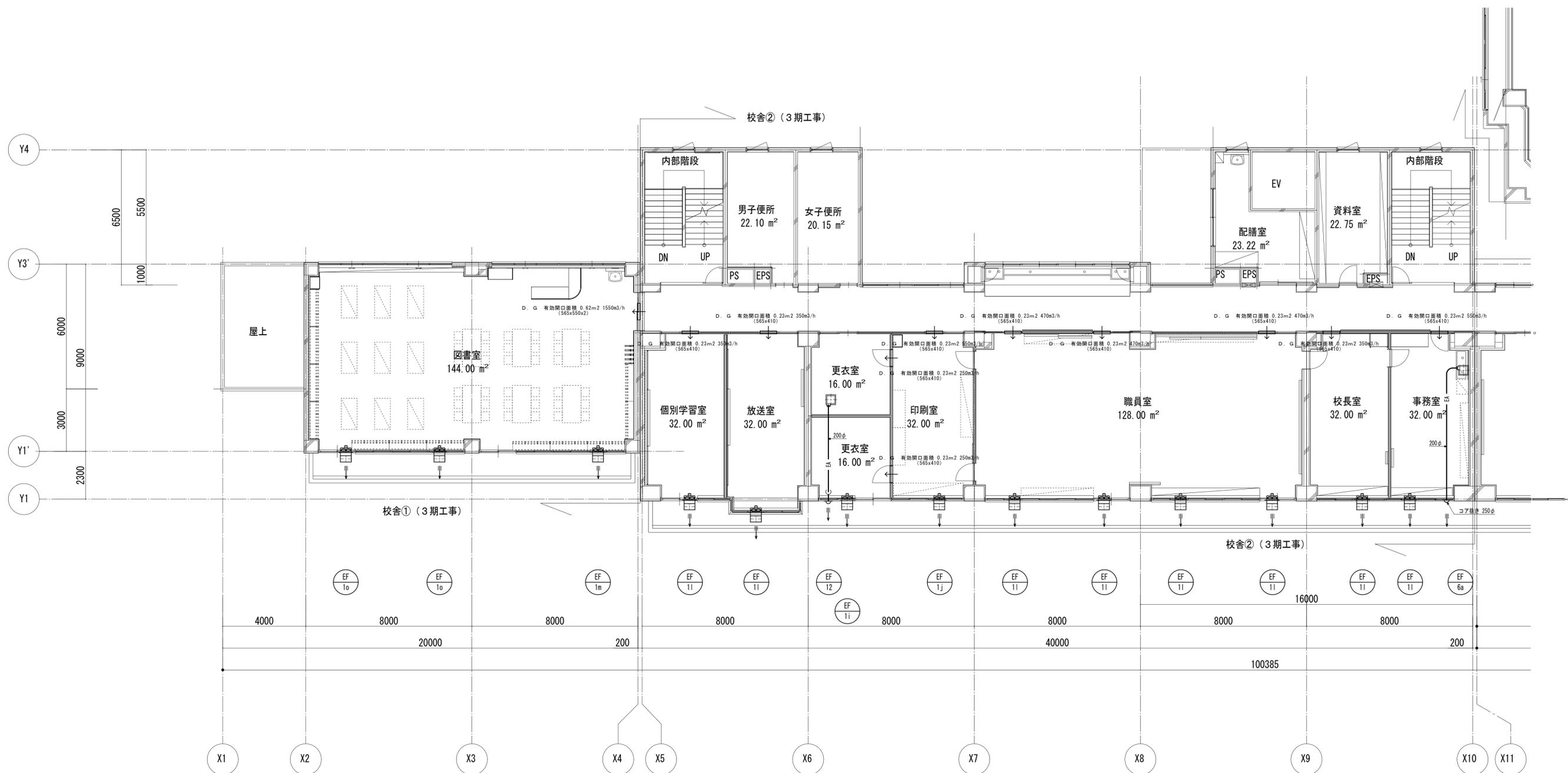




1階平面図 1/100

- 注記) 1. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 2. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 3. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

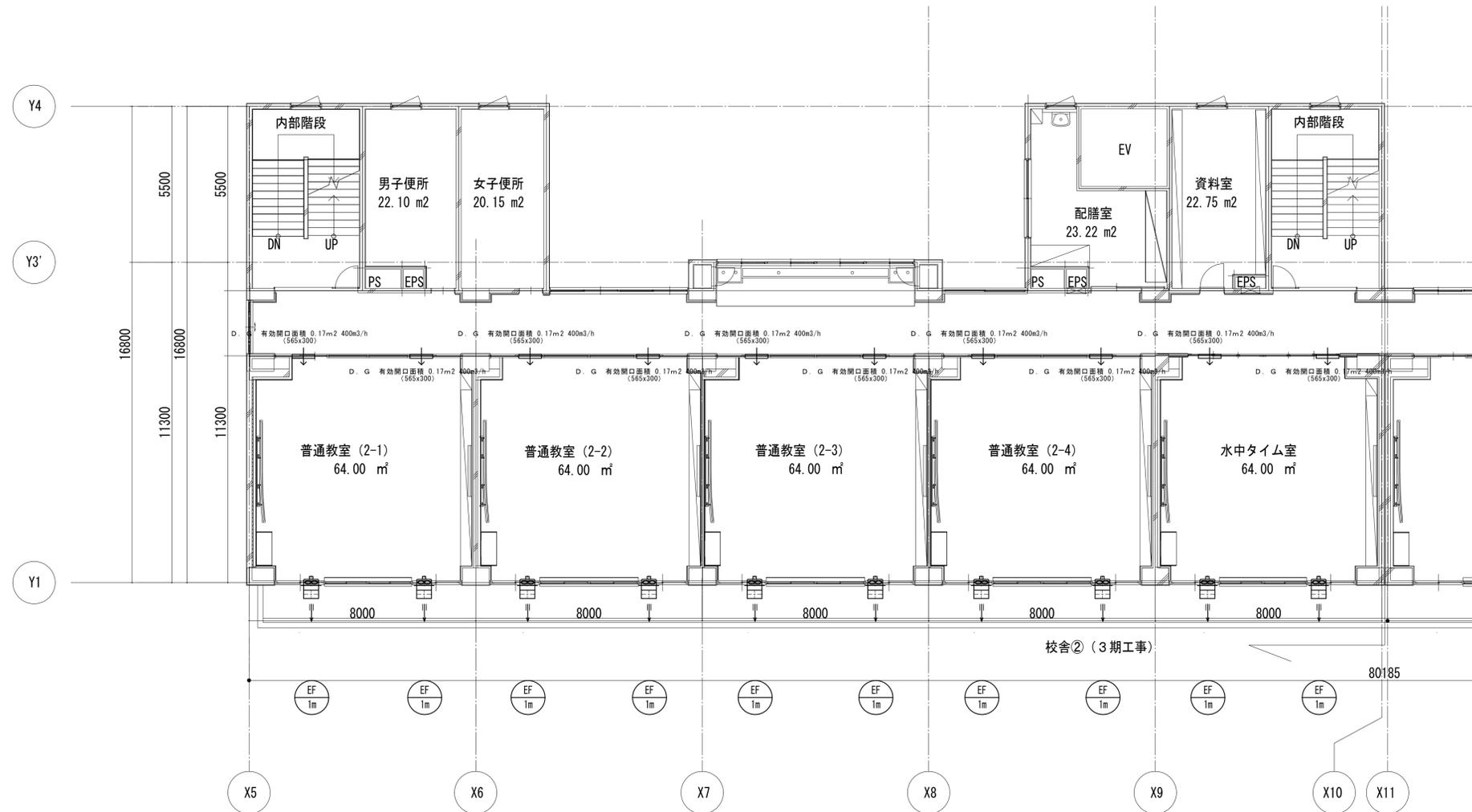
保健室		保健室	
吹出口	VHS 250×250	吸入口	HS 250×250
Q= 250 m <sup>3</sup> /h		Q= 250 m <sup>3</sup> /h	
消音BOX 350×350×250 (GN25c 内貼)		消音BOX 350×350×250 (GN25c 内貼)	



2階平面図 1/100

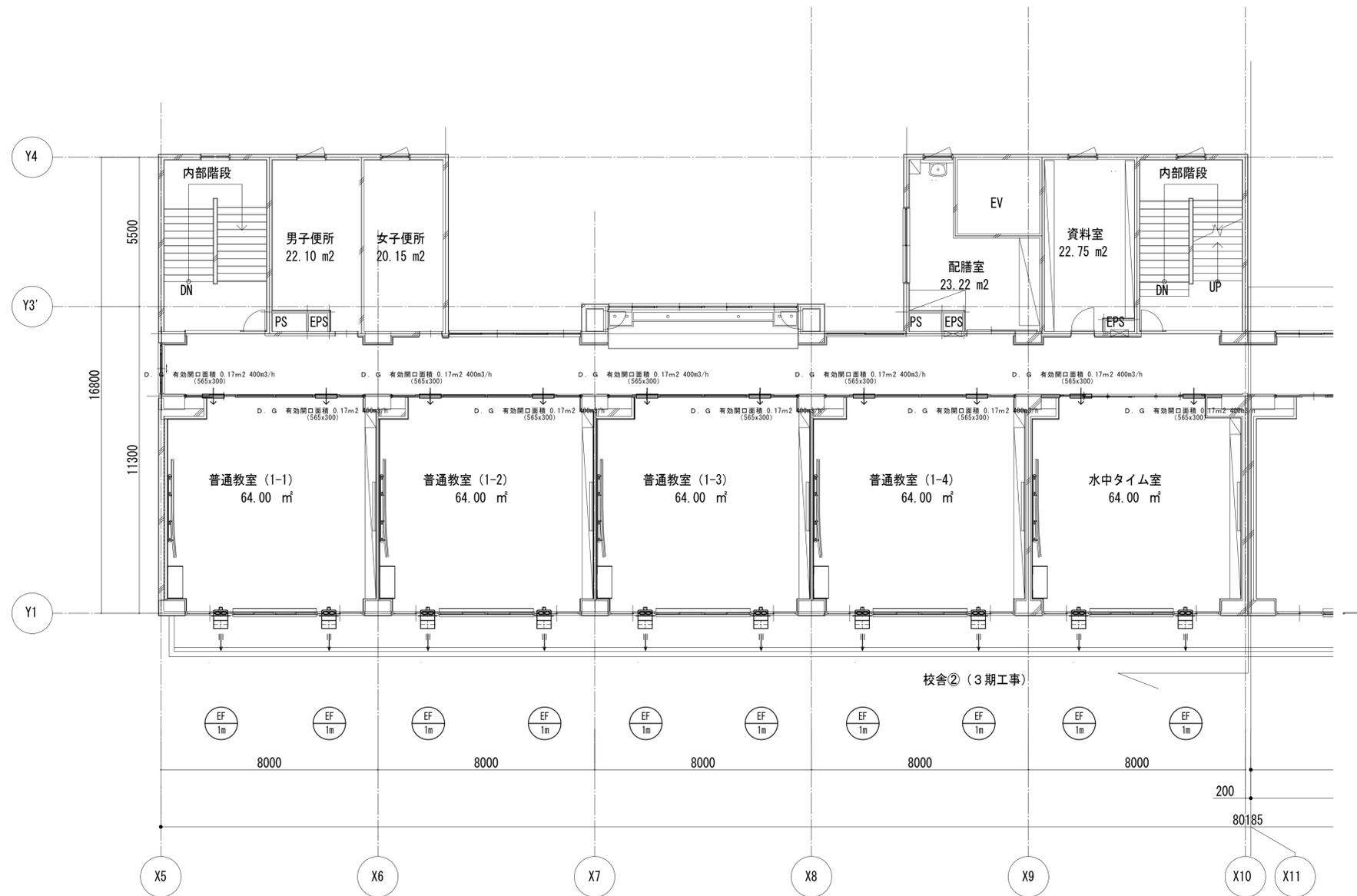
- 注記) 1. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 2. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 3. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。





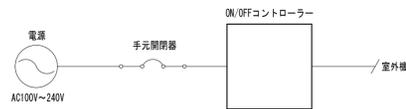
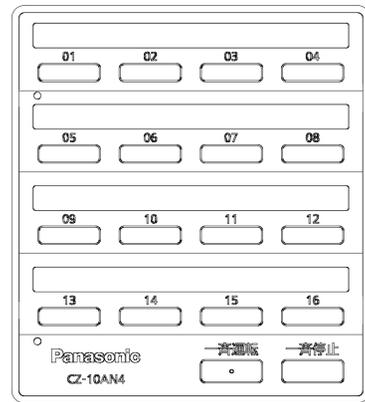
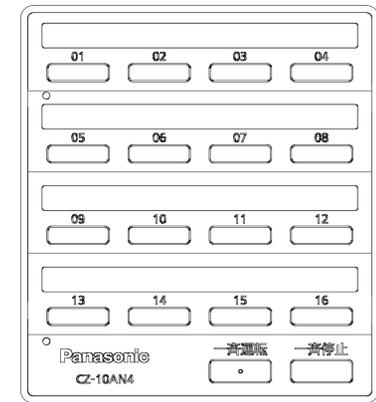
4階平面図 1/100

- 注記) 1. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 2. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 3. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

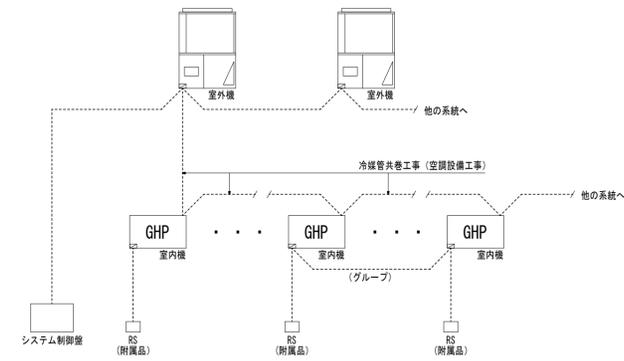


5階平面図 1/100

- 注記) 1. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 2. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 3. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。



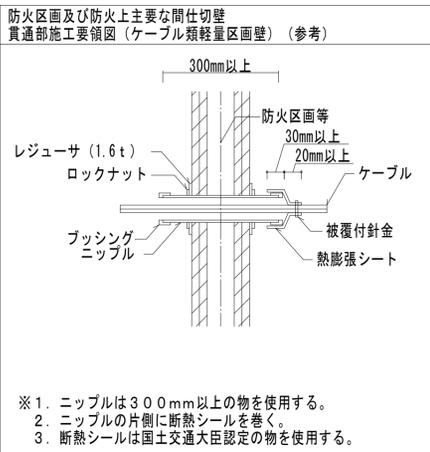
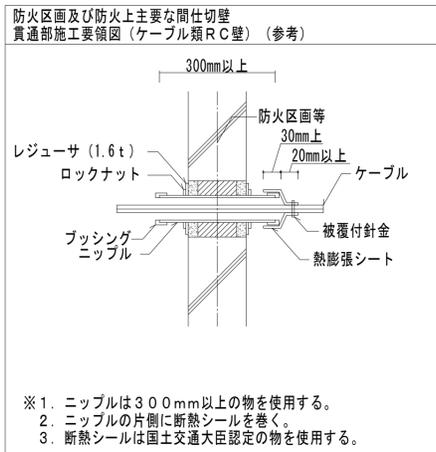
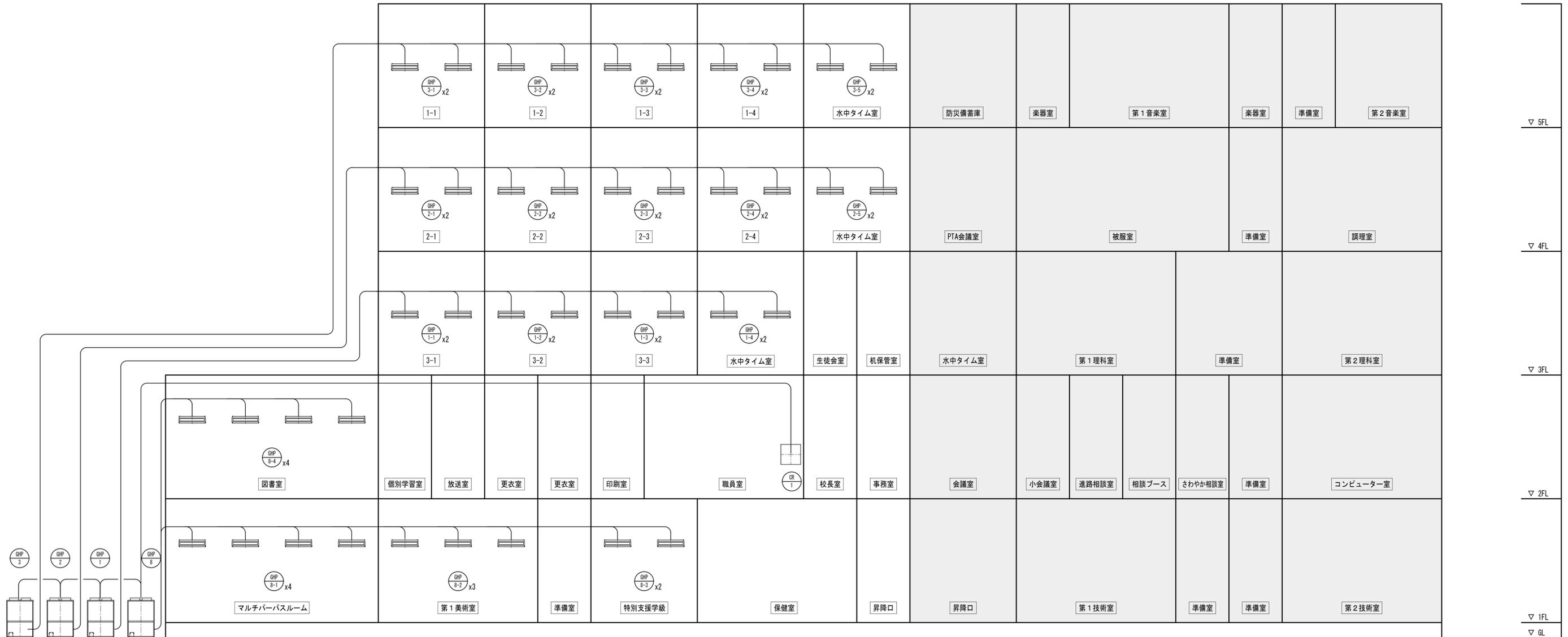
- <概要>
- 最大16の室内ユニットのグループを個別および一括に運転、停止でき、2~8台使用することにより最大128の室内ユニットのグループを個別および一括に運転、停止できるものとする。
- <注記>
- 一括運転・一括停止ボタン  
すべての室内ユニットを運転、停止できるものとする。
  - 個別運転・停止ボタン  
各グループ個別に運転、停止できるものとする。
  - 異常表示  
運転ランプが点滅するときは、点滅しているグループに異常があることを示すものとする。



- <制御項目>
- 空調システムとの通信<ビル用マルチ空調機系統>  
(発停・状態・警報・設定温度・設定温度制限・運転モード切替・計測・異常コード)
- <注記>
- 電源供給は電気工事とする。
  - 室内機~室外機間信号線は冷媒管共巻(空調設備工事)とする。
  - RS(手元リモコン)は装置付属品とする。

管理点一覧表

設備記号	操作名称	自動制御盤	信号取合先	操作		監視		計測		計量	通信	管理 点数	備考
				発停	切換	設定	状態	警報	温度				
■ 3期工事 空調機器制御													
GHP-1	(室外機-560) ガスヒートポンプマルチ												
GHP-1-1	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					(3期工事)
GHP-1-2	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-1-3	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-1-4	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-2	(室外機-710) ガートポンプマルチ												
GHP-2-1	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					(3期工事)
GHP-2-2	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-2-3	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-2-4	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-2-5	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-3	(室外機-710) ガートポンプマルチ												
GHP-3-1	(室内機-71)	-----	室内機	1			1	1					(3期工事)
GHP-3-2	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-3-3	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-3-4	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-3-5	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-8	(室外機-850) ガートポンプマルチ												
GHP-8-1	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					(3期工事)
GHP-8-2	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-8-3	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )
GHP-8-4	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1					( - )



自動制御設備 系統図 N/S

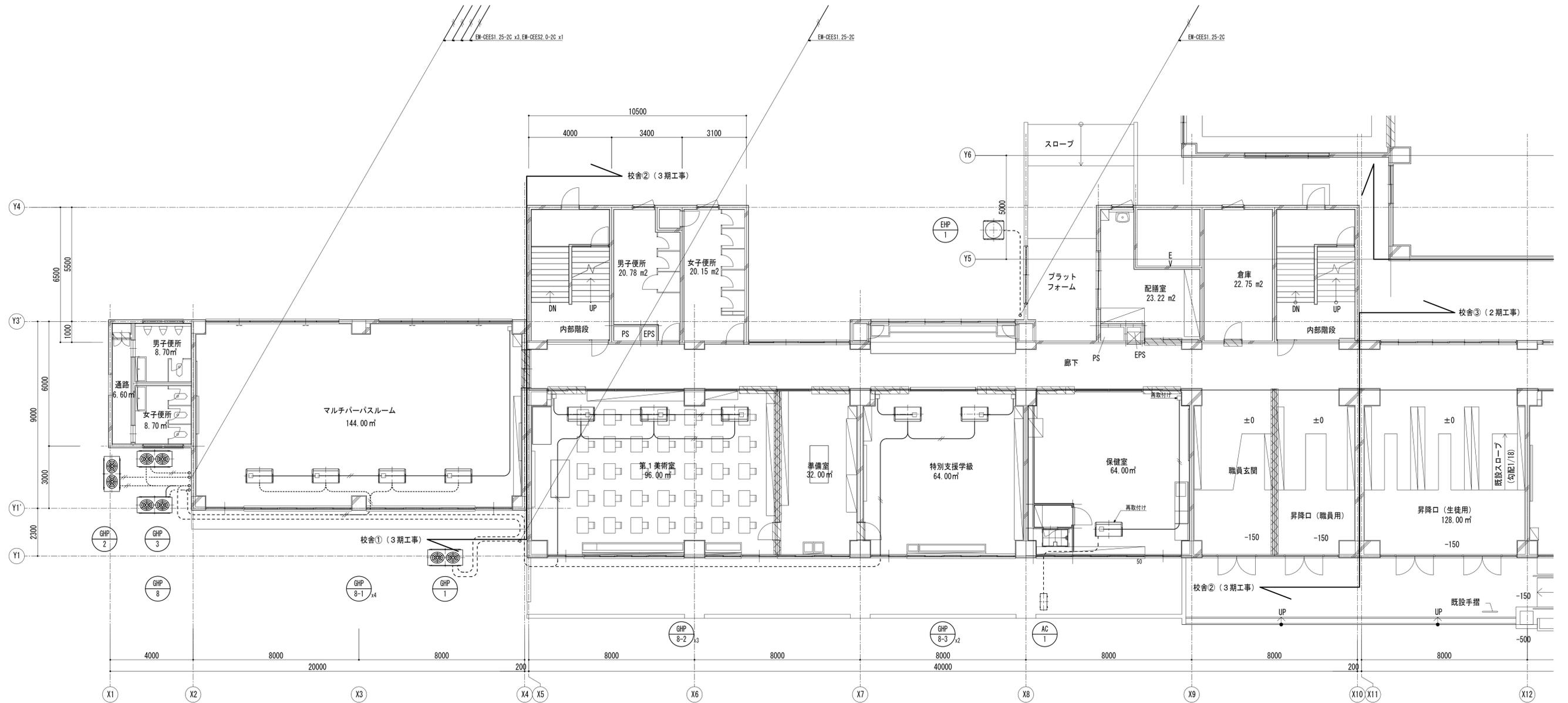
- 注記) 1. 室外機-室内機の渡り配線は、冷媒管共巻とする。  
2. GHP集中制御用配線は、“室外機-集中制御盤”の接続とし、室内機までは冷媒管共巻・室内機から制御盤までを隠べい・天井コトとする。  
3. 天井からスイッチまではE-19とする。  
4. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

■ 注記

工事対象外
-------

■ 冷媒用保温付配管

液	ガス	管径	管種・電源線
① 19.05 φ	31.80 φ		
② 15.88 φ	31.80 φ		
③ 15.88 φ	28.58 φ		
④ 12.70 φ	28.58 φ		リモコン線: EM-ECOTFS1 25-20
⑤ 12.70 φ	25.40 φ		室内外渡り線: EM-GES51 25-20
⑥ 9.52 φ	22.20 φ		集中線: EM-GES52 0-20
⑦ 9.52 φ	19.05 φ		
⑧ 9.52 φ	15.88 φ		
⑨ 9.52 φ	12.70 φ		
⑩ 6.35 φ	12.70 φ		

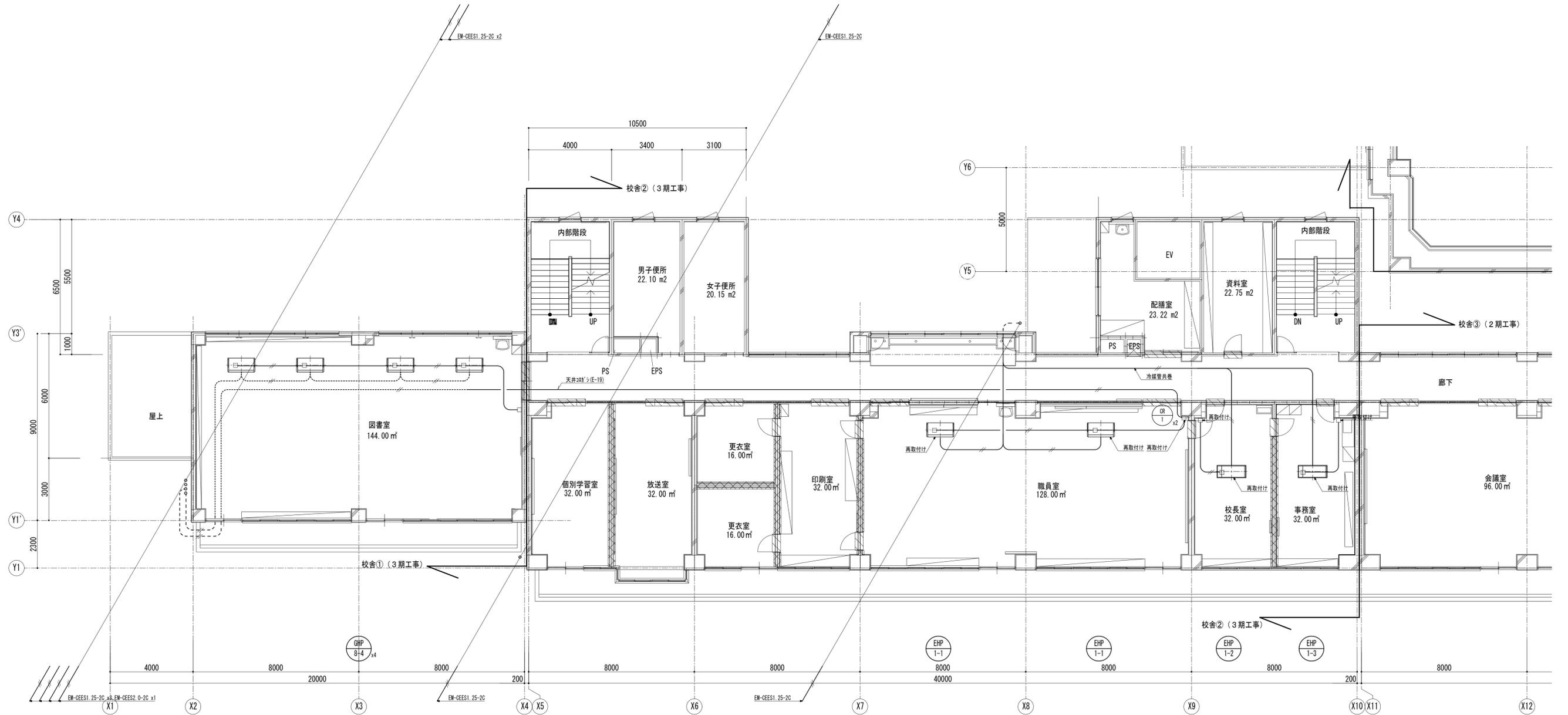


1階平面図 1/100

- 注記) 1. 室外機-室内機の渡り配線は、冷媒管共巻とする。  
 2. GHP集中制御用配線は、“室外機-集中制御盤”の接続とし、室内機までは冷媒管共巻・室内機から制御盤までを隠ぺい・天井コブとする。  
 3. 天井からスイッチまではE-19とする。  
 4. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。  
 5. は天井埋設、 は露出を示す。

■ 冷媒用保温付被覆銅管

径	ガス	番号線・電源線
① 19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCIFS1 2S-2C 室内外渡り線: EM-GES1 2S-2C 集中線: EM-GES2 0-2C
② 15.88 φ	31.80 φ	
③ 15.88 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	28.58 φ	
⑤ 12.70 φ	25.40 φ	
⑥ 9.52 φ	22.20 φ	
⑦ 9.52 φ	19.05 φ	
⑧ 9.52 φ	15.88 φ	
⑨ 9.52 φ	12.70 φ	
⑩ 6.35 φ	12.70 φ	



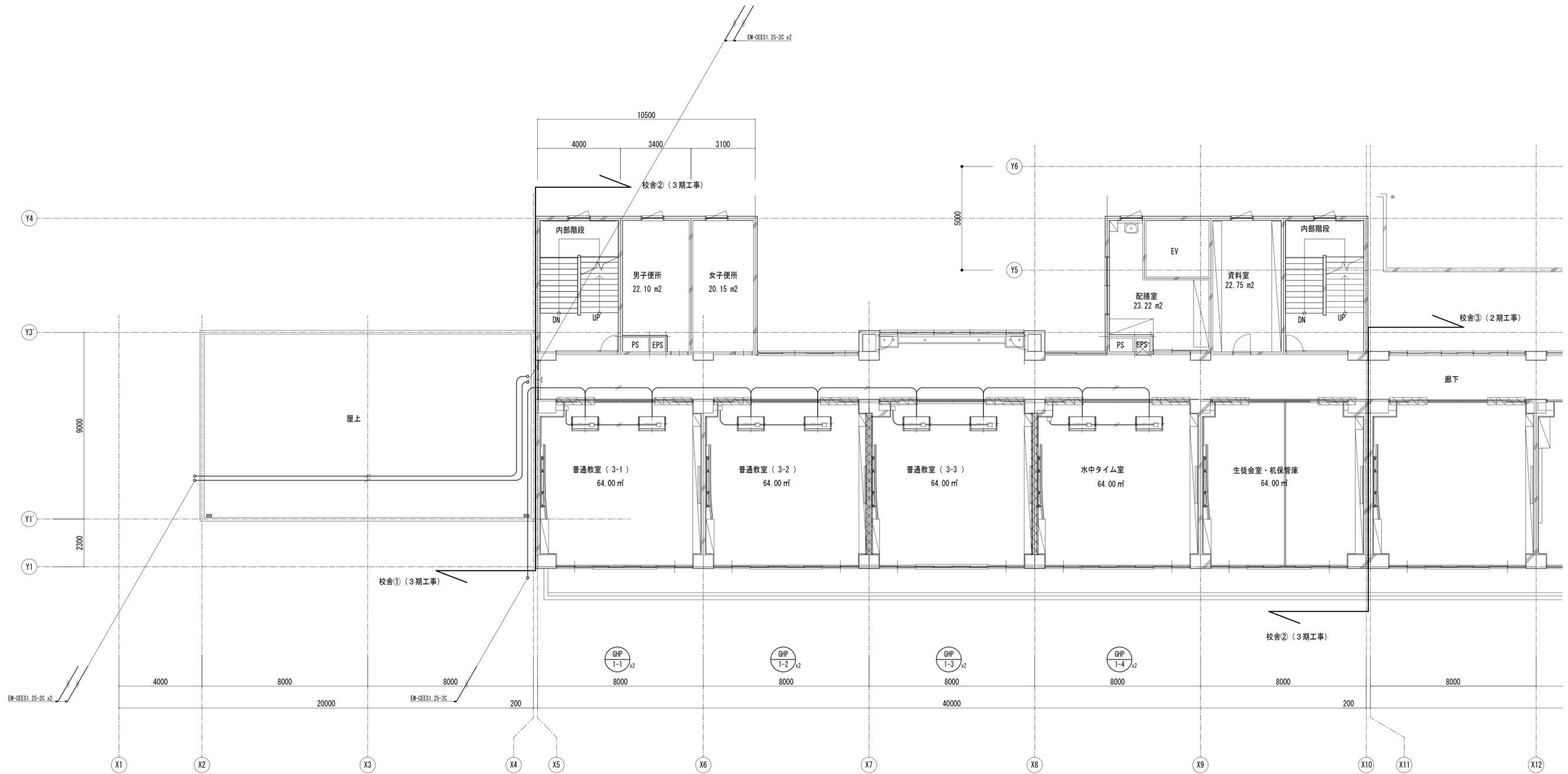
2階平面図 1/100

- 注記) 1. 室外機-室内機の渡り配線は、冷媒管共巻とする。  
 2. GHP集中制御用配線は、“室外機-集中制御盤”の接続とし、室内機までは冷媒管共巻・室内機から制御盤までを隠ぺい・天井コブとする。  
 3. 天井からスイッチまではE-19とする。  
 4. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

■ 冷媒用保温付被覆銅管

径	長さ	番号線・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ
②	15.88 φ	31.80 φ
③	15.88 φ	28.58 φ
④	12.70 φ	28.58 φ
⑤	12.70 φ	25.40 φ
⑥	9.52 φ	22.20 φ
⑦	9.52 φ	19.05 φ
⑧	9.52 φ	15.88 φ
⑨	9.52 φ	12.70 φ
⑩	6.35 φ	12.70 φ

リコン線: EM-ECTFS1.25-2C  
 室内外渡り線: EM-GES1.25-2C  
 集中線: EM-GES2.0-2C

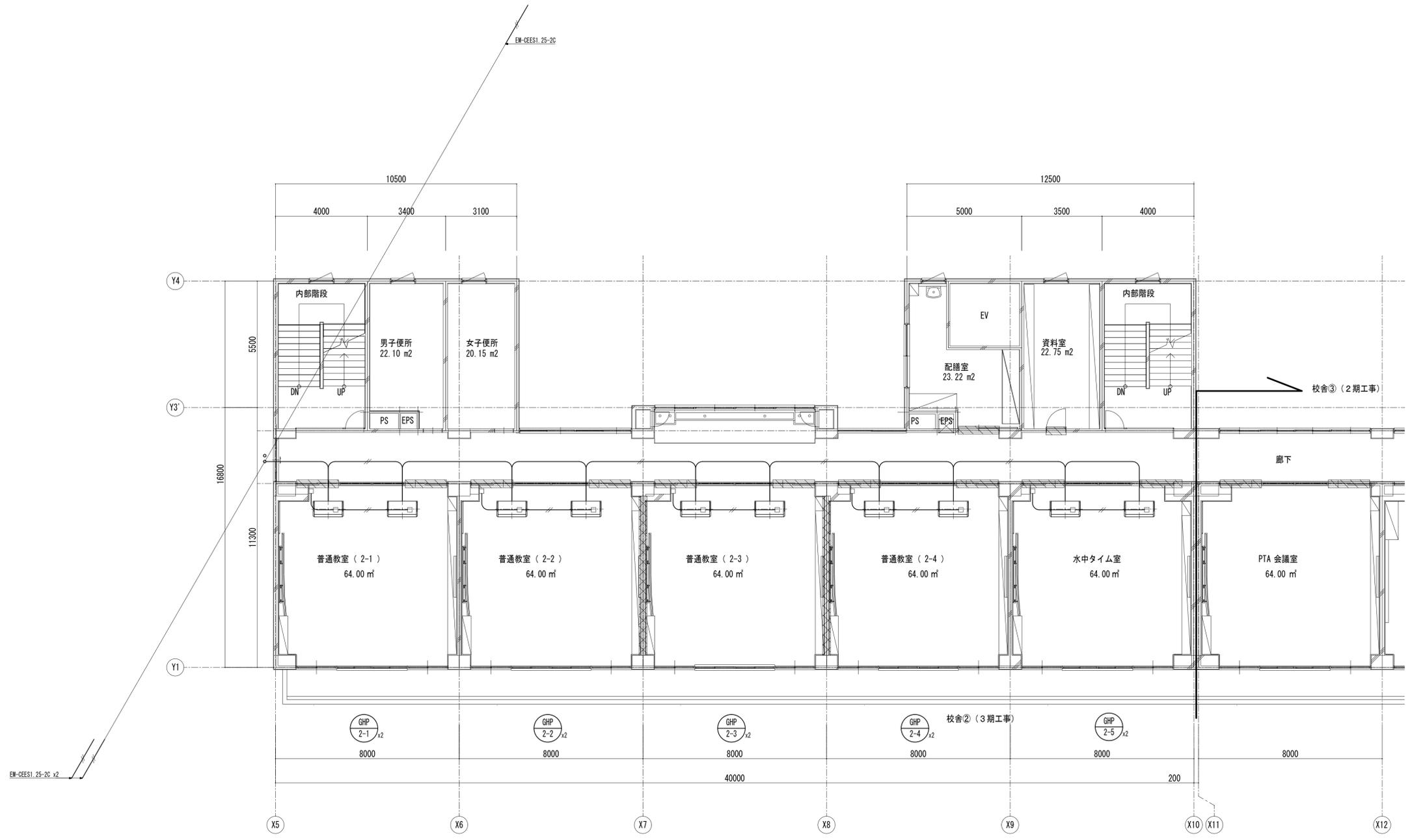


3階平面図 1/200

- 注記) 1. 室外機-室内機の渡り配線は、冷媒管共巻とする。  
 2. GHP集中制御用配線は、“室外機-集中制御盤”の接続とし、室内機までは冷媒管共巻・室内機から制御盤までを隠ぺい・天井コブとする。  
 3. 天井からスイッチまではE-19とする。  
 4. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

■ 冷媒用保温付被覆銅管		
階	ガス	番号線・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ
②	15.88 φ	31.80 φ
③	15.88 φ	28.58 φ
④	12.70 φ	28.58 φ
⑤	12.70 φ	25.40 φ
⑥	9.52 φ	22.20 φ
⑦	9.52 φ	19.05 φ
⑧	9.52 φ	15.88 φ
⑨	9.52 φ	12.70 φ
⑩	6.35 φ	12.70 φ

リモコン線: EM-E0CTFS1.25-2C  
 室内外渡り線: EM-GES1.25-2C  
 集中線: EM-GES2.0-2C



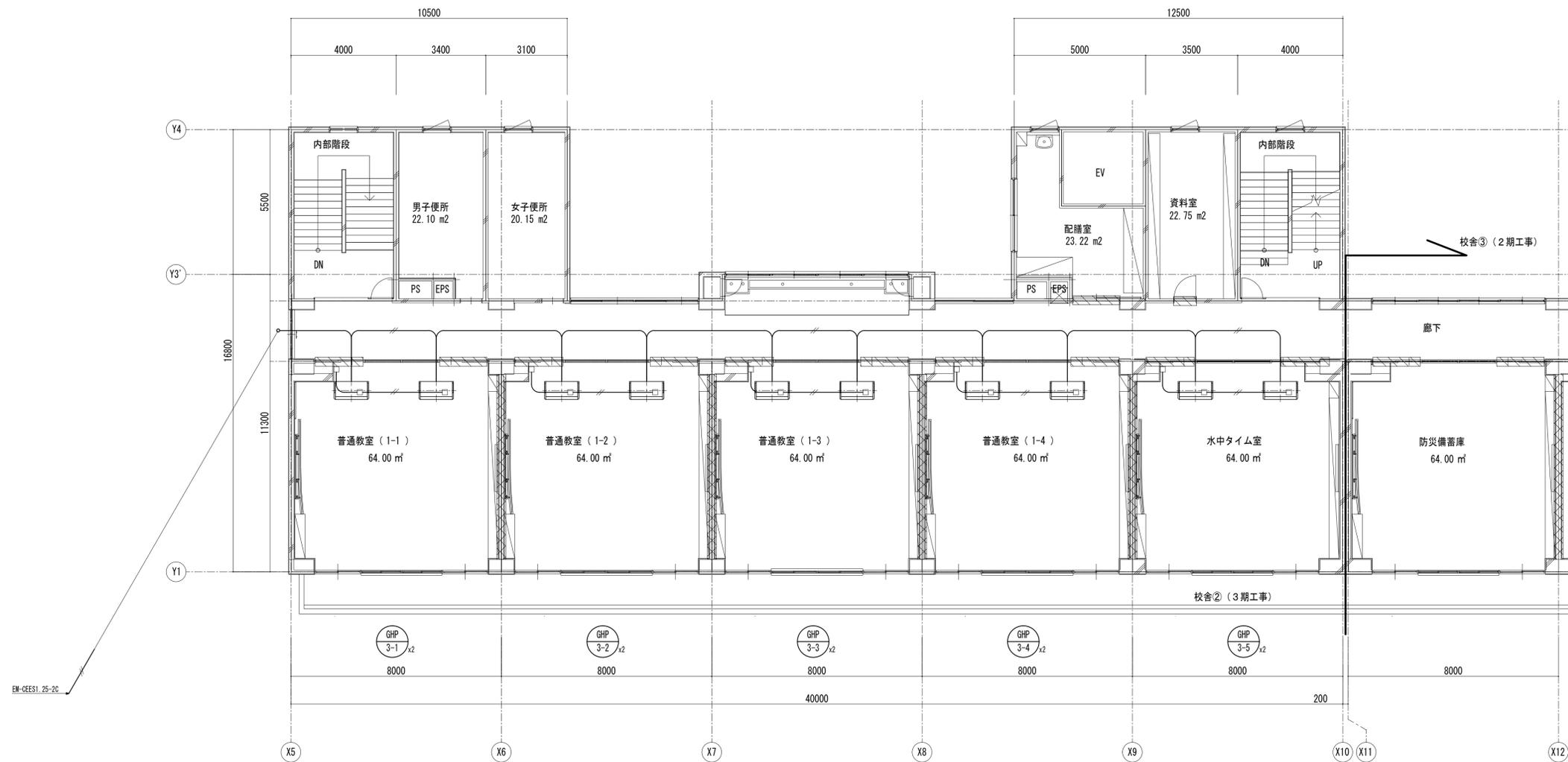
4階平面図 1/100

- 注記) 1. 室外機-室内機の渡り配線は、冷媒管共巻とする。  
 2. GHP集中制御用配線は、“室外機-集中制御盤”の接続とし、室内機までは冷媒管共巻・室内機から制御盤までを隠ぺい・天井コブとする。  
 3. 天井からスイッチまではE-19とする。  
 4. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

■ 冷媒用保温付被覆銅管

径	長さ	番号線・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ
②	15.88 φ	31.80 φ
③	15.88 φ	28.58 φ
④	12.70 φ	28.58 φ
⑤	12.70 φ	25.40 φ
⑥	9.52 φ	22.20 φ
⑦	9.52 φ	19.05 φ
⑧	9.52 φ	15.88 φ
⑨	9.52 φ	12.70 φ
⑩	6.35 φ	12.70 φ

リモコン線: EM-ECCTS1.25-2C  
 室内外渡り線: EM-GES1.25-2C  
 集中線: EM-GES2.0-2C



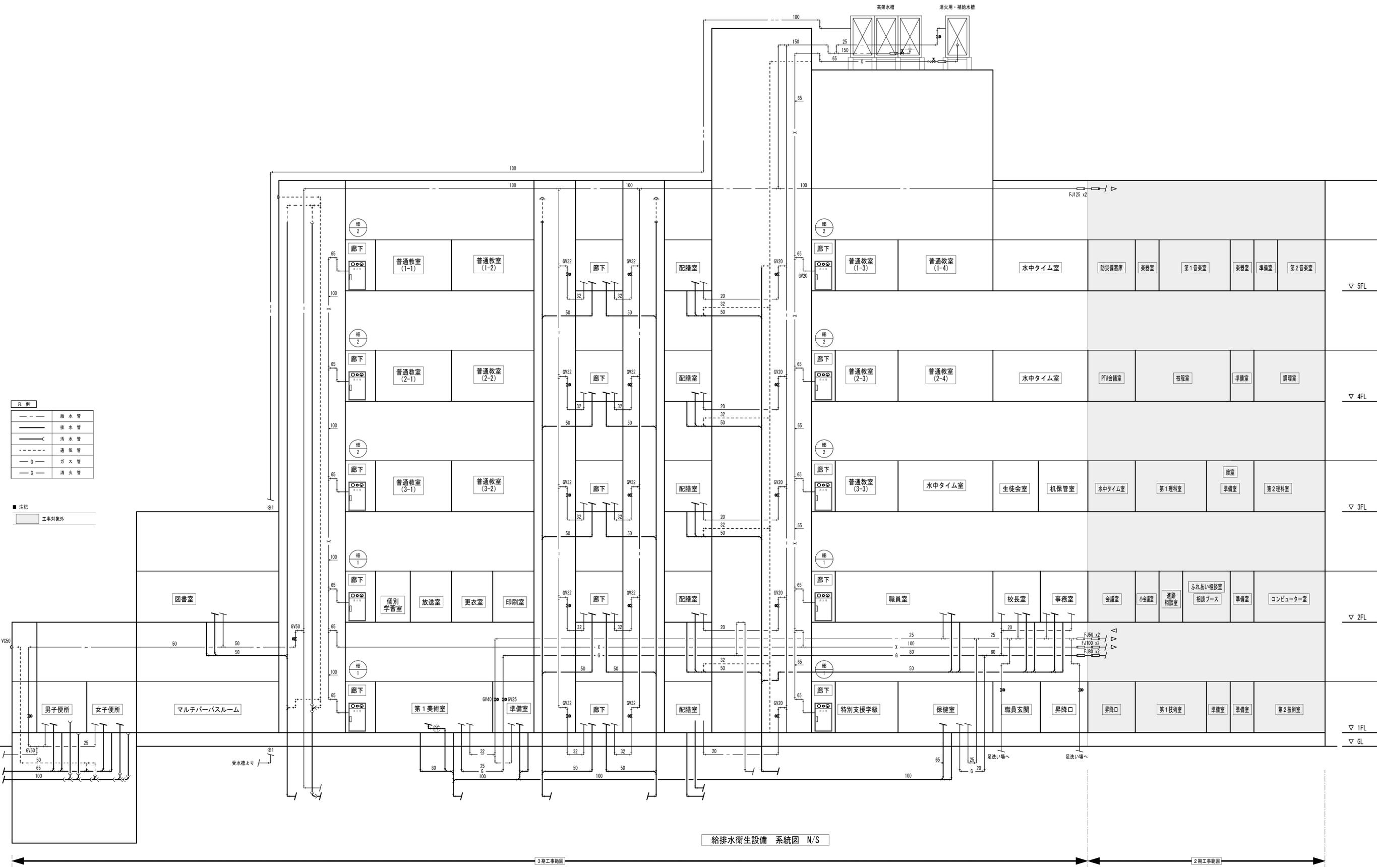
5階平面図 1/100

- 注記) 1. 室外機-室内機の渡り配線は、冷媒管共巻とする。  
 2. GHP集中制御用配線は、“室外機-集中制御盤”の接続とし、室内機までは冷媒管共巻・室内機から制御盤までを隠ぺい・天井コブとする。  
 3. 天井からスイッチまではE-19とする。  
 4. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

■ 冷媒用保温付被覆銅管

径	ガス	番号線・電源線
① 19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECTFS1.25-2C 室内外渡り線: EM-CEES1.25-2C 集中線: EM-CEES2.0-2C
② 15.88 φ	31.80 φ	
③ 15.88 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	28.58 φ	
⑤ 12.70 φ	25.40 φ	
⑥ 9.52 φ	22.20 φ	
⑦ 9.52 φ	19.05 φ	
⑧ 9.52 φ	15.88 φ	
⑨ 9.52 φ	12.70 φ	
⑩ 6.35 φ	12.70 φ	

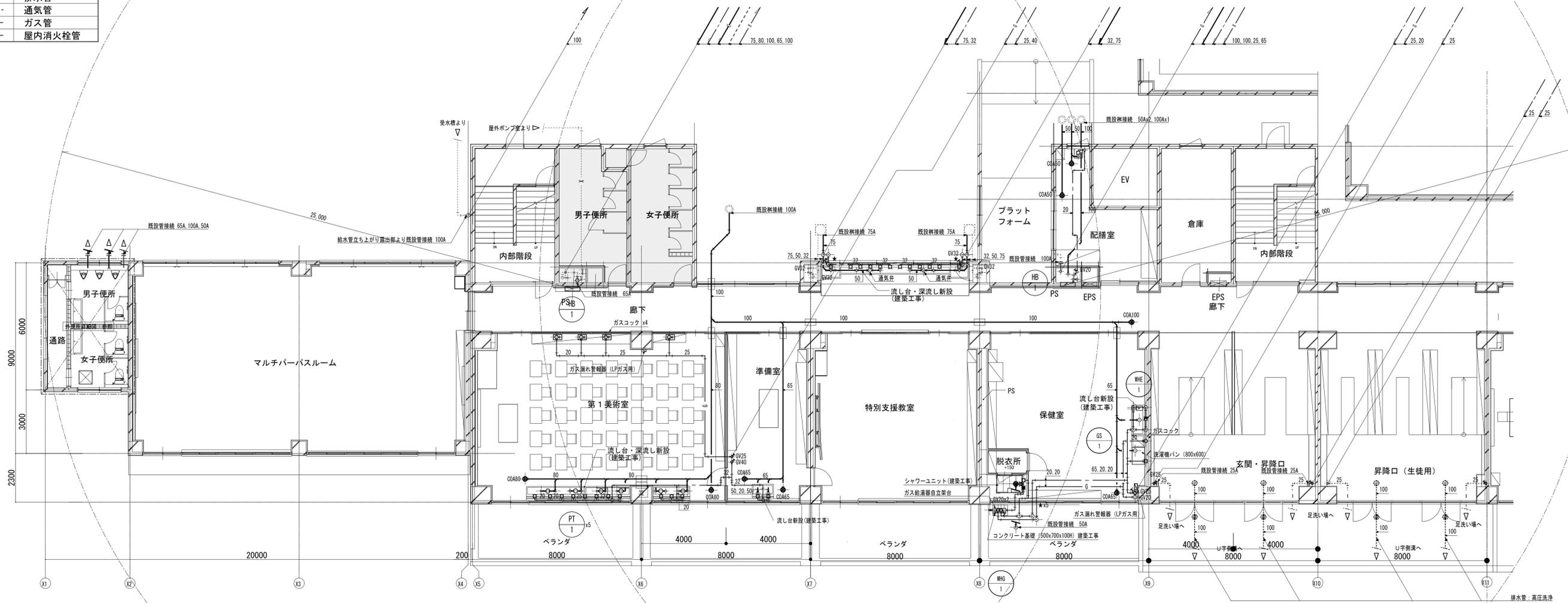




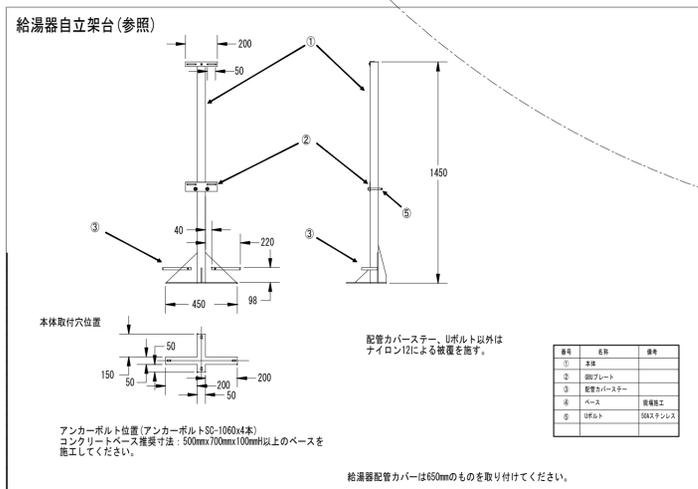
給排水衛生設備 系統図 N/S

凡例

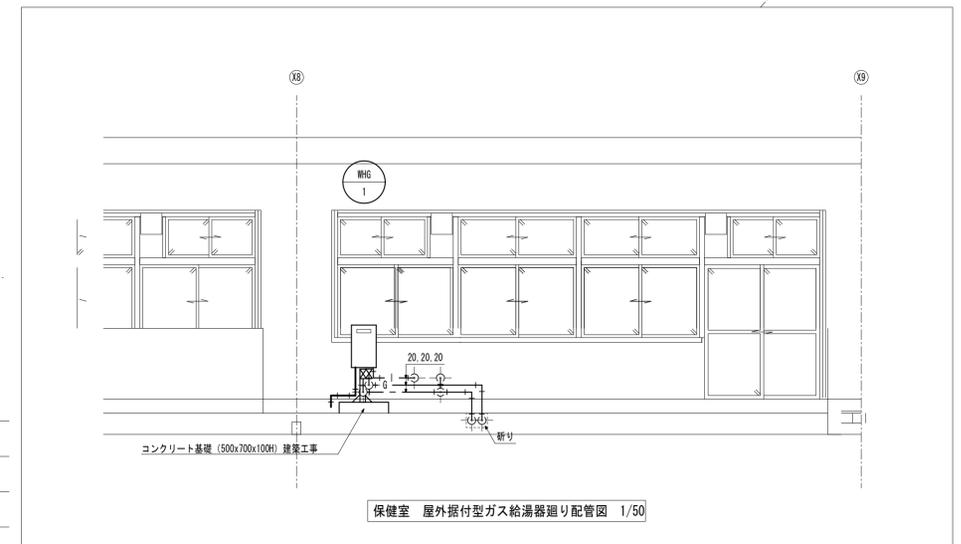
---	揚水管
---	給水管
---	排水管
---	通気管
G---	ガス管
X---	屋内消火栓管



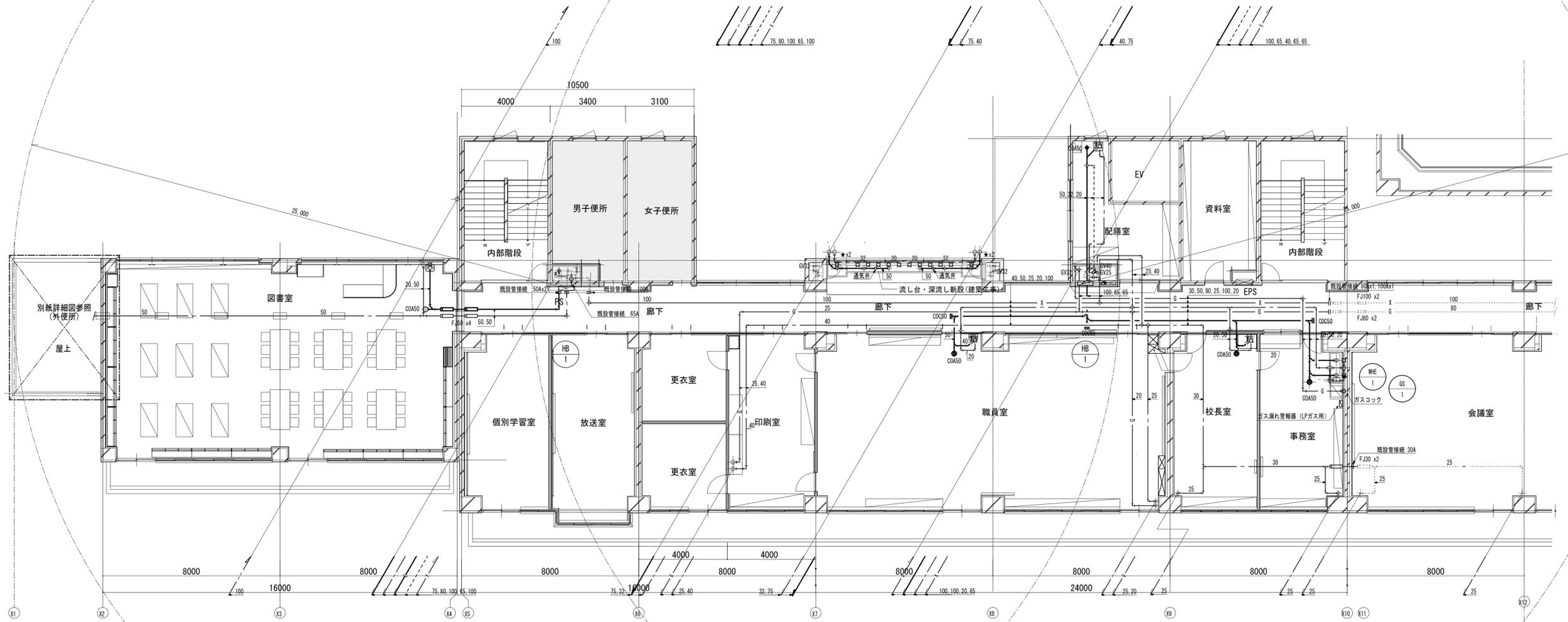
1階平面図 1/100



- 注記) 1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)  
 2.   は既設スリーブを示す。  
 3. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 4. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 5. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。  
 6. 足洗い場は水栓のみ撤去・新設する。



----	揚水管
----	給水管
----	排水管
----	通気管
-G-	ガス管
-X-	屋内消火栓管



2階平面図 1/100

- 注記) 1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)  
 2. [ ] は既設スリーブを示す。  
 3. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 4. [ ] は既設管、既設機器を示す。  
 5. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

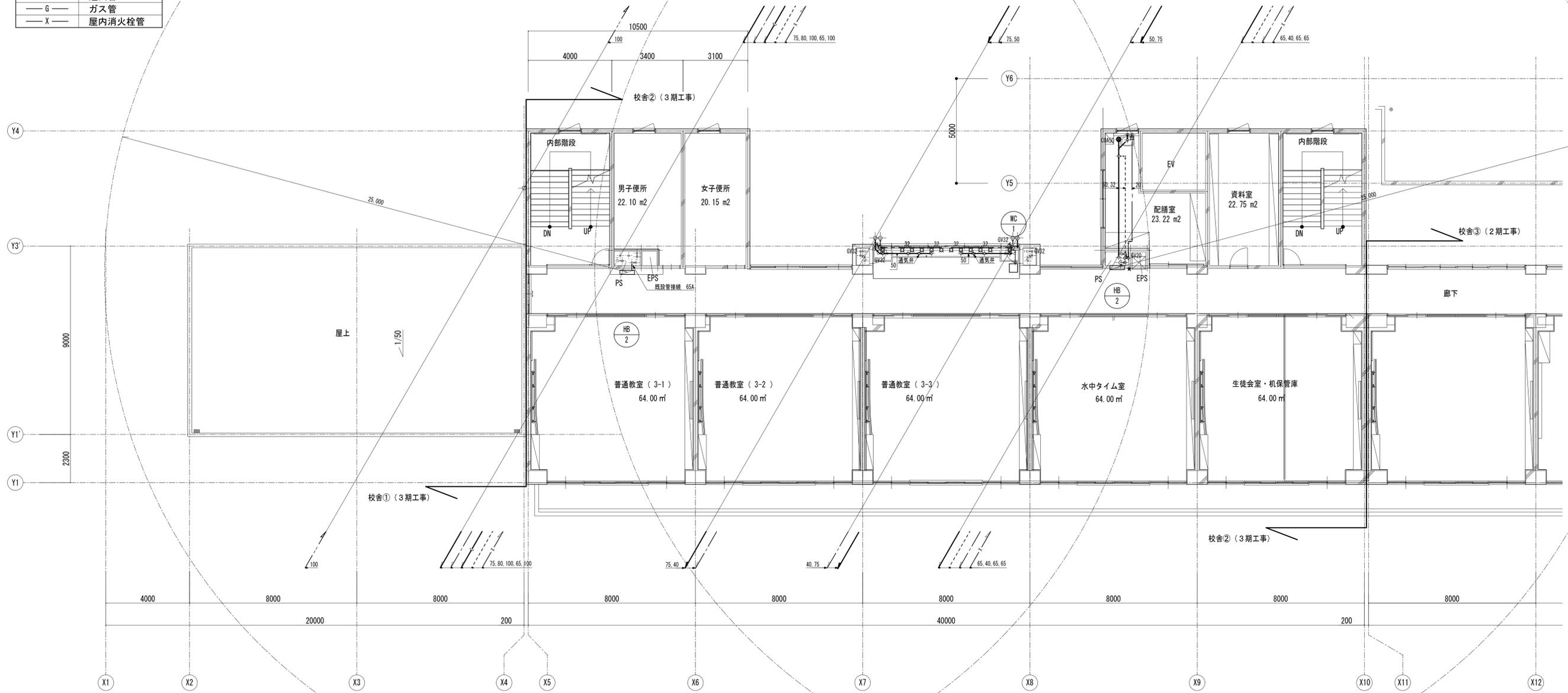
■ 注記
工事対象外

承認	審査	検図	製図	特記

改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称	縮尺	図面内容	図番	機械設備
22094	市立水谷中学校長寿命化建築工事(第3期工事)(ゼロ債務)	A1=1/100 A3=1/200	【改修】給排水衛生設備 2階平面図		M-31

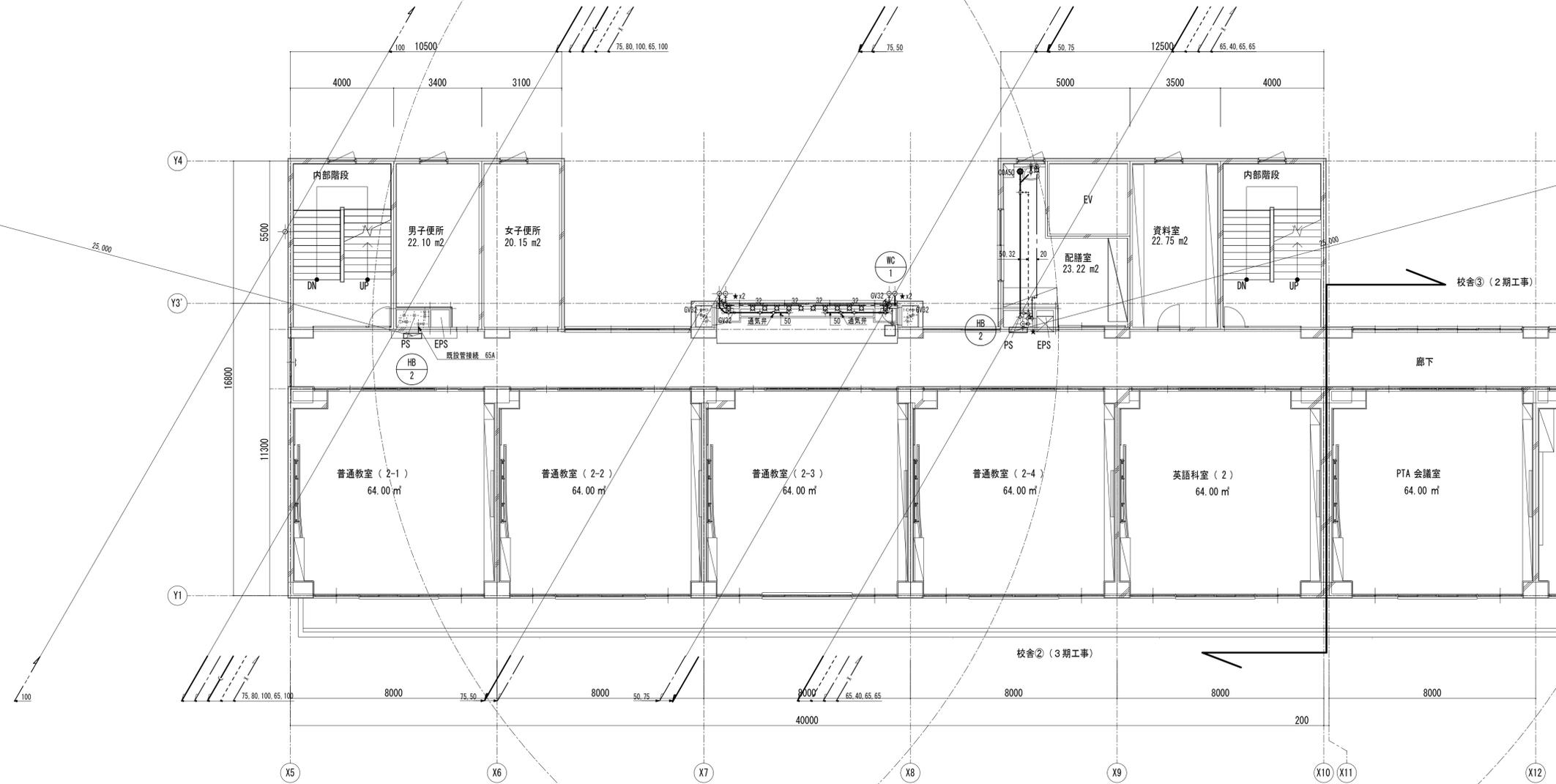
---	揚水管
---	給水管
---	排水管
---	通気管
G---	ガス管
X---	屋内消火栓管



3階平面図 1/200

- 注記) 1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)  
 2.    は既設スリーブを示す。  
 3. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 4.  は既設管、既設機器を示す。  
 5. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

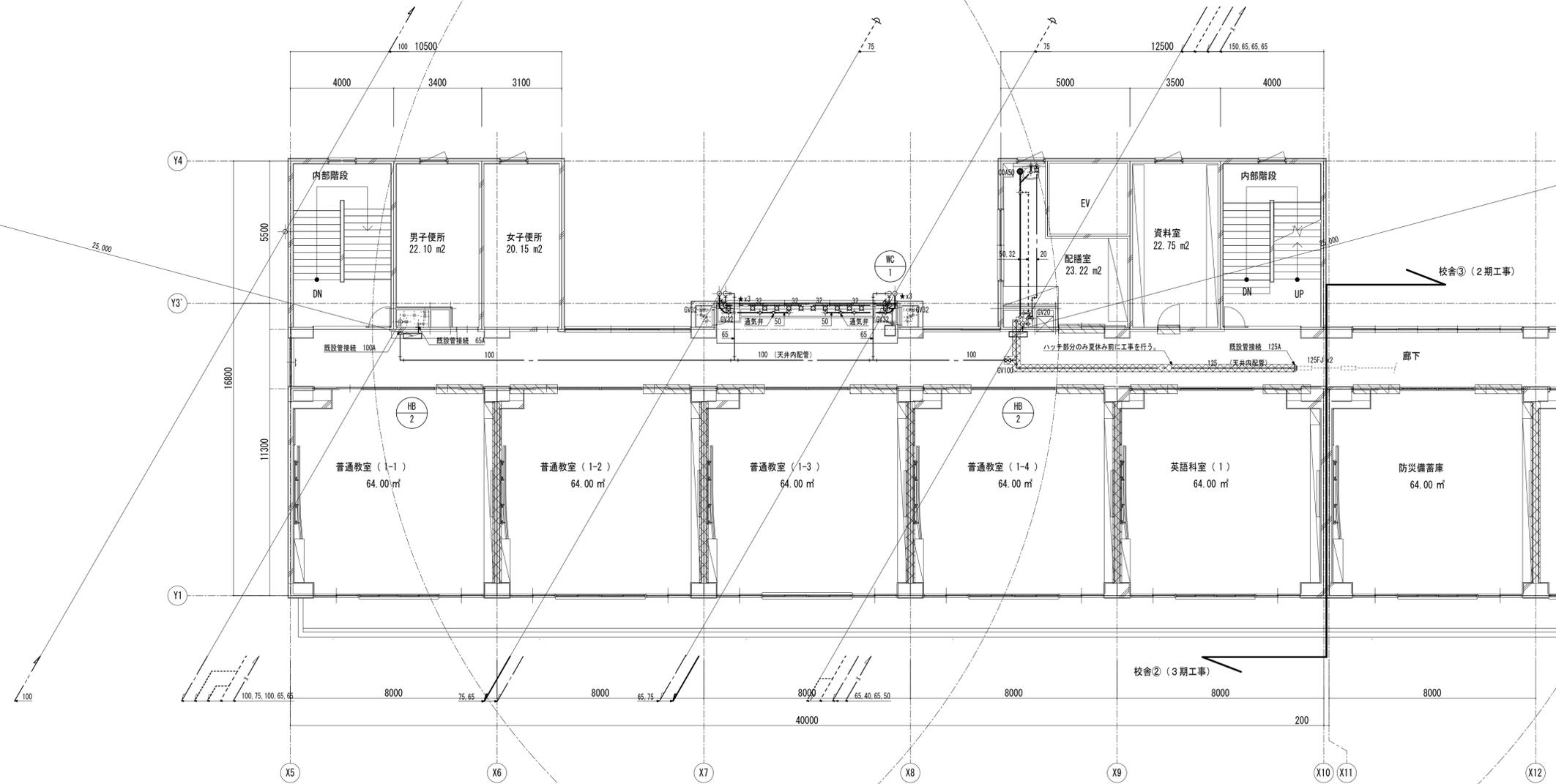
---	揚水管
---	給水管
---	排水管
---	通気管
-G-	ガス管
-X-	屋内消火栓管



4階平面図 1/100

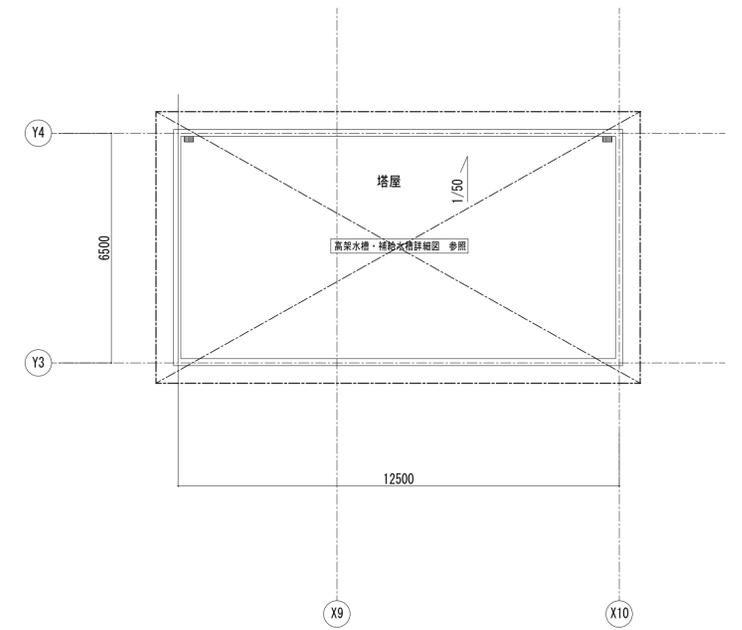
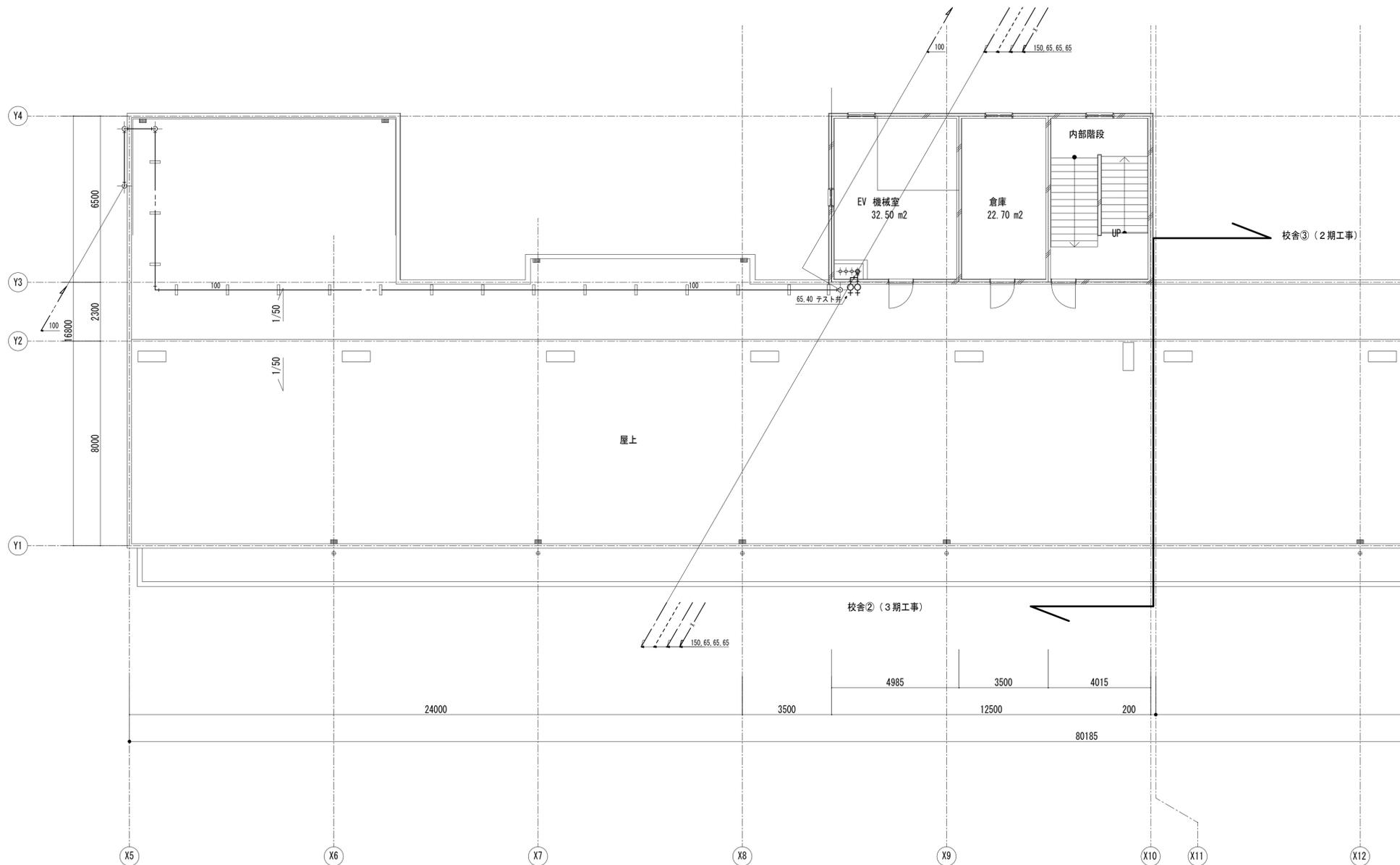
- 注記) 1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)  
 2.    は既設スリーブを示す。  
 3. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 4.  は既設管、既設機器を示す。  
 5. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

---	揚水管
---	給水管
---	排水管
---	通気管
—G—	ガス管
—X—	屋内消火栓管



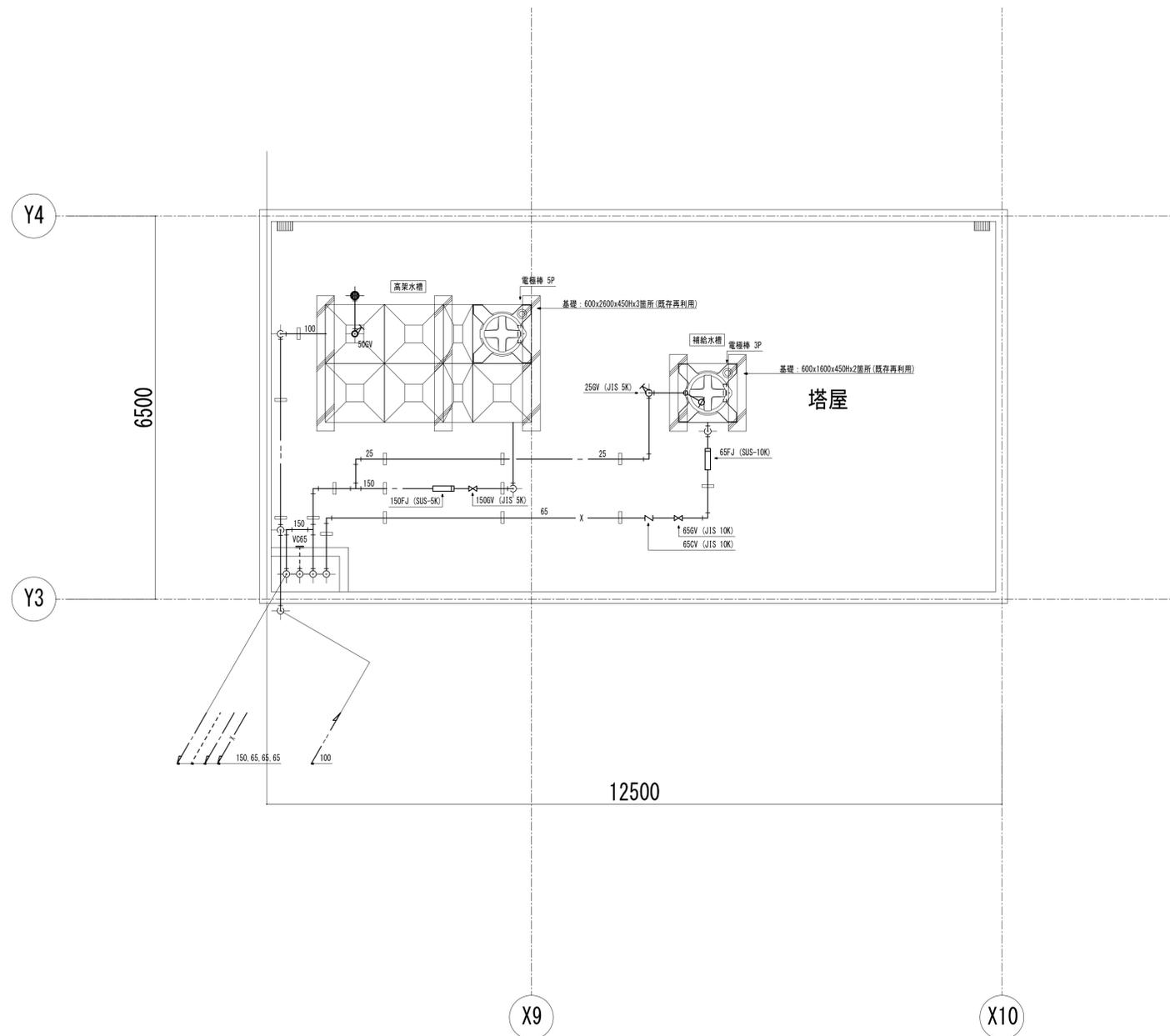
5階平面図 1/100

- 注記) 1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)  
 2.    は既設スリーブを示す。  
 3. ★はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 4.  は既設管、既設機器を示す。  
 5. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。



屋根・塔屋平面図 1/100

- 注記) 1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)  
 2. は既設スリーブを示す。  
 3. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 4. は既設管、既設機器を示す。  
 5. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

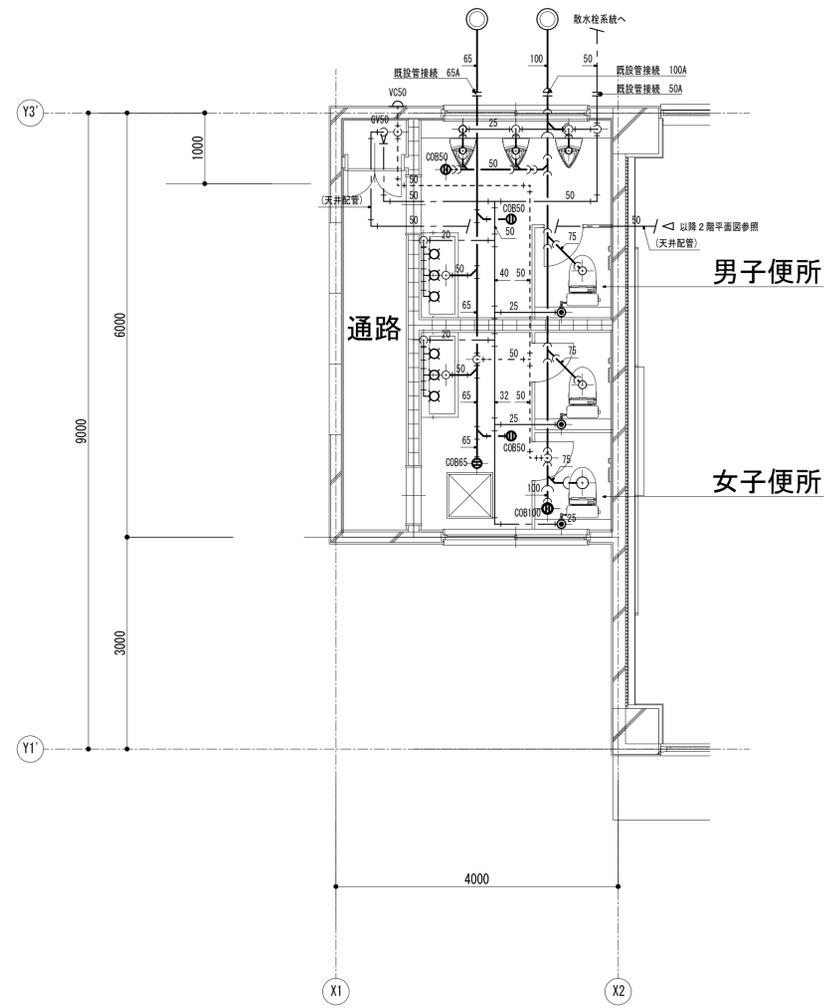


高架水槽・補給水槽詳細図 1/50

- 注記) 1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)  
 2. は既設スリーブを示す。  
 3. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 4. は既設管、既設機器を示す。  
 5. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

弁類・付属品類 一覧表

器具名	仕様・摘要	屋外	
		塔屋	
<b>&lt;水槽類&gt;</b>			
高架水槽	FRP製、寸法 (2.0m x 3.5m x 1.5H) 電極座、その他共	1	
消火用・補給水槽	FRP製、寸法 (1.0m x 1.0m x 1.0H) 電極座、その他共	1	
<b>&lt;弁類・付属品類&gt;</b>			
GV (ゲートバルブ)	150GV (JIS 5K)	1	
	65GV (JIS 10K)	1	
	50GV (JIS 5K)	1	
	25GV (JIS 5K)	1	
CV (チャッキバルブ)	65CV (JIS 10K)	1	
FJ (伸縮管継手)	150FJ (SUS-5K)、ベローズ 65FJ (SUS-10K)、ベローズ	1	
BT (ボールタップ)	20φ	1	
VC (バンドキャップ)	65VC	1	
防虫網	50φ	1	
間接排水口	100-50φ	1	



外便所詳細図 1/50

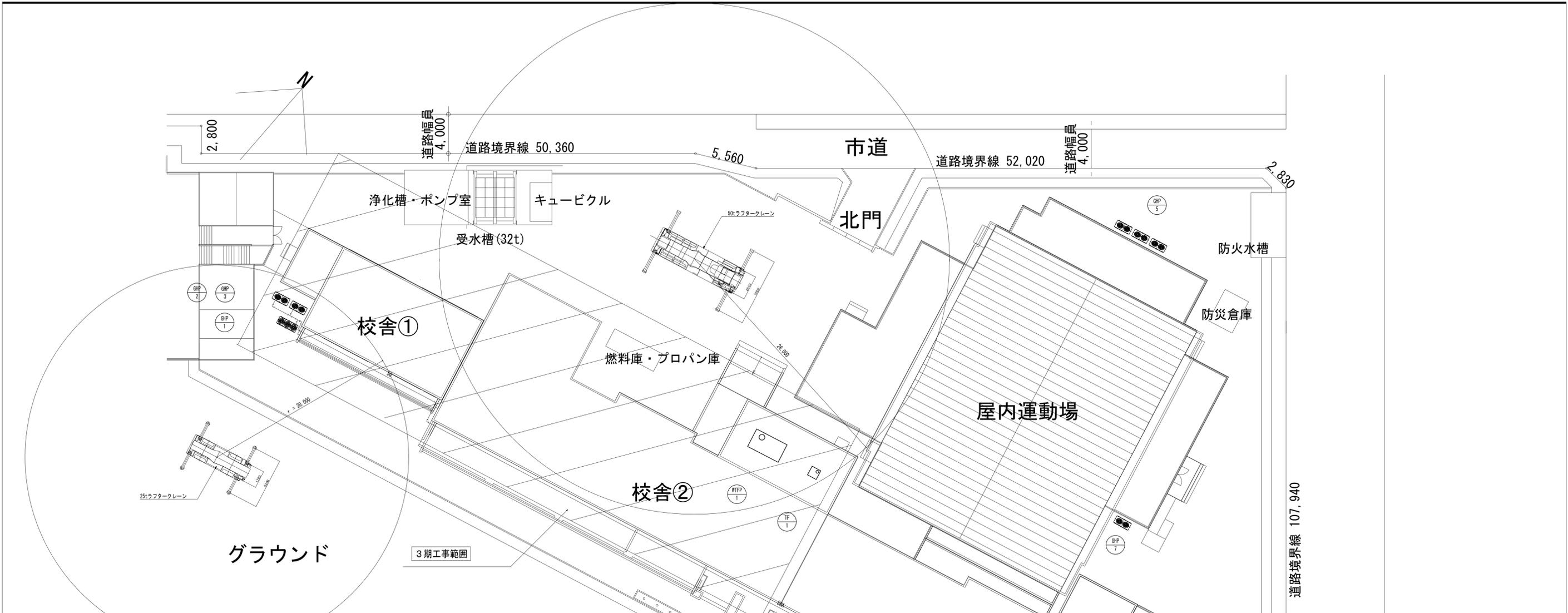
- 注記) 1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)  
 2.   は既設スリーブを示す。  
 3. ★ はコア抜き箇所を示し、X線調査の上施工すること。  
 4. ..... は既設管、既設機器を示す。  
 5. 防火上主要な間仕切りを貫通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は不燃材料で埋めること。

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号	承認	審査	検図	製図	特記
一級建築士登録 第124323号 柏崎 直久					

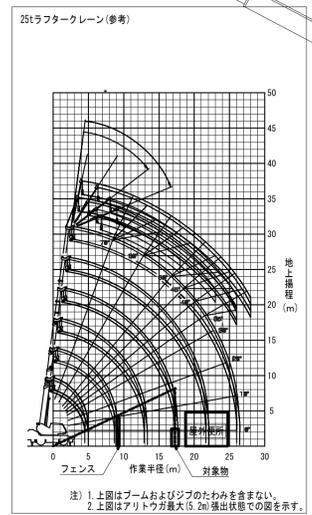
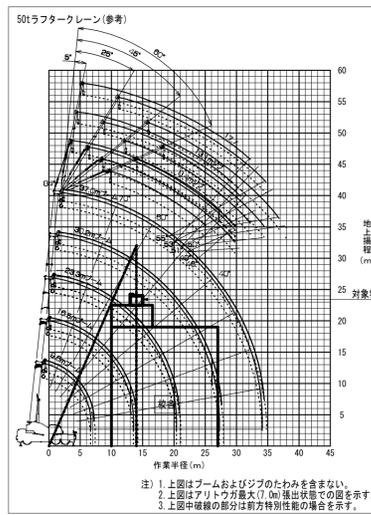
改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称
22094	市立水谷中学校長寿命化建築工事(第3期工事)(ゼロ債務)
図面内容	【改修】給排水衛生設備 外便所詳細図

縮尺	図面区分	図面番号
A1=1/50 A3=1/100	機械設備	M-37



名称	記号	施工場所	使用管材料 (改修)	使用管材料 (撤去)
外気ダクト	OA	屋内隠ぺい	円形ダクト(亜鉛鉄板)	円形ダクト(亜鉛鉄板)
排気ダクト	EA	屋内隠ぺい	円形ダクト(亜鉛鉄板)	円形ダクト(亜鉛鉄板)
給気ダクト	SA	屋内隠ぺい	円形ダクト(亜鉛鉄板)	円形ダクト(亜鉛鉄板)
還気ダクト	RA	屋内隠ぺい	円形ダクト(亜鉛鉄板)	円形ダクト(亜鉛鉄板)
冷媒管	R	すべて	冷媒用断熱材被覆銅管	冷媒用被覆銅管
ドレン管	D	屋内	保温機能付空調用ドレン管	保温機能付空調用ドレン管
		屋外露出	配管用炭素鋼鋼管(白)	配管用炭素鋼鋼管(白)
給水管		すべて	一般配管用ステンレス鋼鋼管	硬質ポリ塩化ビニル管(白)
揚水管		屋外露出	一般配管用ステンレス鋼鋼管	硬質ポリ塩化ビニル管(白)
給湯管	I	すべて	一般配管用ステンレス鋼鋼管	-
排水管		土中配管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	配管用炭素鋼鋼管(白)
		上記以外	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(耐火VP)	配管用炭素鋼鋼管(白)
汚水管		すべて	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲 三層管(RS-VP)	排水鉄管(φ100)
通気管		すべて	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(耐火VP)	配管用炭素鋼鋼管(白)
ガス管	G	都市ガス	ガス業者認定品	ガス業者認定品
		液化石油ガス(土中配管)	ポリエチレン(PE)管	ポリエチレン(PE)管
		液化石油ガス(上記以外)	配管用炭素鋼鋼管(白)	配管用炭素鋼鋼管(白)
消火管	X	すべて	配管用炭素鋼鋼管(白)	配管用炭素鋼鋼管(白)



空調設備（既存）機器表（1）

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所	備考
				相電圧 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kw)		
GHP-1	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 ガスヒートポンプマルチエアコン（屋外機）（95HP） 冷房能力 71.0 kW x 1 台（室外機） 暖房能力 80.0 kW x 1 台（室外機） ガス種 13A 冷房ガス消費量 51.2 kW 暖房ガス消費量 48.2 kW 外形寸法 2100 (W) x 800 (D) x 2170 (H) 重量 1050 kg	1	3	200	1.16 (1.16) (1.13)	- 地上	2013(H25) 改修 YNZP710J-NB (ヤマ)
GHP-1-1	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 3.8 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 4.0 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	3	1	200	0.086 (0.086) (0.086)	1F 第1美術室	2013(H25) 改修 YZHP36M (ヤマ)
GHP-1-2	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 4.5 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 5.0 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	4	1	200	0.086 (0.086) (0.086)	2F 図書室	2013(H25) 改修 YZHP45M (ヤマ)
GHP-1-3	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 5.6 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 6.3 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	2	1	200	0.087 (0.087) (0.087)	3F 普通教室（3-1）	2013(H25) 改修 YZHP56M (ヤマ)
GHP-1-4	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 4.5 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 5.0 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	2	1	200	0.086 (0.086) (0.086)	3F 普通教室（3-2）	2013(H25) 改修 YZHP45M (ヤマ)
GHP-1-5	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 4.5 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 5.0 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	2	1	200	0.086 (0.086) (0.086)	3F 普通教室（3-3）	2013(H25) 改修 YZHP45M (ヤマ)
GHP-1-6	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 4.5 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 5.0 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	2	1	200	0.086 (0.086) (0.086)	3F 英語科教室（3）	2013(H25) 改修 YZHP45M (ヤマ)
GHP-1-7	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 4.5 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 5.0 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	2	1	200	0.086 (0.086) (0.086)	1F 特別支援学級	2018(H30) 改修 YZHP45M (ヤマ)
GHP-2	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 ガスヒートポンプマルチエアコン（屋外機）（60HP） 冷房能力 45.0 kW x 1 台（室外機） 暖房能力 50.0 kW x 1 台（室外機） ガス種 13A 冷房ガス消費量 33.6 kW 暖房ガス消費量 31.8 kW 外形寸法 1690 (W) x 800 (D) x 2170 (H) 重量 1050 kg	1	3	200	0.86 (0.86) (0.78)	- 地上	2013(H25) 改修 YNZP450J-NB (ヤマ)
GHP-2-1	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 4.5 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 5.0 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	2	1	200	0.086 (0.086) (0.086)	4F 普通教室（2-1）	2013(H25) 改修 YZHP45M (ヤマ)

※ 1. 電気容量は参考値とする。  
2. 冷房能力及び暖房能力は、標準順条件時（JIS B 8616）の能力を示す。  
3.  は撤去機器を示す。

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所	備考
				相電圧 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kw)		
GHP-2-2	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 4.5 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 5.0 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	4	1	200	0.086 (0.086) (0.086)	4F 普通教室（2-2）	2013(H25) 改修 YZHP45M (ヤマ)
GHP-2-3	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 4.5 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 5.0 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	4	1	200	0.086 (0.086) (0.086)	4F 普通教室（2-3）	2013(H25) 改修 YZHP45M (ヤマ)
GHP-2-4	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 4.5 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 5.0 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	4	1	200	0.086 (0.086) (0.086)	4F 水中タイム室	2013(H25) 改修 YZHP45M (ヤマ)
GHP-2-5	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 4.5 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 5.0 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	4	1	200	0.086 (0.086) (0.086)	4F 英語科教室（2）	2013(H25) 改修 YZHP45M (ヤマ)
GHP-3	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 ガスヒートポンプマルチエアコン（屋外機）（75HP） 冷房能力 56.0 kW x 1 台（室外機） 暖房能力 63.0 kW x 1 台（室外機） ガス種 13A 冷房ガス消費量 43.3 kW 暖房ガス消費量 41.0 kW 外形寸法 1690 (W) x 800 (D) x 2170 (H) 重量 880 kg	1	3	200	0.99 (0.99) (0.92)	- 地上	2013(H25) 改修 YNZP560J-NB (ヤマ)
GHP-3-1	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 5.6 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 6.3 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	2	1	200	0.087 (0.087) (0.087)	5F 普通教室（1-1）	2013(H25) 改修 YZHP56M (ヤマ)
GHP-3-2	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 5.6 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 6.3 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	2	1	200	0.087 (0.087) (0.087)	5F 普通教室（1-2）	2013(H25) 改修 YZHP56M (ヤマ)
GHP-3-3	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 5.6 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 6.3 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	2	1	200	0.087 (0.087) (0.087)	5F 普通教室（1-3）	2013(H25) 改修 YZHP56M (ヤマ)
GHP-3-4	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 5.6 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 6.3 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	2	1	200	0.087 (0.087) (0.087)	5F 水中タイム室	2013(H25) 改修 YZHP56M (ヤマ)
GHP-3-5	ガスヒートポンプマルチ (撤去)	型式 天吊形（屋内機） 冷房能力 5.6 kW x 1 台（室内機） 暖房能力 6.3 kW x 1 台（室内機） 付属品 一式共	2	1	200	0.087 (0.087) (0.087)	5F 英語科教室（1）	2013(H25) 改修 YZHP56M (ヤマ)
GHP-RC	ワイヤードリモコン (撤去)		17				- 各部屋	

注記  
・  は撤去範囲を示す。

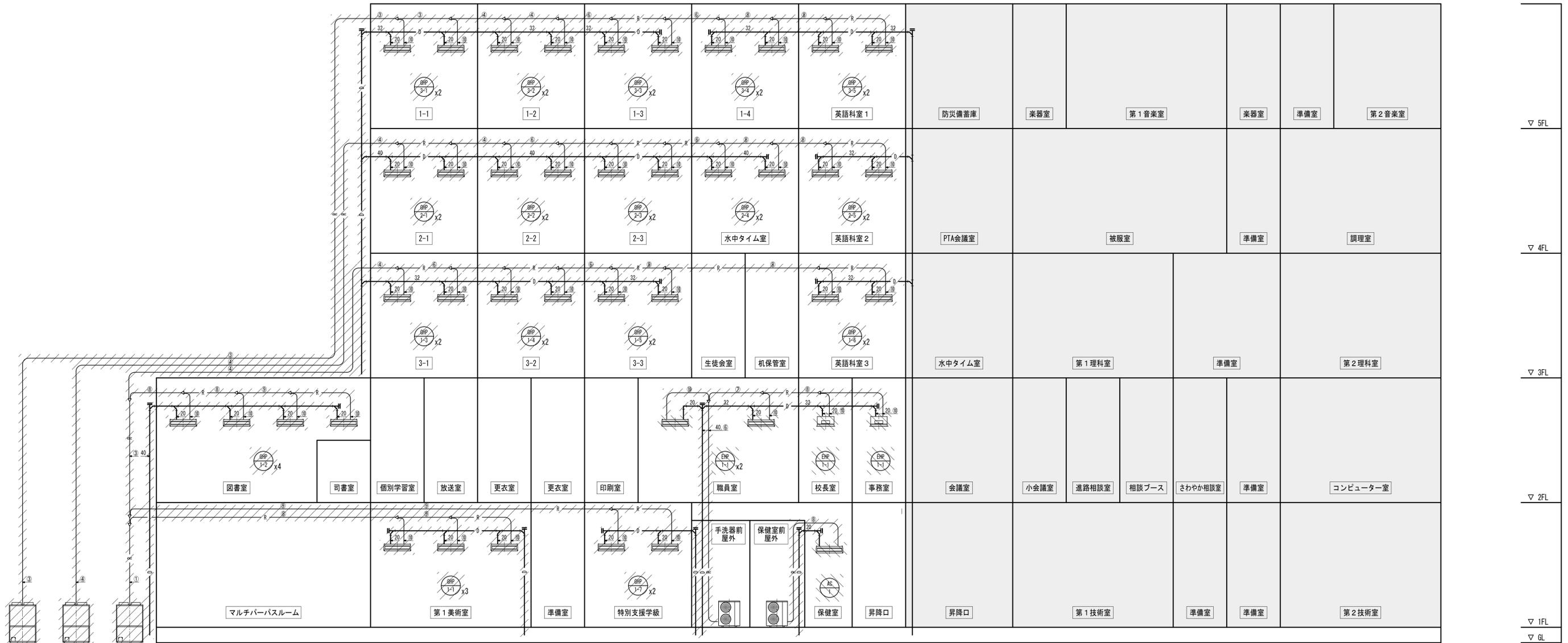
 <p>一級建築士事務所 埼玉県知事登録（1） 第11789号 一級建築士登録 第323324号 千葉 聡</p>	承認	審査	検図	製図	特記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号	工事名称	縮尺	図面内容	図面区分	機械設備
										22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事（第3期工事）（ゼロ債務）	A1-N/S A3-N/S	【撤去】空調設備 機器表（1）	

空調設備（既存）機器表（2）

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考
				相電圧 (φ)	消費電力 (kW)	階	室名		
AC-1	空冷ヒートポンプパッケージ (ベアタイプ) (取外し)	型式 天吊形 冷房能力 12.5 kW 暖房能力 14.0 kW 圧縮機 送風機 (室外機) (室内機) 付属品 一式共	1台	3	200	3.72	1F	保健室	三菱電機:PUZ-ZRMP140KA11
EHP-1	空冷ヒートポンプパッケージ (残置)	(室外機) 型式 床置形 冷房能力 33.5 kW 暖房能力 37.5 kW 圧縮機 送風機 210 m3/min 付属品 一式共	1組	3	200	9.71	屋外		三菱電機:PUHY-EP335DMG7
EHP-1-1	空冷ヒートポンプパッケージ (取外し)	(室内機) 型式 天吊形 冷房能力 9.0 kW 暖房能力 10.0 kW 送風機 20 m3/min 付属品 一式共	2台	3	200		2F	職員室	三菱電機:PCFY-P90KMG9(仮)
EHP-1-2	空冷ヒートポンプパッケージ (取外し)	(室内機) 型式 天井カセット形2方向吹出 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 送風機 13 m3/min 付属品 一式共	1台	3	200		2F	校長室	三菱電機:PLFY-P56LMG9(仮)
EHP-1-3	空冷ヒートポンプパッケージ (取外し)	(室内機) 型式 天井カセット形2方向吹出 冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW 送風機 13 m3/min 付属品 一式共	1台	3	200		2F	事務室	三菱電機:PLFY-P56LMG9(仮)
FF-1	FF式暖房機 (撤去)	型式 密閉式 暖房出力 8,550 kcal/h 使用燃料 灯油 最大燃料消費量 1.11 L/h 付属品 給排気筒付	3台	1	100	0.11	3F	英語科室(3)	
EHP-RC	ワイヤードリモコン (取外し)		4個				-	各部屋	
CR-1	集中リモコン (撤去)	型式 ON/OFFスイッチコントローラー	2台	1	100	0.020	2F	職員室	

- ※ 1. 電気容量は参考値とする。  
 2. 冷房能力及び暖房能力は、標準順条件時 (JIS B 8616) の能力を示す。  
 3.  は撤去機器を示す。  
 4.  は取外し・再取付け機器を示す。

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考
				相電圧 (φ)	消費電力 (kW)	階	室名		
(This table is currently empty and crossed out with a large diagonal line.)									



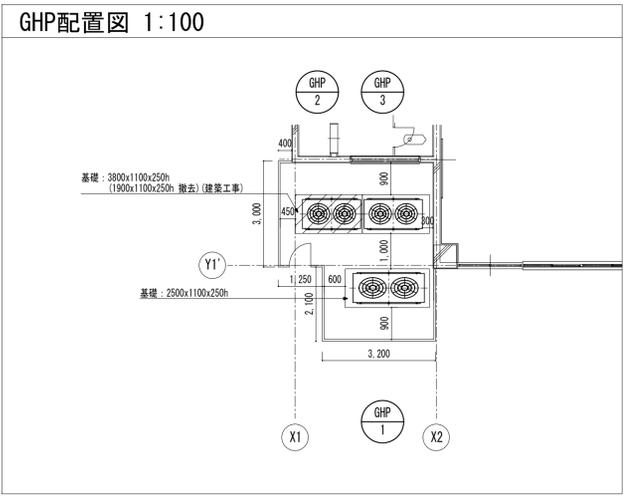
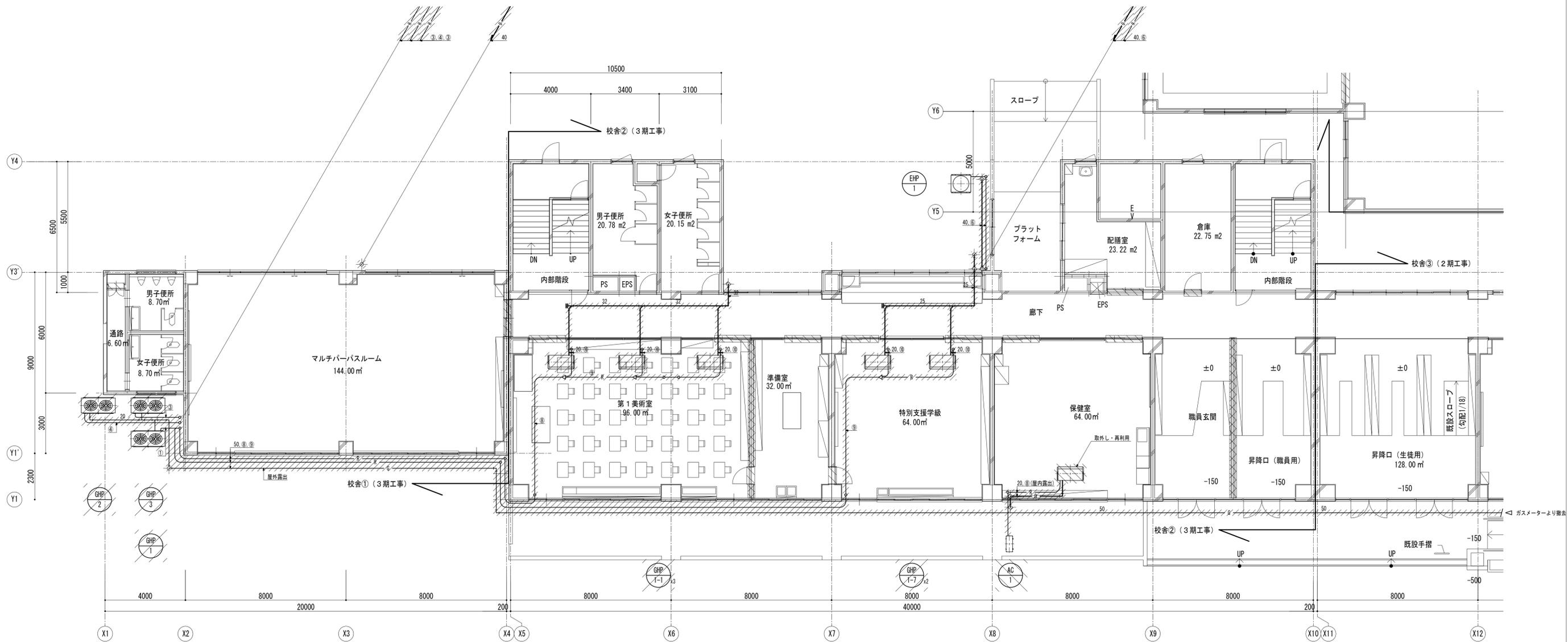
空調設備 系統図 N/S

■ 冷媒用保温付配管

液	ガス	径 号 線 ・ 電 源 線
① 19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECOTFS1. 25-20 室内外張り線: EM-GES51. 25-20 集中線: EM-GES52. 0-20
② 15.88 φ	31.80 φ	
③ 15.88 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	28.58 φ	
⑤ 12.70 φ	25.40 φ	
⑥ 9.52 φ	22.20 φ	
⑦ 9.52 φ	19.05 φ	
⑧ 9.52 φ	15.88 φ	
⑨ 9.52 φ	12.70 φ	
⑩ 6.35 φ	12.70 φ	

■ 注記

- 工事対象外
- 撤去
- 取外し・再利用

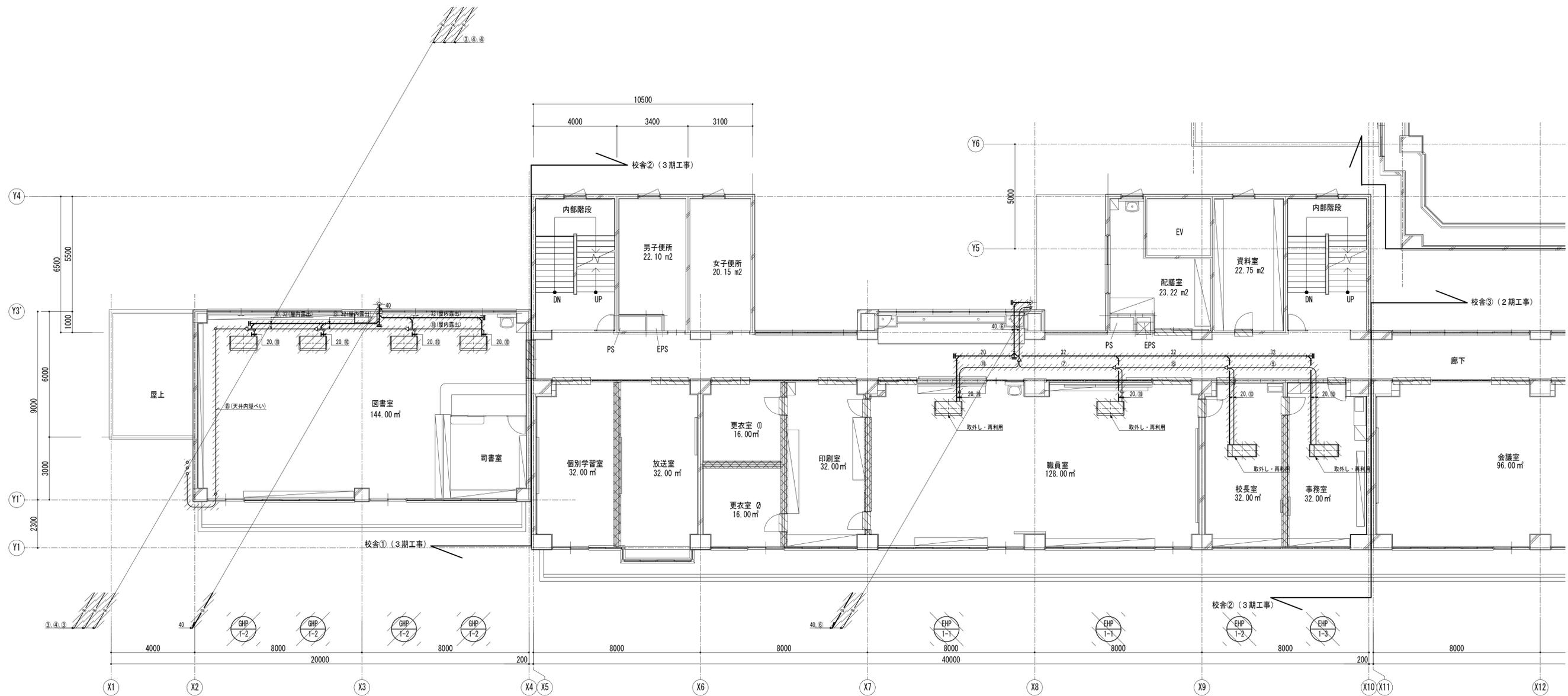


1階平面図 1/100

■ 冷媒用保温付被覆銅管

液	ガス	信号線・電源線
① 19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCFS1 2S-2C 室内外張り線: EM-CEES1 2S-2C 集中線: EM-CEES2 0-2C
② 15.88 φ	31.80 φ	
③ 15.88 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	28.58 φ	
⑤ 12.70 φ	25.40 φ	
⑥ 9.52 φ	22.20 φ	
⑦ 9.52 φ	19.05 φ	
⑧ 9.52 φ	15.88 φ	
⑨ 9.52 φ	12.70 φ	
⑩ 6.35 φ	12.70 φ	

注記)  
 ・ は撤去範囲を示す。  
 ・ は取外し・再利用を示す。



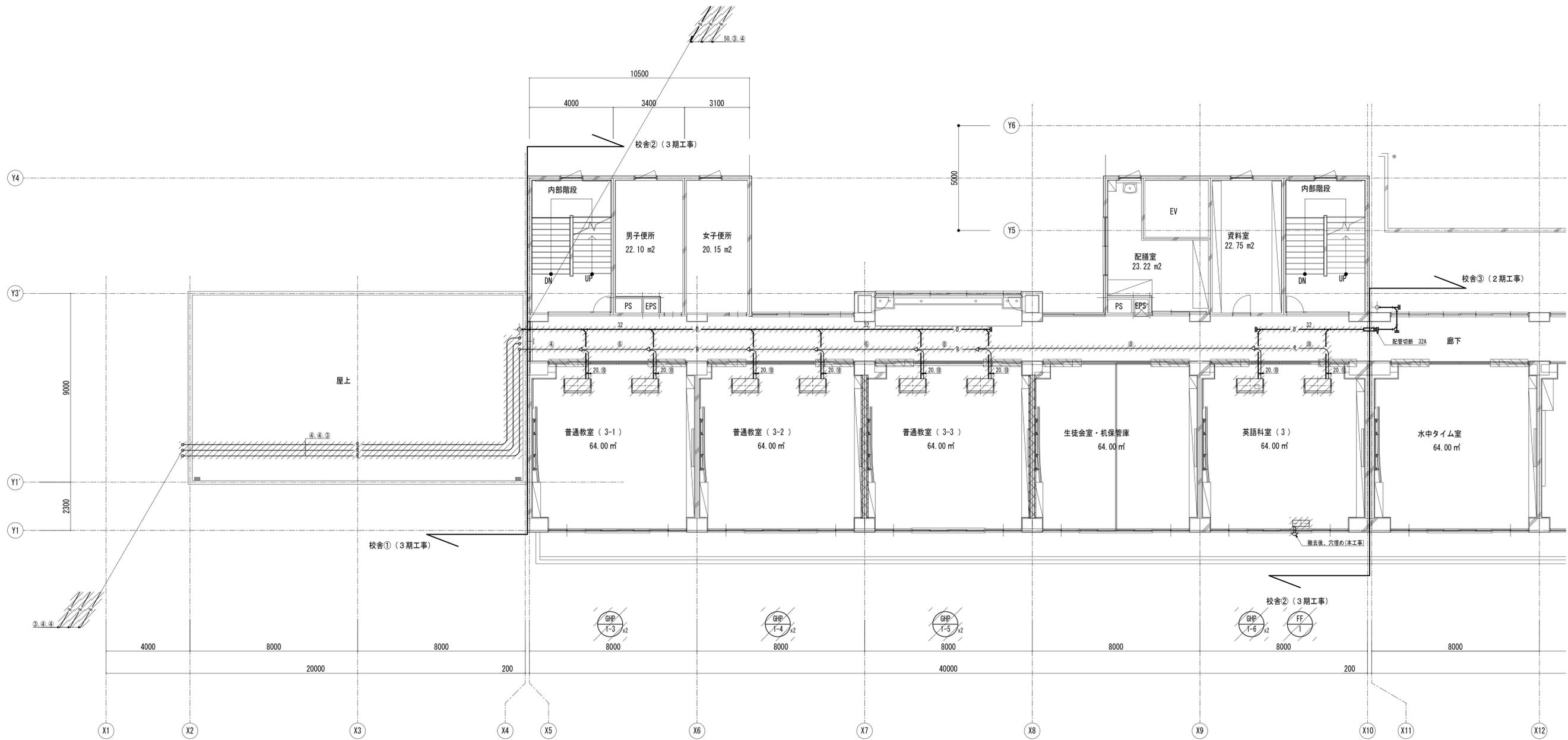
2階平面図 1/100

■ 冷媒用保温付被覆銅管

径	ガス	番号線・電源線
① 19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCIFS1. 2S-2C 室内外張り線: EM-CEES1. 2S-2C 集中線: EM-CEES2. 0-2C
② 15.88 φ	31.80 φ	
③ 15.88 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	28.58 φ	
⑤ 12.70 φ	25.40 φ	
⑥ 9.52 φ	22.20 φ	
⑦ 9.52 φ	19.05 φ	
⑧ 9.52 φ	15.88 φ	
⑨ 9.52 φ	12.70 φ	
⑩ 6.35 φ	12.70 φ	

注記)  
 ・ は撤去範囲を示す。  
 ・ は取外し・再利用を示す。

	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号 一級建築士登録 第323324号 千葉 聡	承認	審査	検図	製図	特記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号	22094 工事名称 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第3期工事)(ゼロ債務)	縮尺	A1=1/100 A3=1/200	図面内容 【撤去】空調設備 2階平面図	設備 区分 設備 番号 M-43
	埼玉県さいたま市桜区西郷8丁目20-27 TEL048-789-6033											図面内容			

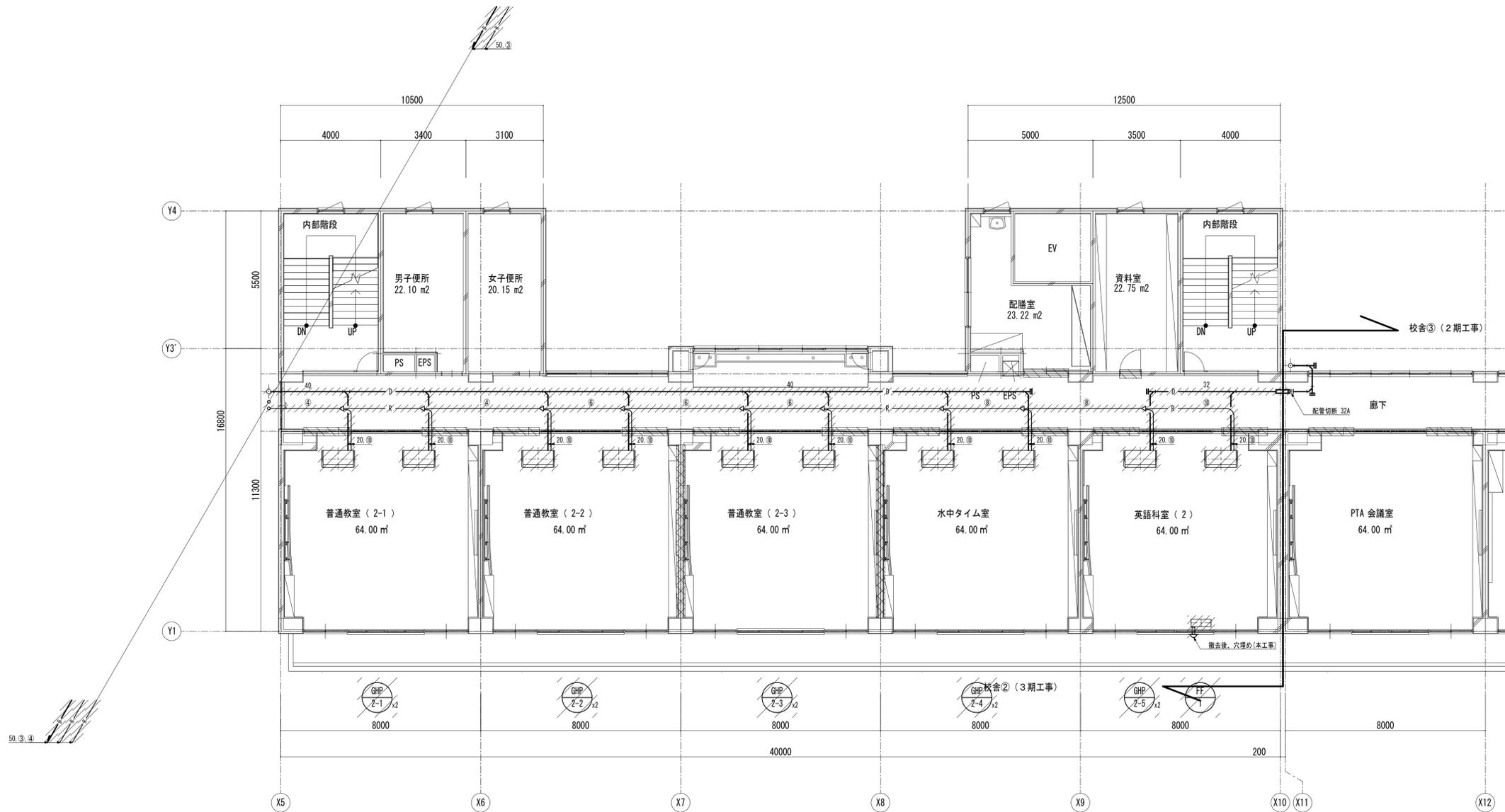


3階平面図 1/200

■ 冷媒用保温付被覆銅管

番	径	長さ	番号線・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCIFS1. 2S-2C 室内外渡り線: EM-CEES1. 2S-2C 集中線: EM-CEES2. 0-2C
②	15.88 φ	31.80 φ	
③	15.88 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	28.58 φ	
⑤	12.70 φ	25.40 φ	
⑥	9.52 φ	22.20 φ	
⑦	9.52 φ	19.05 φ	
⑧	9.52 φ	15.88 φ	
⑨	9.52 φ	12.70 φ	
⑩	6.35 φ	12.70 φ	

注記)  
 ・ は撤去範囲を示す。

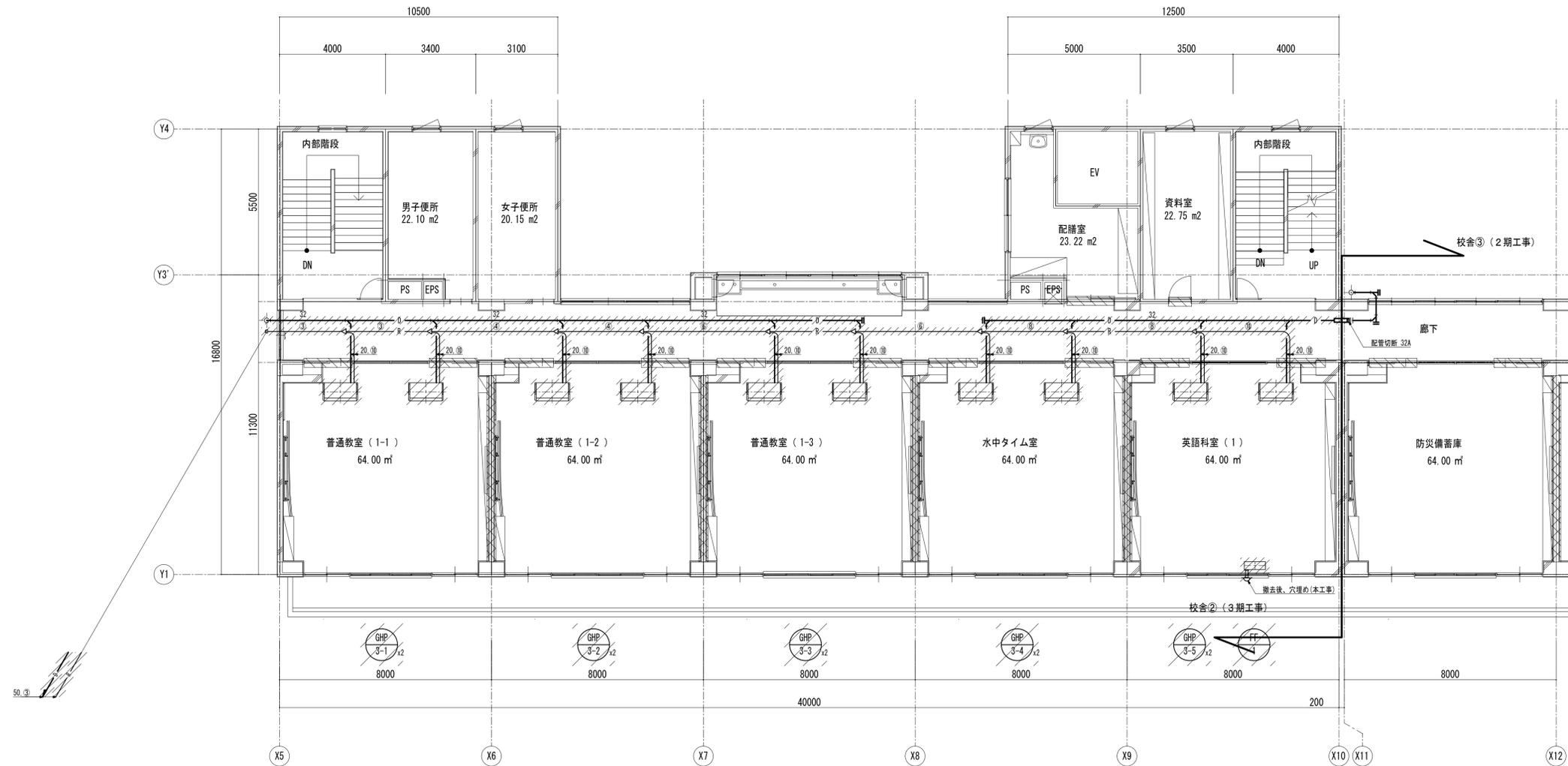


4階平面図 1/100

■ 冷媒用保温付被覆銅管

番	径	長さ	番号線・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCIFS1 2S-2C 室内外渡り線: EM-CEES1 2S-2C 集中線: EM-CEES2 0-2C
②	15.88 φ	31.80 φ	
③	15.88 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	28.58 φ	
⑤	12.70 φ	25.40 φ	
⑥	9.52 φ	22.20 φ	
⑦	9.52 φ	19.05 φ	
⑧	9.52 φ	15.88 φ	
⑨	9.52 φ	12.70 φ	
⑩	6.35 φ	12.70 φ	

注記)  
 ・ は撤去範囲を示す。



5階平面図 1/100

■ 冷媒用保温付被覆銅管

番	径	長さ	番号線・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCFS1 2S-2C 室内外渡り線: EM-CEES1 2S-2C 集中線: EM-CEES2 0-2C
②	15.88 φ	31.80 φ	
③	15.88 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	28.58 φ	
⑤	12.70 φ	25.40 φ	
⑥	9.52 φ	22.20 φ	
⑦	9.52 φ	19.05 φ	
⑧	9.52 φ	15.88 φ	
⑨	9.52 φ	12.70 φ	
⑩	6.35 φ	12.70 φ	

注記)  
 ・ は撤去範囲を示す。

換気設備（既存）機器表

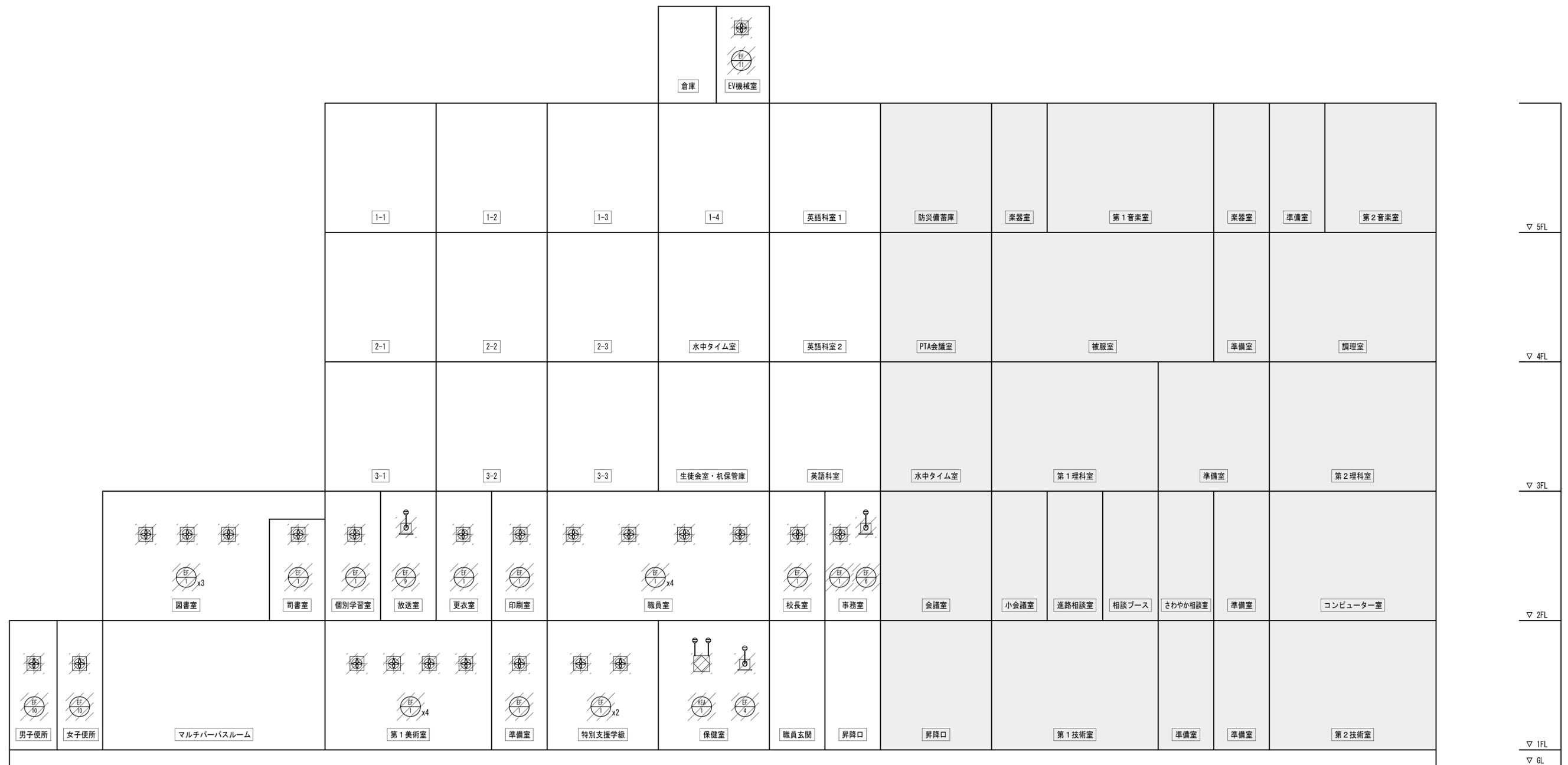
機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考		
				相	電圧 (V)	消費電力 (kw)	階	室名			
EF-1	排気ファン (撤去)	型式 学校用有圧換気扇 仕様 300φ x 1200 m3/h 付属品 ウェザーカバー 共	57台	1	100	30.5 <sup>W</sup>					
			(4台)							1F 特別支援学級	3期
			(3台)							1F 第1美術室	3期
			(1台)							1F 第1美術準備室	3期
			(2台)							1F 特別支援学級	3期
			(3台)							1F 第1技術室	2期
			(1台)							1F 第1技術準備室	2期
			(6台)							1F 第2技術室	2期
			(1台)							1F 第2技術準備室	2期
			(3台)							2F 図書室	3期
			(1台)							2F 個別学習室	3期
			(1台)							2F 更衣室	3期
計 12台			(1台)	2F 印刷室	3期						
			(4台)	2F 職員室	3期						
			(1台)	2F 校長室	3期						
			(1台)	2F 事務室	3期						
			(3台)	2F 会議室・小会議室	2期						
			(1台)	2F 進路指導室	2期						
			(3台)	3F 第1理科室	2期						
			(2台)	3F 準備室	2期						
			(3台)	3F 第2理科室	2期						
			(1台)	4F 楽器室	2期						
			(3台)	4F 第1音楽室	2期						
			(1台)	4F 準備室	2期						
(2台)	4F 第2音楽室	2期									
(4台)	5F 被服室	2期									
(1台)	5F 調理準備室	2期									
(3台)	5F 調理室	2期									

※ 1. 電気容量は参考値とする。

機器番号	機器名称	仕様	台数	電気容量			設置場所		備考			
				相	電圧 (V)	消費電力 (kw)	階	室名				
EF-3	排気ファン	型式 中間ダクトファン (低騒音形) 仕様 630 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	150 <sup>W</sup>	2階	コンピュータ室	2期			
EF-4	排気ファン (撤去)	型式 天井換気扇 仕様 360 m3/h x 20 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	125 <sup>W</sup>	1階	保健室	3期			
EF-5	排気ファン	型式 天井換気扇 仕様 630 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	2台	1	100	45 <sup>W</sup>	(-)	体育館便所	1期			
			(1台)							(-)	暗室	2期
			(1台)							(-)		
EF-6	排気ファン (撤去)	型式 天井換気扇 仕様 300 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	44 <sup>W</sup>	2階	事務室	3期			
EF-7	排気ファン	型式 天井換気扇 仕様 540 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	101 <sup>W</sup>	2階	準備室	2期			
EF-8	排気ファン	型式 ハイブファン 仕様 102 m3/h 付属品 ベントキャップ 共	6台	1	100	33 <sup>W</sup>	(-)	体育館床下	1期			
EF-9	排気ファン	型式 中間ダクトファン 仕様 600 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	150 <sup>W</sup>	2階	放送室	3期			
EF-10	排気ファン	型式 天井換気扇 仕様 540 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	2台	1	100	78 <sup>W</sup>	屋外	男子トイレ	3期			
EF-11	排気ファン	型式 有圧扇 仕様 300φ 付属品 ウェザーカバー、サーモスイッチ付	1台	1	100	— <sup>W</sup>	屋外	EV機械室	3期			
SF-3	送風機	型式 中間ダクトファン 仕様 630 m3/h x 40 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	150 <sup>W</sup>	2F	コンピュータ室	2期			
HEA-1	全熱交換器 (撤去)	型式 空調換気扇 仕様 250 m3/h 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	123 <sup>W</sup>	1階	保健室	3期			
HEA-2	排気ファン	型式 空調換気扇 仕様 150 m3/h x 30 Pa 付属品 ベントキャップ 共	1台	1	100	30.5 <sup>W</sup>	1階	体育館シャワー室	1期			

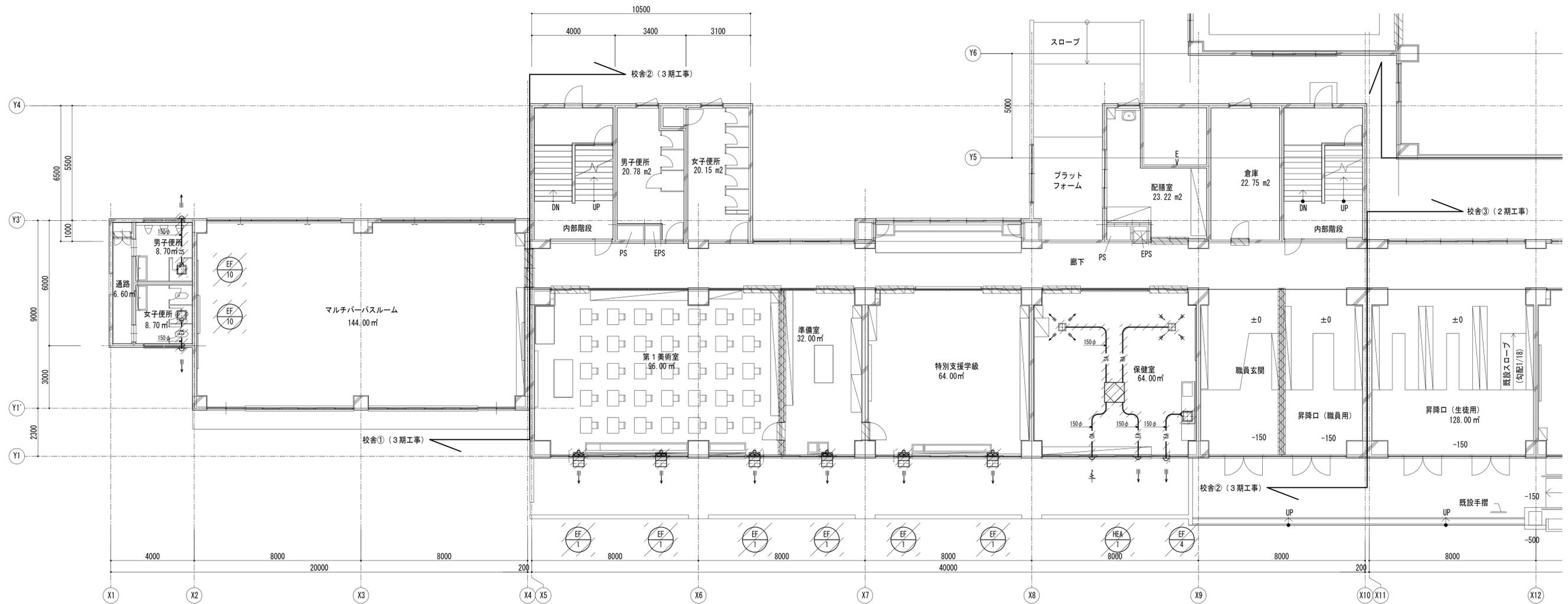
※ 1. 電気容量は参考値とする。

注記)  
・  は撤去範囲を示す。



換気設備 系統図 N/S

■ 注記  
 工事対象外  
 撤去



1階平面図 1/100

準備室		準備室	
取/出口	取/出口	取/出口	取/出口
YS 250×250	YS 250×250	YS 250×250	YS 250×250
Q=250 m³/h	Q=250 m³/h	Q=250 m³/h	Q=250 m³/h
消費電力 350×350×250 (0.25t 内貼)			

注記  
 ・ は撤去範囲を示す。

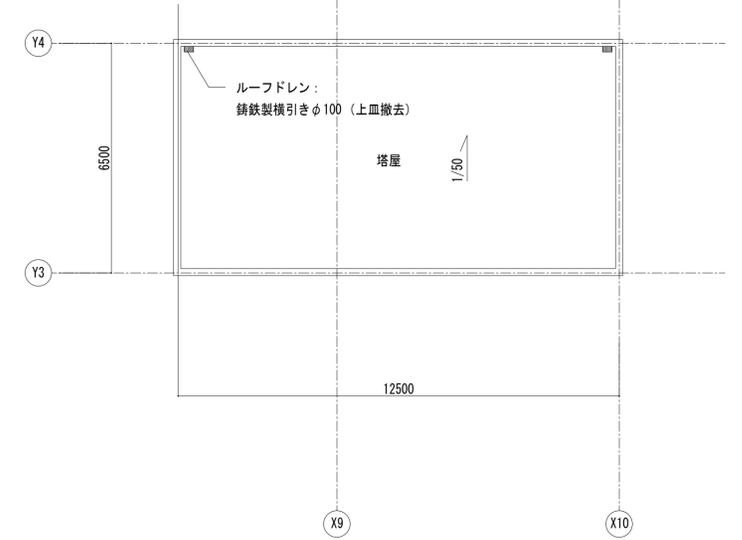
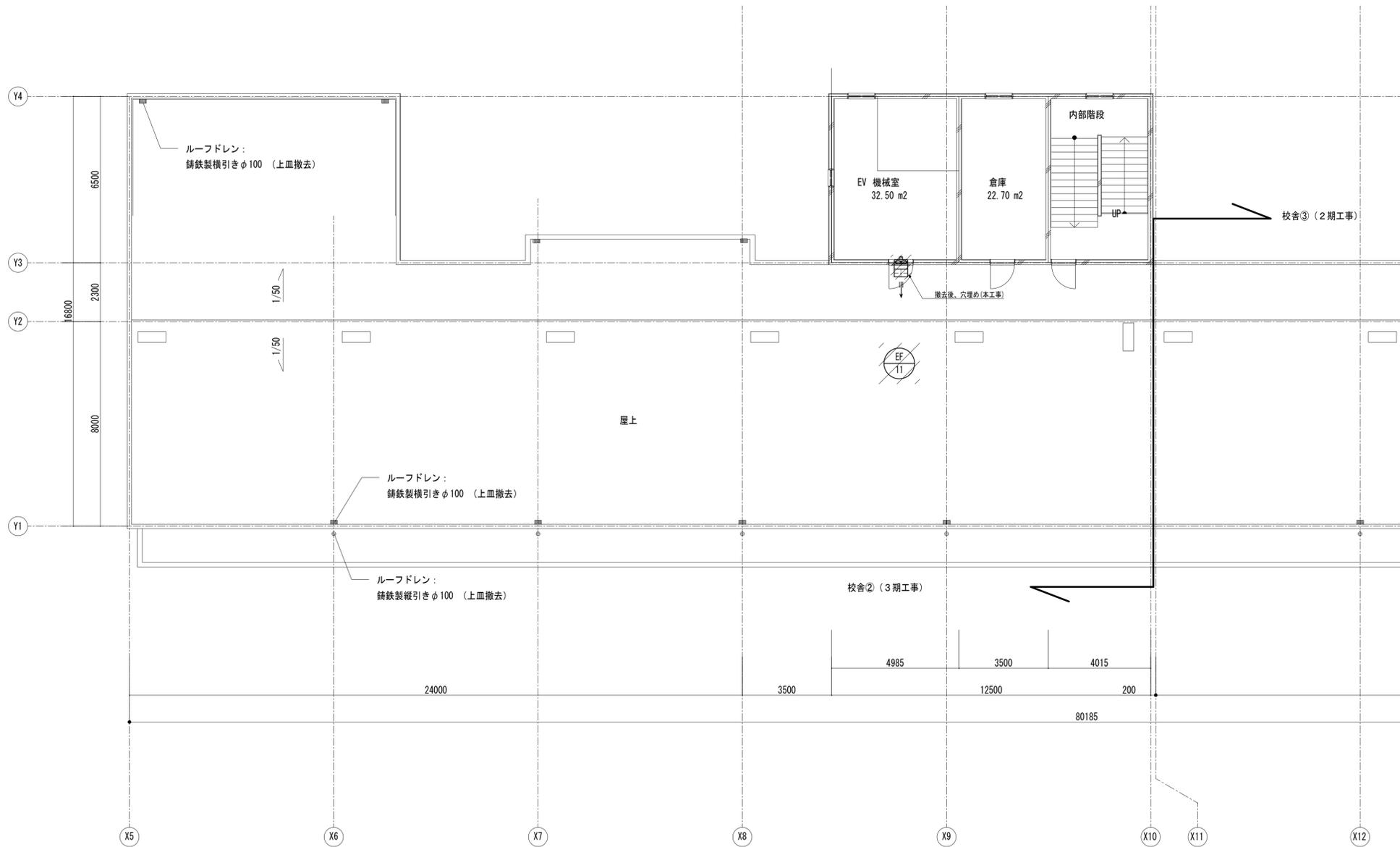
KUJI ARCHITECTS STUDIO  
 株式会社 久慈設計 埼玉事務所  
 埼玉県さいたま市桜区西郷8丁目20-27 TEL.048-789-6033

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号 一級建築士登録 第323324号 千葉 聡	承認	審査	検図	製図	特記
--	----	----	----	----	----

改訂番号	改訂月日	改訂内容

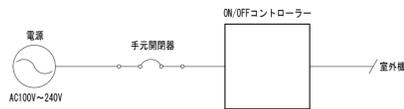
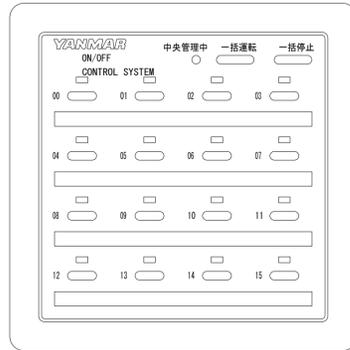
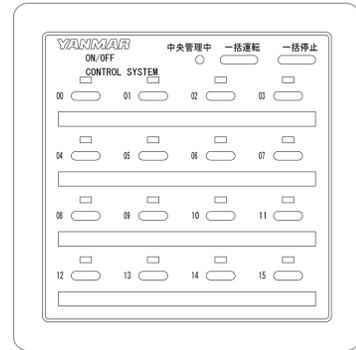
業務番号 22094 工事名称 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第3期工事) (ゼロ債務)  
 図面内容 【撤去】換気設備 1階平面図 縮尺 A1=1/100 A3=1/200 図番 機械設備 M-49



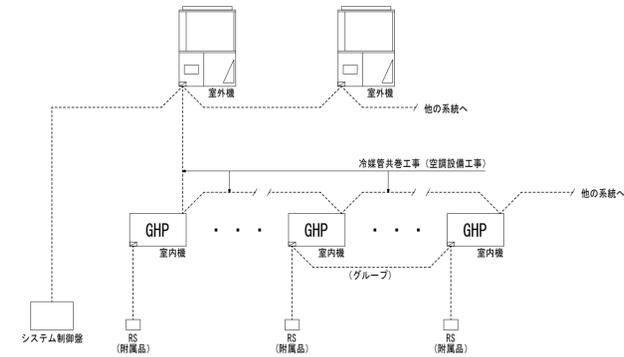


屋根・塔屋平面図 1/100

注記)  
 ・ は撤去範囲を示す。



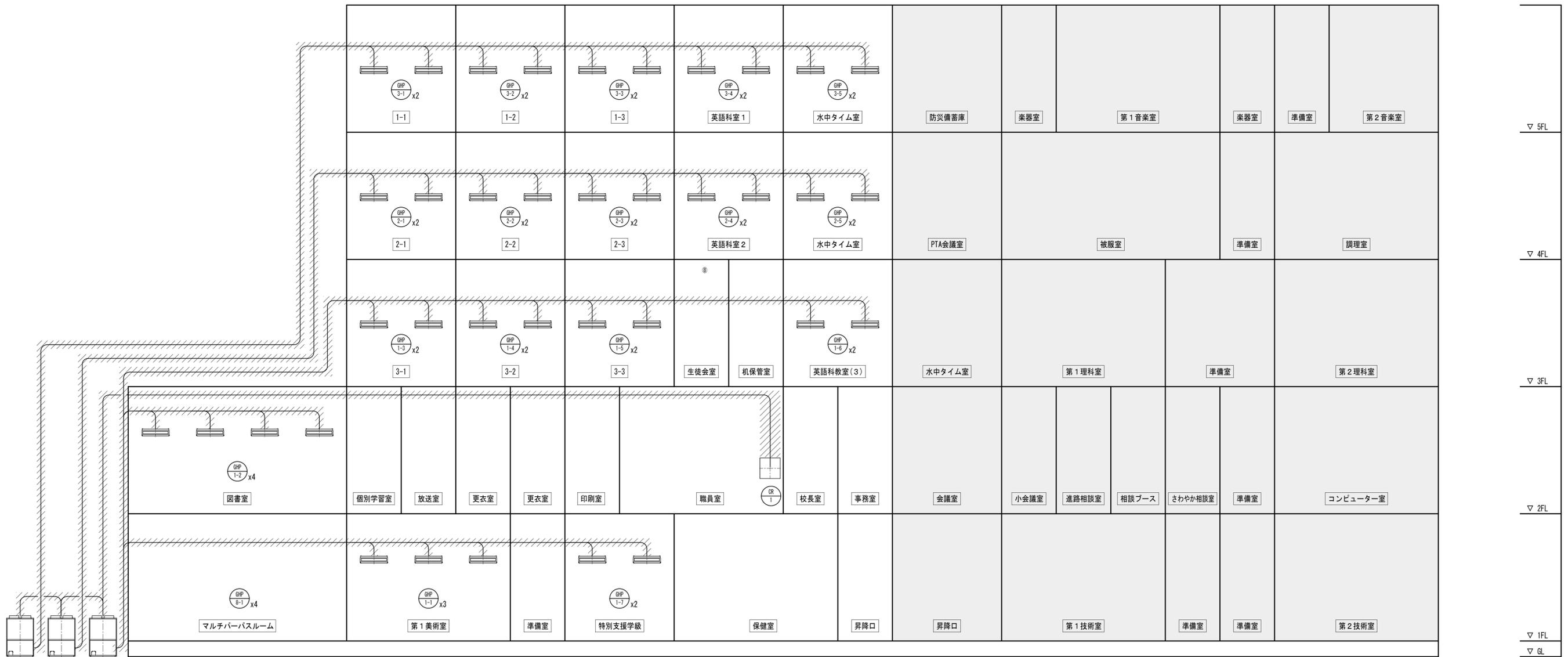
- <概要>
- 最大16の室内ユニットのグループを個別および一括に運転、停止でき、2~8台使用することにより最大128の室内ユニットのグループを個別および一括に運転、停止できるものとする。
- <注記>
- 一括運転・一括停止ボタン  
すべての室内ユニットを運転、停止できるものとする。
  - 個別運転・停止ボタン  
各グループ個別に運転、停止できるものとする。
  - 異常表示  
運転ランプが点滅するときは、点滅しているグループに異常があることを示すものとする。



- <制御項目>
- 空調システムとの通信<ビル用マルチ空調機系統>  
(発停・状態・警報・設定温度・設定温度制限・運転モード切替・計測・異常コード)
- <注記>
- 電源供給は電気工事とする。
  - 室内機~室外機間信号線は冷媒管共巻(空調設備工事)とする。
  - RS(手元リモコン)は装置付属品とする。

管理点一覧表

設備記号	操作名称	自動制御盤	信号取合先	操作		監視		計測		計量	参考	備考
				発停	切換	設定	状態	警報	温度			
■ 3期工事 空調機器制御												
GHP-1	(室外機-560) ガスヒートポンプマルチ											
GHP-1-1	(室内機-36)	-----	室内機	1			1	1				(3期工事)
GHP-1-2	(室内機-45)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-1-3	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-1-4	(室内機-45)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-1-5	(室内機-45)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-1-6	(室内機-45)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-1-7	(室内機-45)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-2	(室外機-710) ガートポンプマルチ											
GHP-2-1	(室内機-45)	-----	室内機	1			1	1				(3期工事)
GHP-2-2	(室内機-45)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-2-3	(室内機-45)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-2-4	(室内機-45)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-2-5	(室内機-45)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-3	(室外機-710) ガートポンプマルチ											
GHP-3-1	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1				(3期工事)
GHP-3-2	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-3-3	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-3-4	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1				( - )
GHP-3-5	(室内機-56)	-----	室内機	1			1	1				( - )

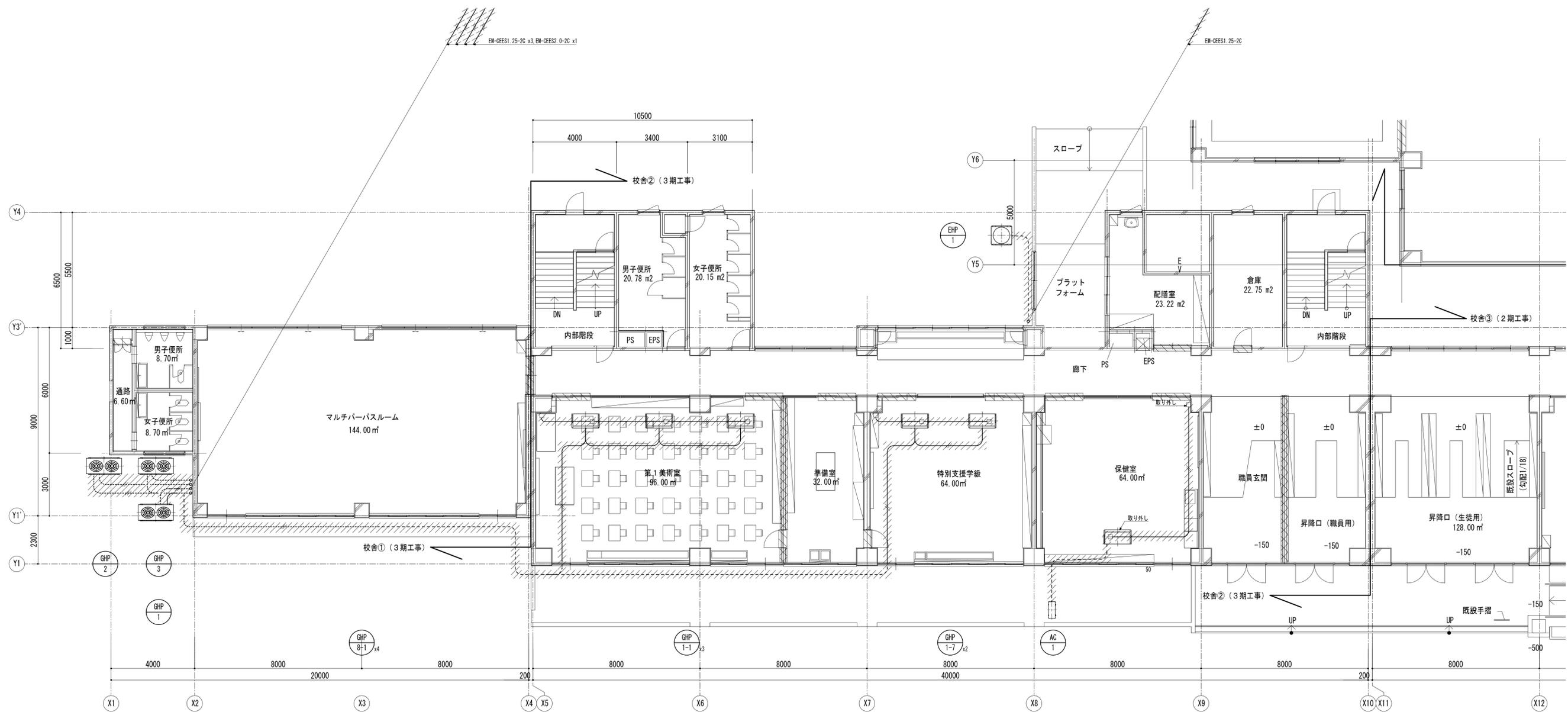


自動制御設備 系統図 N/S

■ 注記  
 [Shaded Box] 工事対象外  
 [Dotted Box] 既設機器  
 [Hatched Box] 撤去

■ 冷媒用保温付配管銅管

液	ガス	径 号 線 ・ 電 源 線
① 19.05 φ	31.80 φ	
② 15.88 φ	31.80 φ	
③ 15.88 φ	28.58 φ	
④ 12.70 φ	28.58 φ	リモコン線: EM-ECOTFS1. 2S-2C
⑤ 12.70 φ	25.40 φ	室内外渡り線: EM-GCES1. 2S-2C
⑥ 9.52 φ	22.20 φ	集中線: EM-GCES2. 0-2C
⑦ 9.52 φ	19.05 φ	
⑧ 9.52 φ	15.88 φ	
⑨ 9.52 φ	12.70 φ	
⑩ 6.35 φ	12.70 φ	



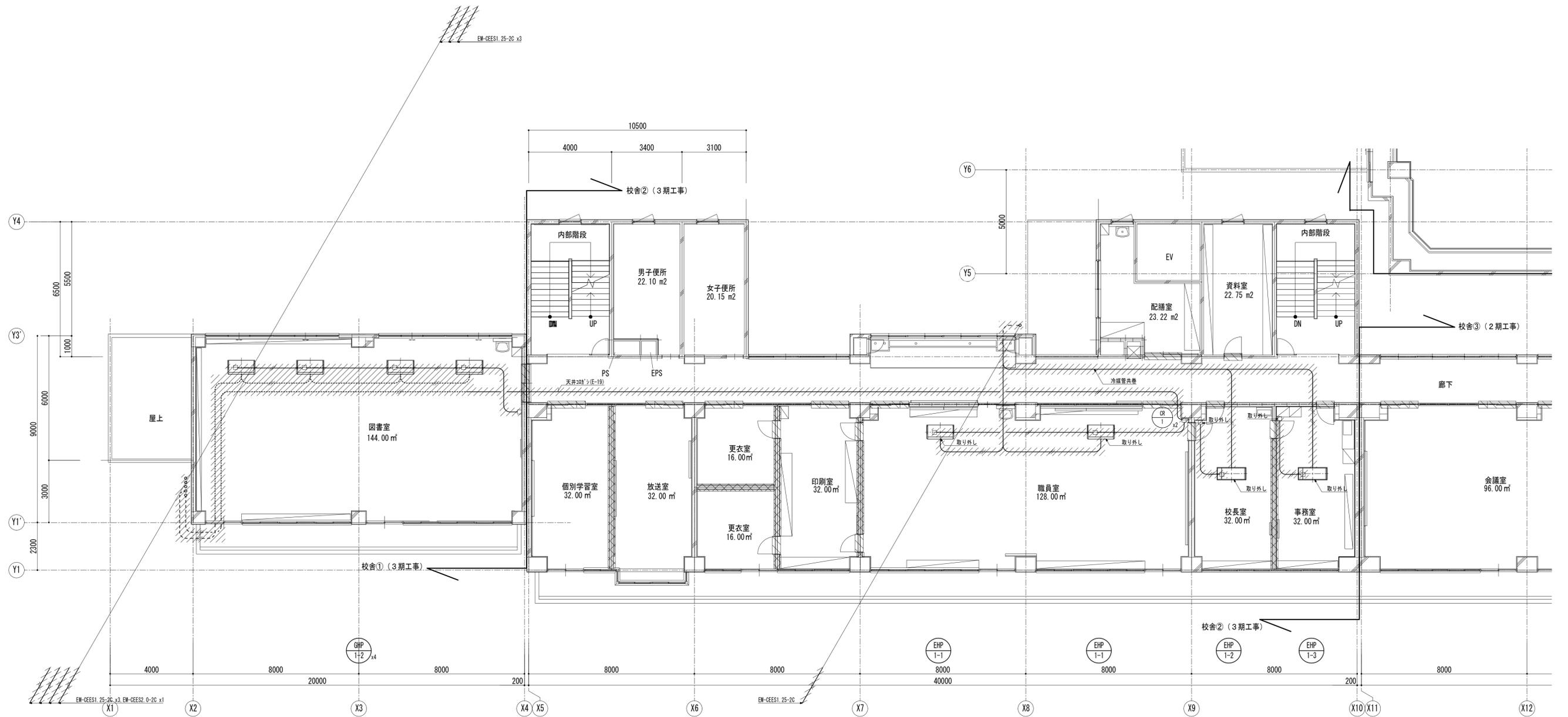
1階平面図 1/100

■ 冷媒用保温付被覆銅管

番	径	ガス	番号線・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCIFS1 2S-2C 室内外渡り線: EM-CEES1 2S-2C 集中線: EM-CEES2 0-2C
②	15.88 φ	31.80 φ	
③	15.88 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	28.58 φ	
⑤	12.70 φ	25.40 φ	
⑥	9.52 φ	22.20 φ	
⑦	9.52 φ	19.05 φ	
⑧	9.52 φ	15.88 φ	
⑨	9.52 φ	12.70 φ	
⑩	6.35 φ	12.70 φ	

注記) は撤去を示す。

 株式会社 久慈設計 埼玉事務所 <small>埼玉県さいたま市桜区西郷8丁目20-27 TEL.048-789-6033</small>	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号 一級建築士登録 第323324号 千葉 聡	承認	審査	検図	製図	特記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号	工事名称	縮尺	設備区分
											22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第3期工事)(ゼロ債務)	A1=1/100 A3=1/200



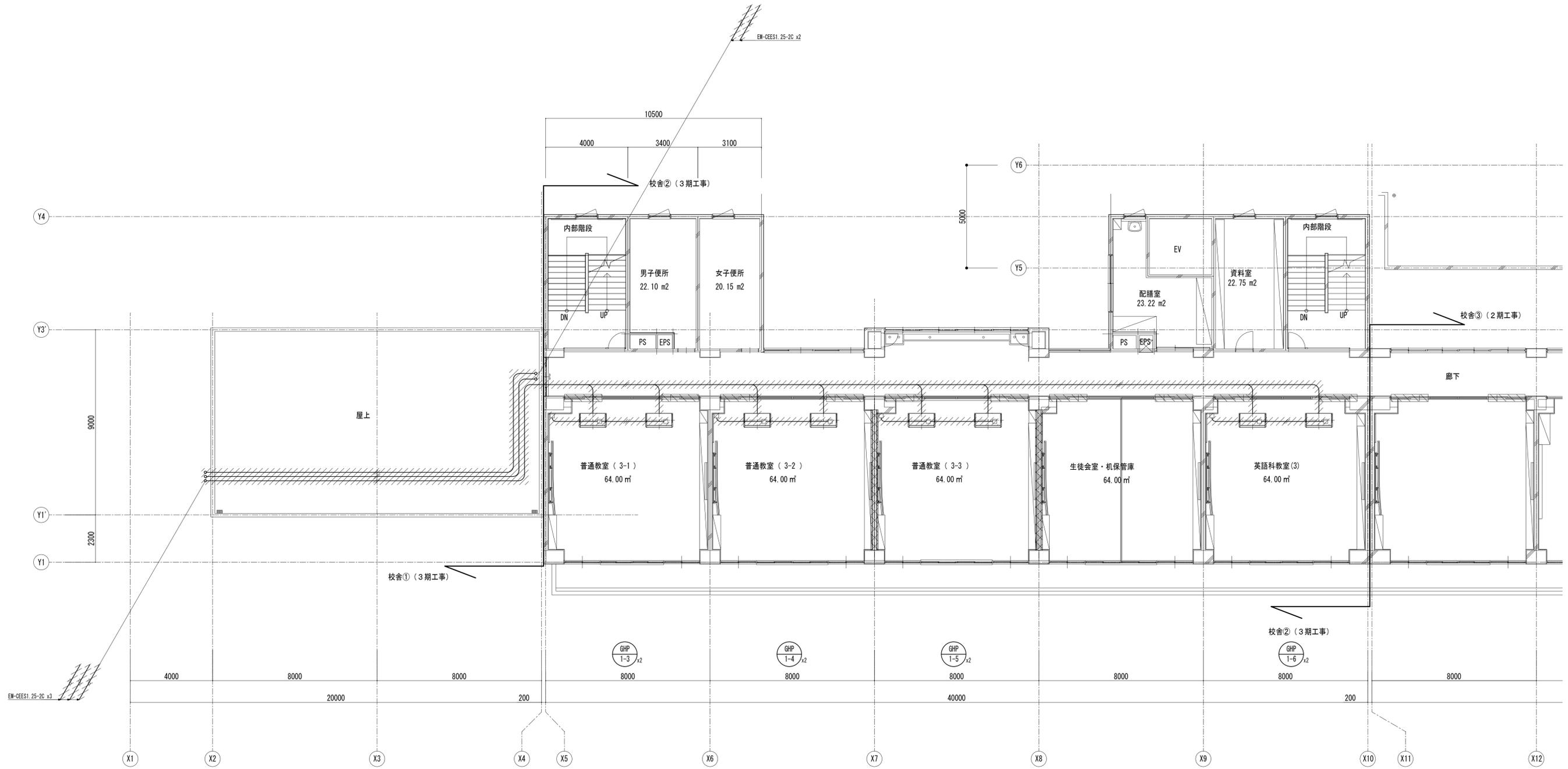
2階平面図 1/100

■ 冷媒用保温付被覆銅管

番	径	長さ	番号線・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCIFS1.25-2C 室内外渡り線: EM-CEES1.25-2C 集中線: EM-CEES2.0-2C
②	15.88 φ	31.80 φ	
③	15.88 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	28.58 φ	
⑤	12.70 φ	25.40 φ	
⑥	9.52 φ	22.20 φ	
⑦	9.52 φ	19.05 φ	
⑧	9.52 φ	15.88 φ	
⑨	9.52 φ	12.70 φ	
⑩	6.35 φ	12.70 φ	

注記) は撤去を示す。

KUJI ARCHITECTS STUDIO 株式会社 久慈設計 埼玉事務所 埼玉県さいたま市桜区西郷8丁目20-27 TEL.048-789-6033	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号 一級建築士登録 第323324号 千葉 聡	承認	審査	検図	製図	特記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号	工事名称	縮尺	図面内容	図面区分	設備番号
											22094	市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第3期工事)(ゼロ債務)	A1=1/100 A3=1/200	【撤去】自動制御設備 2階平面図	機械設備



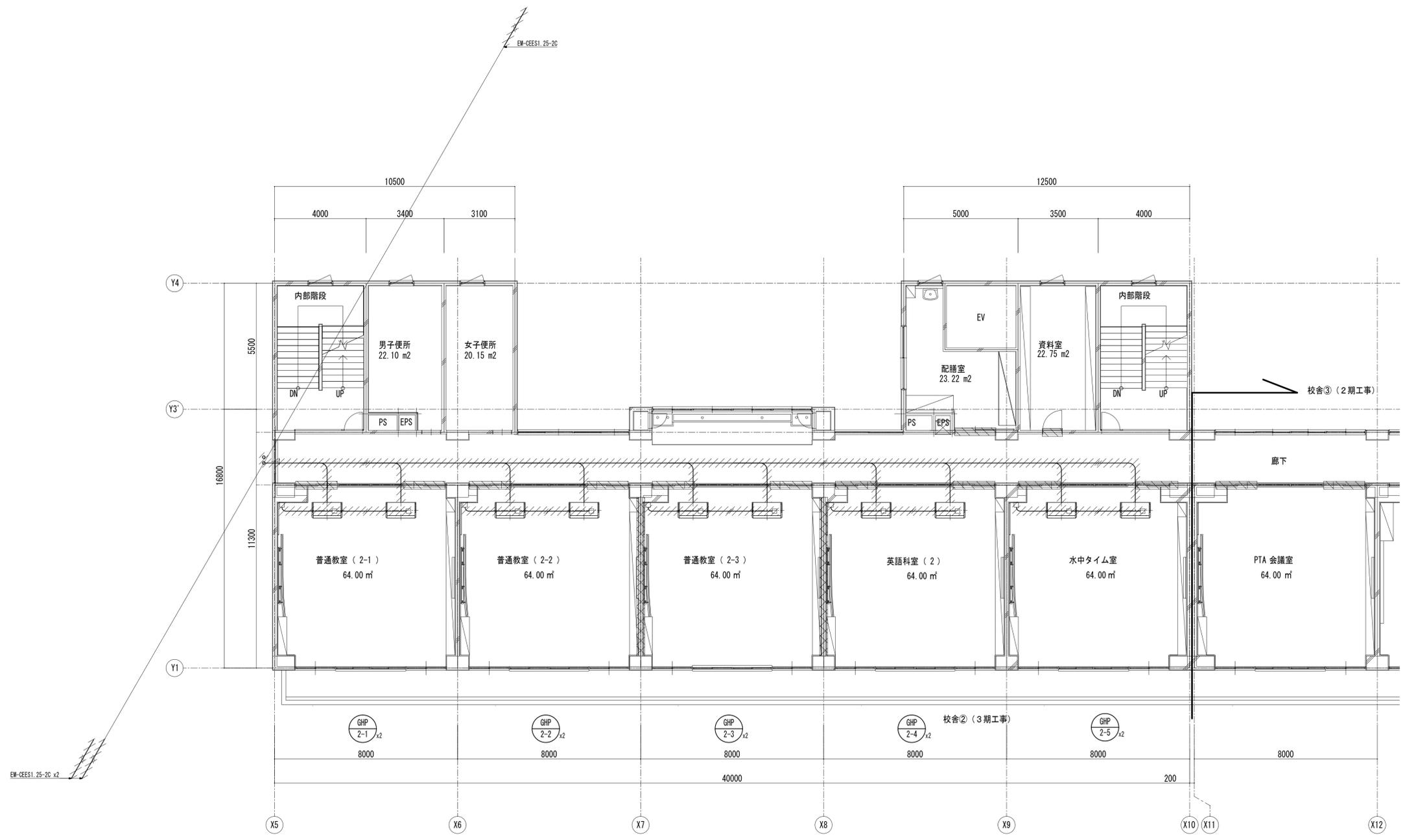
3階平面図 1/200

■ 冷媒用保温付被覆銅管

番	径	長さ	番号線・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCTS1. 25-2C 室内外渡り線: EM-CEES1. 25-2C 集中線: EM-CEES2. 0-2C
②	15.88 φ	31.80 φ	
③	15.88 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	28.58 φ	
⑤	12.70 φ	25.40 φ	
⑥	9.52 φ	22.20 φ	
⑦	9.52 φ	19.05 φ	
⑧	9.52 φ	15.88 φ	
⑨	9.52 φ	12.70 φ	
⑩	6.35 φ	12.70 φ	

注記) は撤去を示す。

	一級建築士事務所 埼玉県知事登録(1) 第11789号 一級建築士登録 第323324号 千葉 聡	承認	審査	検図	製図	特記	改訂番号 改訂月日 改訂内容	業務番号 22094	工事名称 市立水谷中学校長寿命化機械設備工事(第3期工事)(ゼロ債務)	図面内容 【撤去】自動制御設備 3階平面図	縮尺 A1=1/100 A3=1/200	図面 区分 図番 備考 機械設備 M-56
	埼玉県さいたま市桜区西郷8丁目20-27 TEL.048-789-6033											

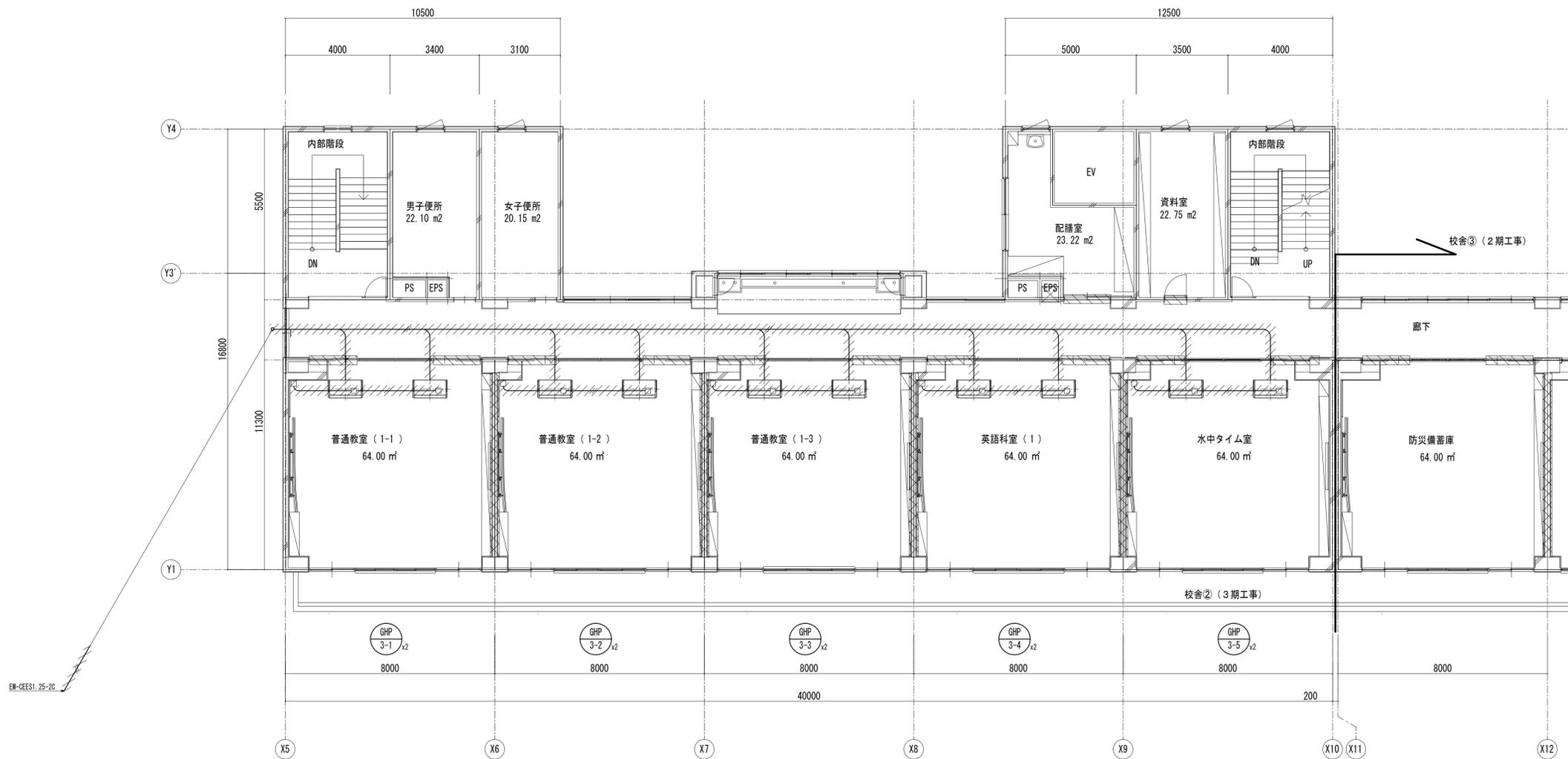


4階平面図 1/100

■ 冷暖用保温付被覆銅管

番	径	長さ	番号線・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCTS1.25-2C 室内外渡り線: EM-CEESI.25-2C 集中線: EM-CEESZ.0-2C
②	15.88 φ	31.80 φ	
③	15.88 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	28.58 φ	
⑤	12.70 φ	25.40 φ	
⑥	9.52 φ	22.20 φ	
⑦	9.52 φ	19.05 φ	
⑧	9.52 φ	15.88 φ	
⑨	9.52 φ	12.70 φ	
⑩	6.35 φ	12.70 φ	

注記) は撤去を示す。



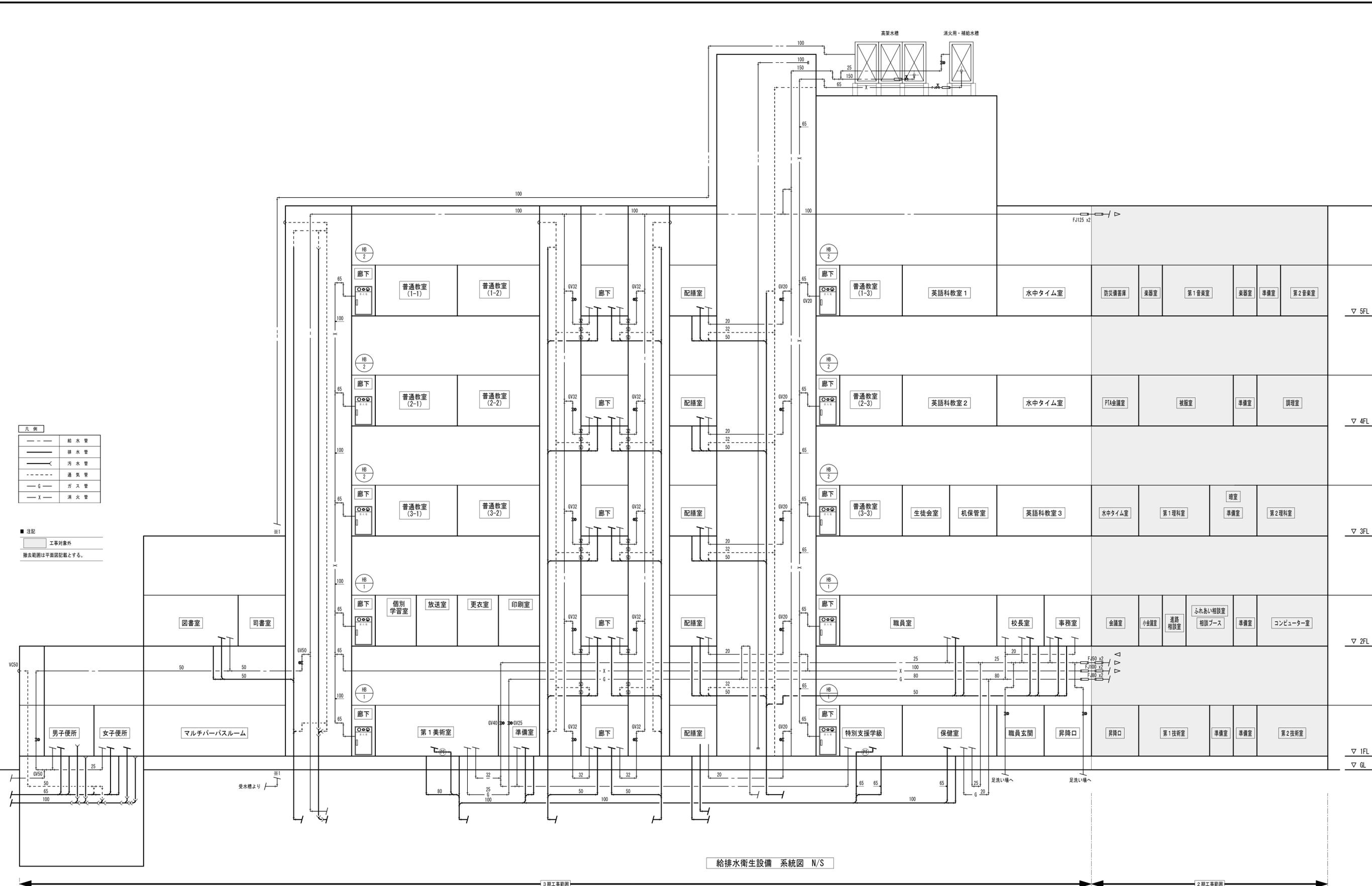
5階平面図 1/100

■ 冷媒用保温付被覆銅管

階	径	長さ	番号線・電源線
①	19.05 φ	31.80 φ	リモコン線: EM-ECCTS1 2S-2C 室内外渡り線: EM-GES1 2S-2C 集中線: EM-GES2 0-2C
②	15.88 φ	31.80 φ	
③	15.88 φ	28.58 φ	
④	12.70 φ	28.58 φ	
⑤	12.70 φ	25.40 φ	
⑥	9.52 φ	22.20 φ	
⑦	9.52 φ	19.05 φ	
⑧	9.52 φ	15.88 φ	
⑨	9.52 φ	12.70 φ	
⑩	6.35 φ	12.70 φ	

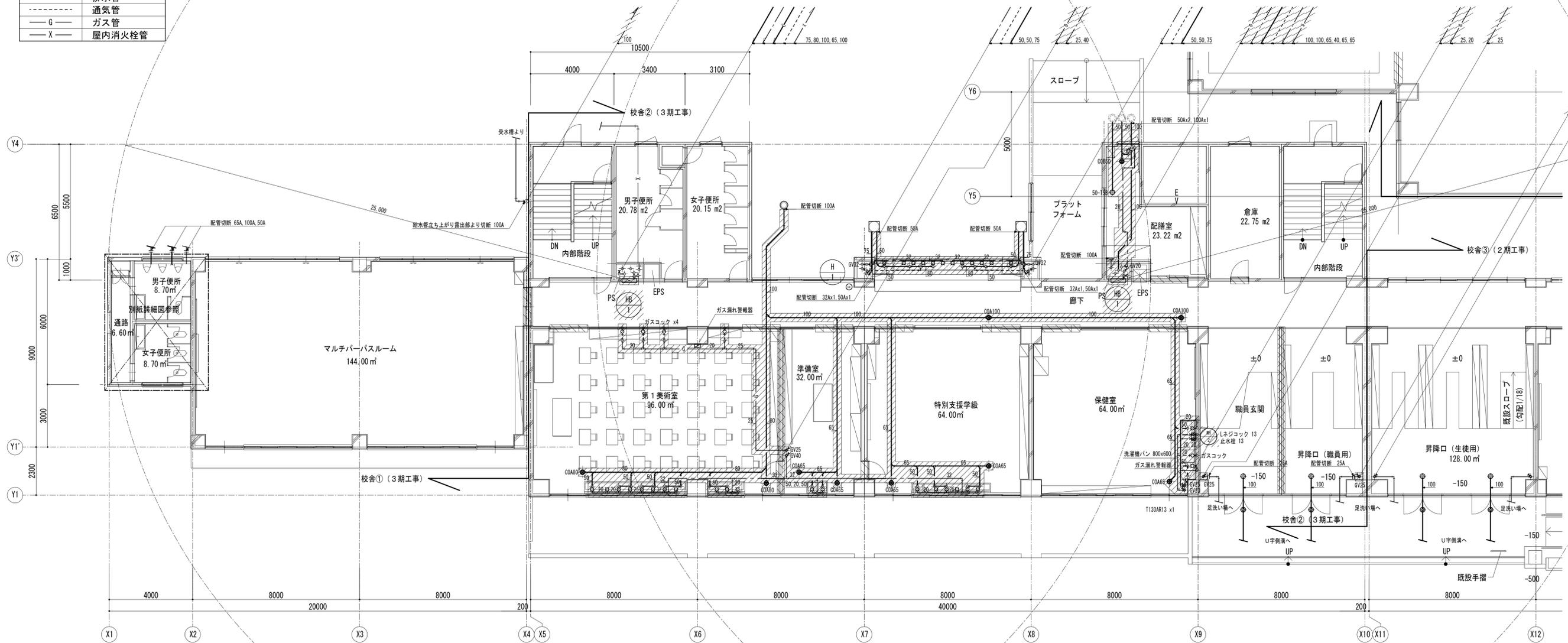
注記) は撤去を示す。





給排水衛生設備 系統図 N/S

---	揚水管
---	給水管
---	排水管
---	通気管
-G-	ガス管
-X-	屋内消火栓管

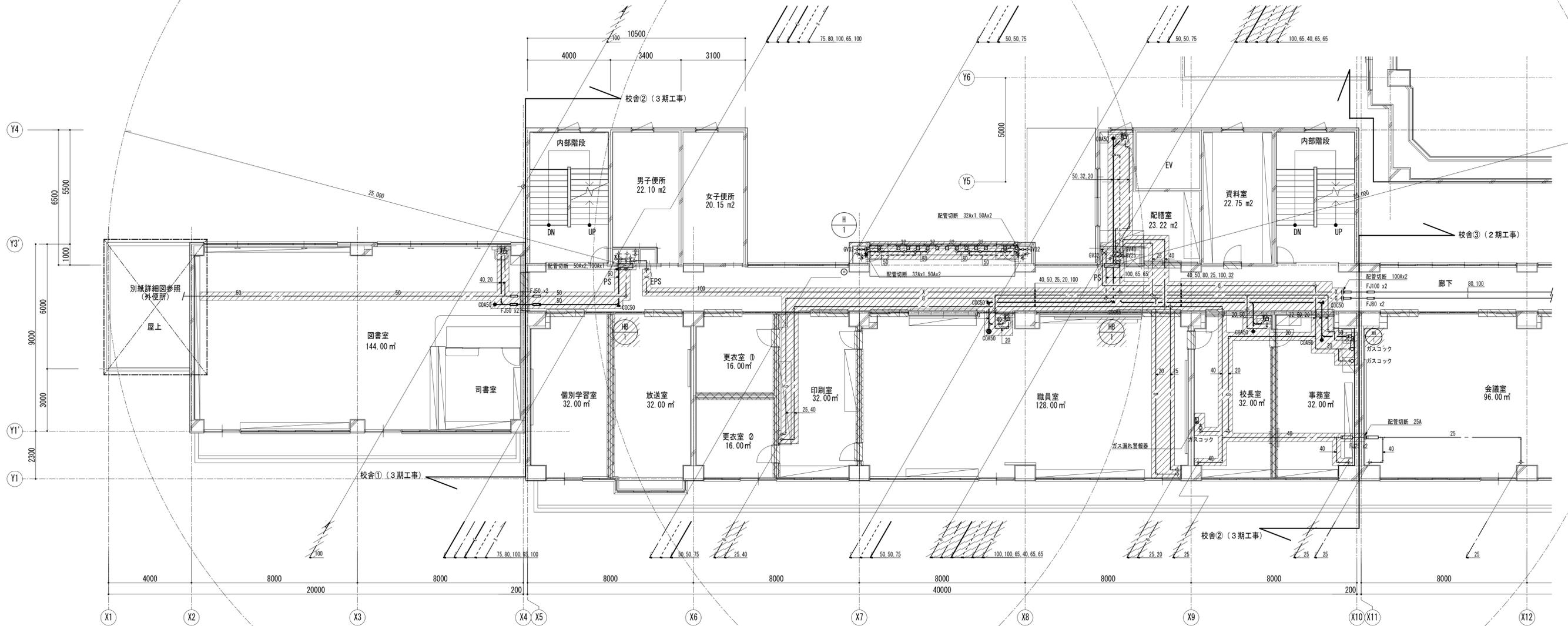


1階平面図 1/100

注記

1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)
2. は撤去箇所を示す。1階は同時に研り工事を行う(設備工事)
3. 足洗い場は水栓のみ撤去・新設する。

---	揚水管
---	給水管
---	排水管
---	通気管
G---	ガス管
X---	屋内消火栓管



2階平面図 1/100

- 注記
1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)
  2. は撤去箇所を示す。1階は同時に研り工事を行う(設備工事)

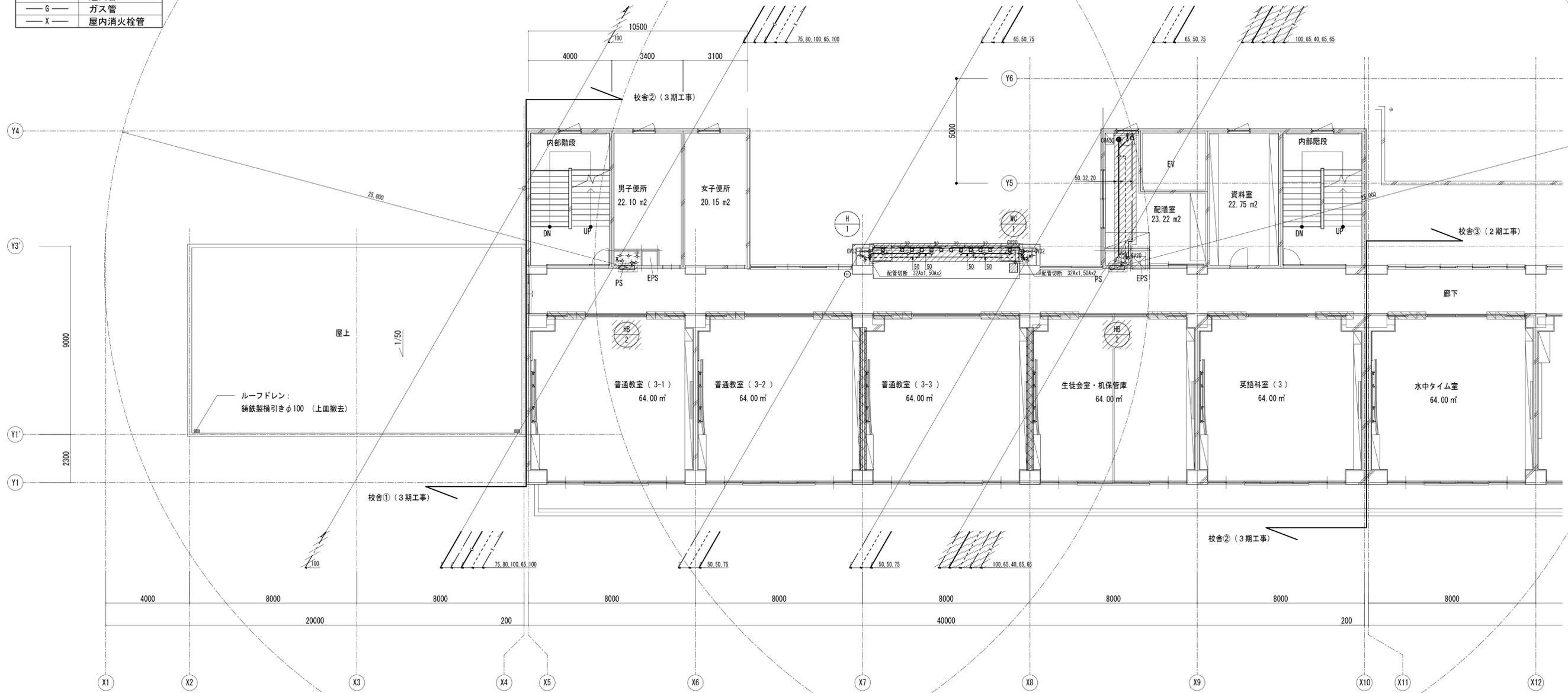
承認	審査	検図	製図	特記

改訂番号	改訂月日	改訂内容

業務番号	工事名称
22094	市立水谷中学校長寿命化建築工事(第3期工事)(ゼ口債務)
図面内容	【撤去】給排水衛生設備 2階平面図

縮尺	図面区分	設備
A1=1/100	A3=1/200	M-62

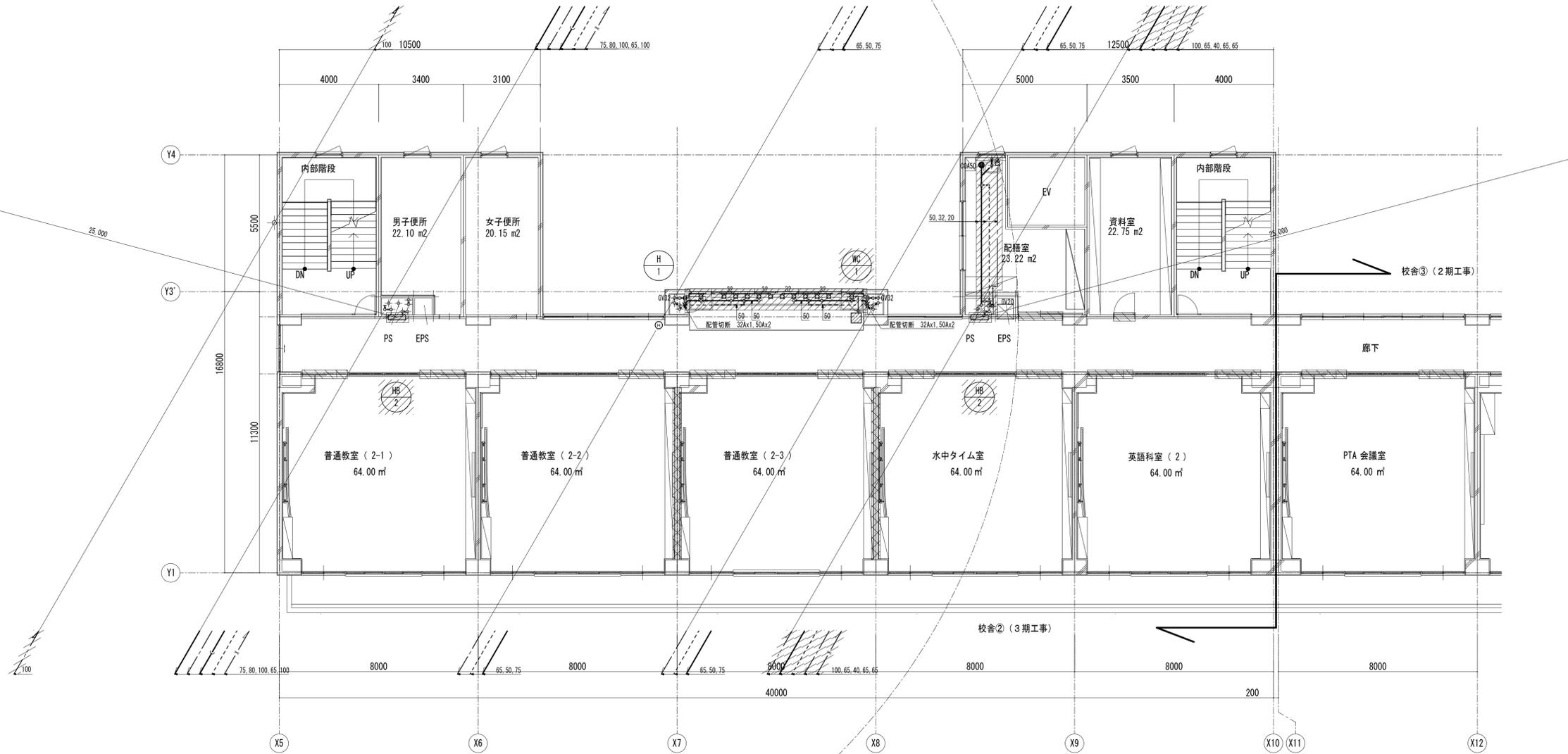
---	揚水管
---	給水管
---	排水管
---	通気管
G---	ガス管
X---	屋内消火栓管



3階平面図 1/100

- 注記)
1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)
  2. は撤去箇所を示す。1階は同時に新り工事を行う(設備工事)

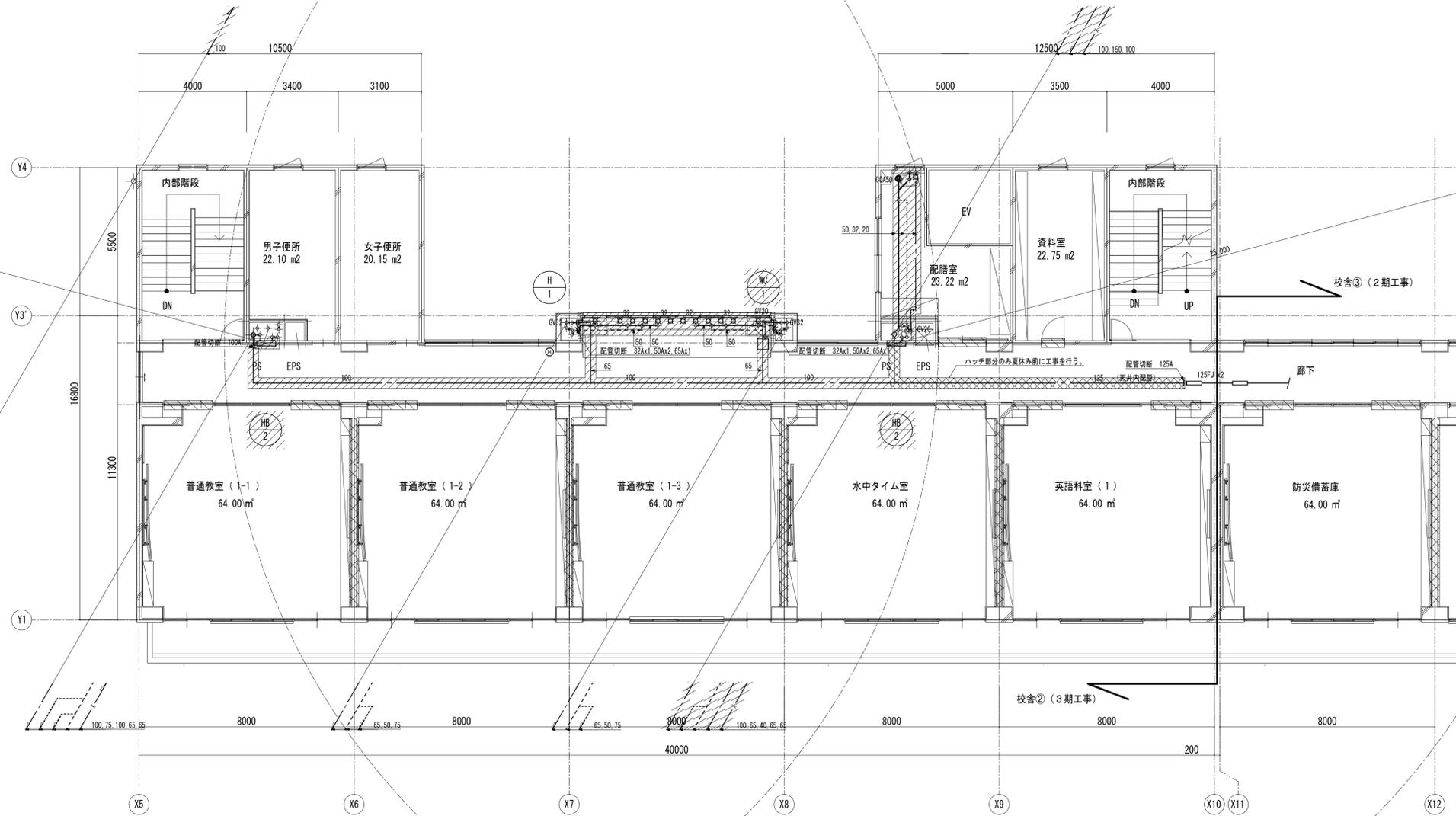
---	揚水管
---	給水管
---	排水管
---	通気管
G---	ガス管
X---	屋内消火栓管



4階平面図 1/100

- 注記
1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)
  2. は撤去箇所を示す。1階は同時に研り工事を行う(設備工事)

---	揚水管
---	給水管
---	排水管
---	通気管
G---	ガス管
X---	屋内消火栓管

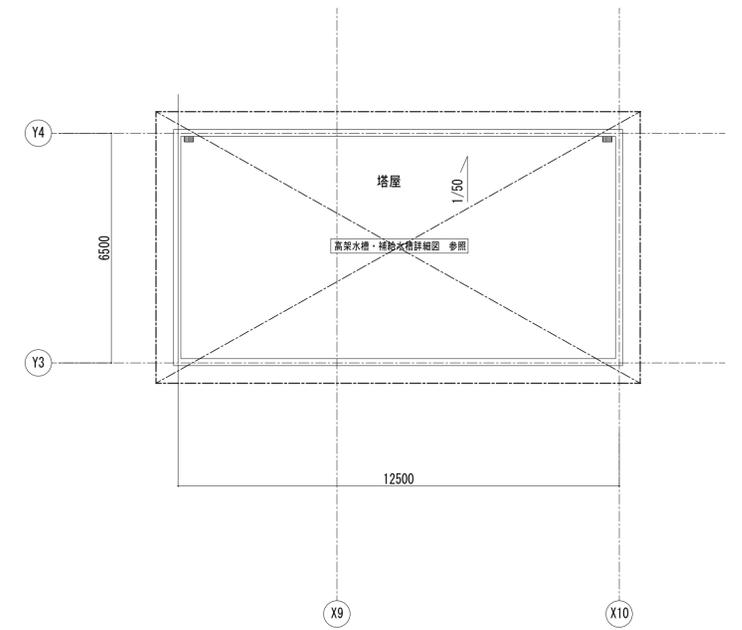
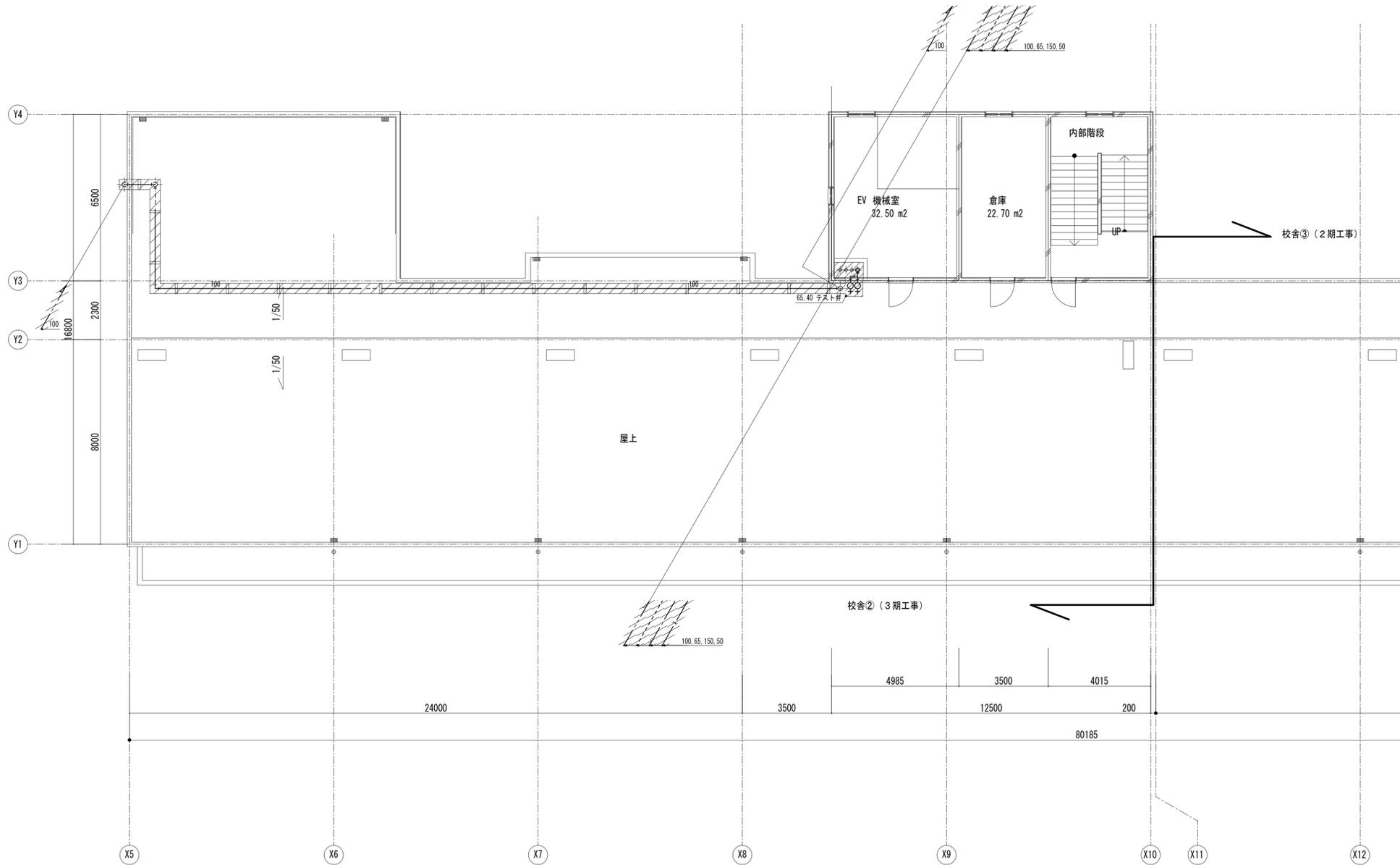


5階平面図 1/100

- 注記
1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)
  2. は撤去箇所を示す。1階は同時に研り工事を行う(設備工事)

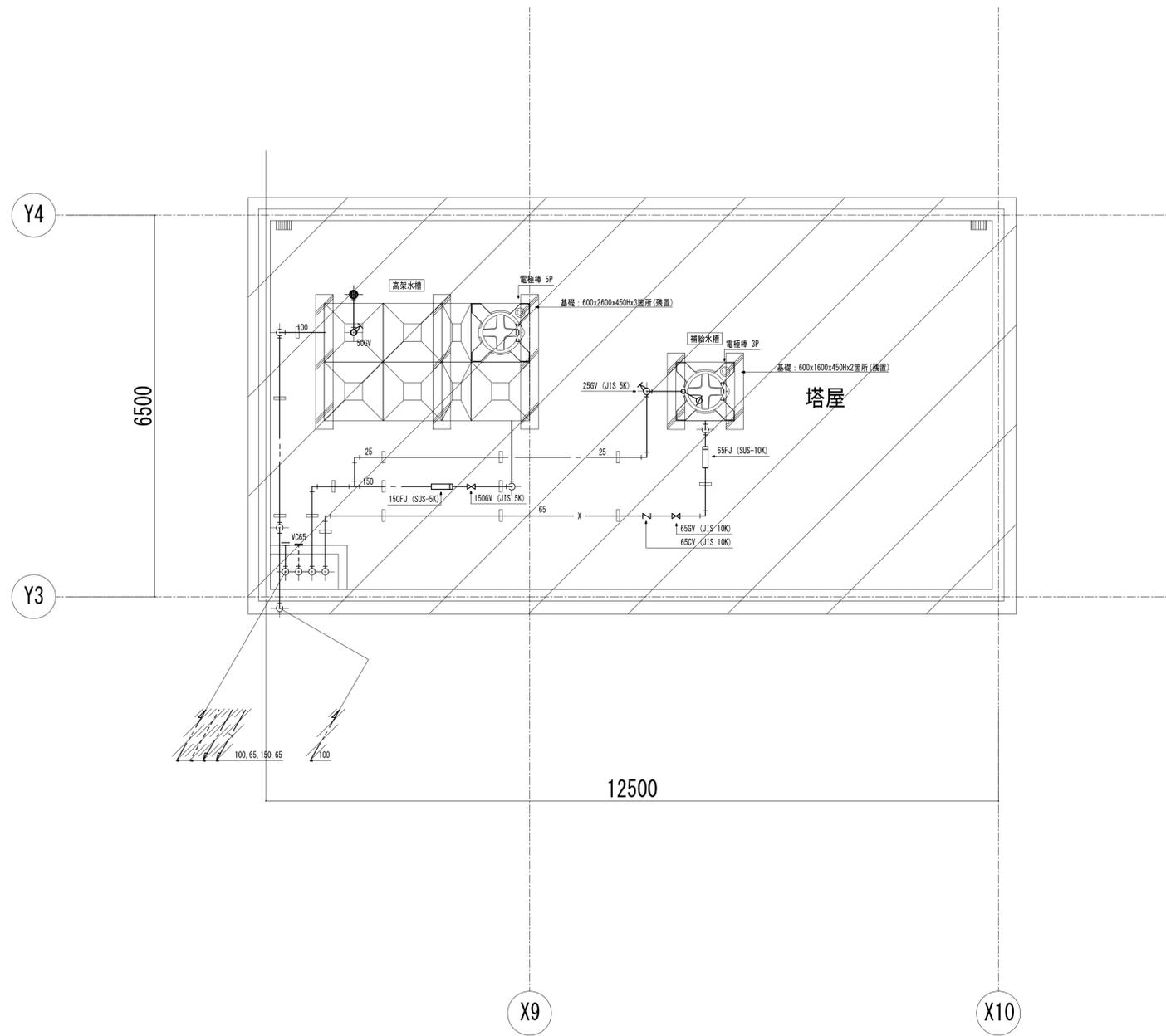
凡例

---	揚水管
---	給水管
---	排水管
---	通気管
G---	ガス管
X---	屋内消火栓管



屋根・塔屋平面図 1/100

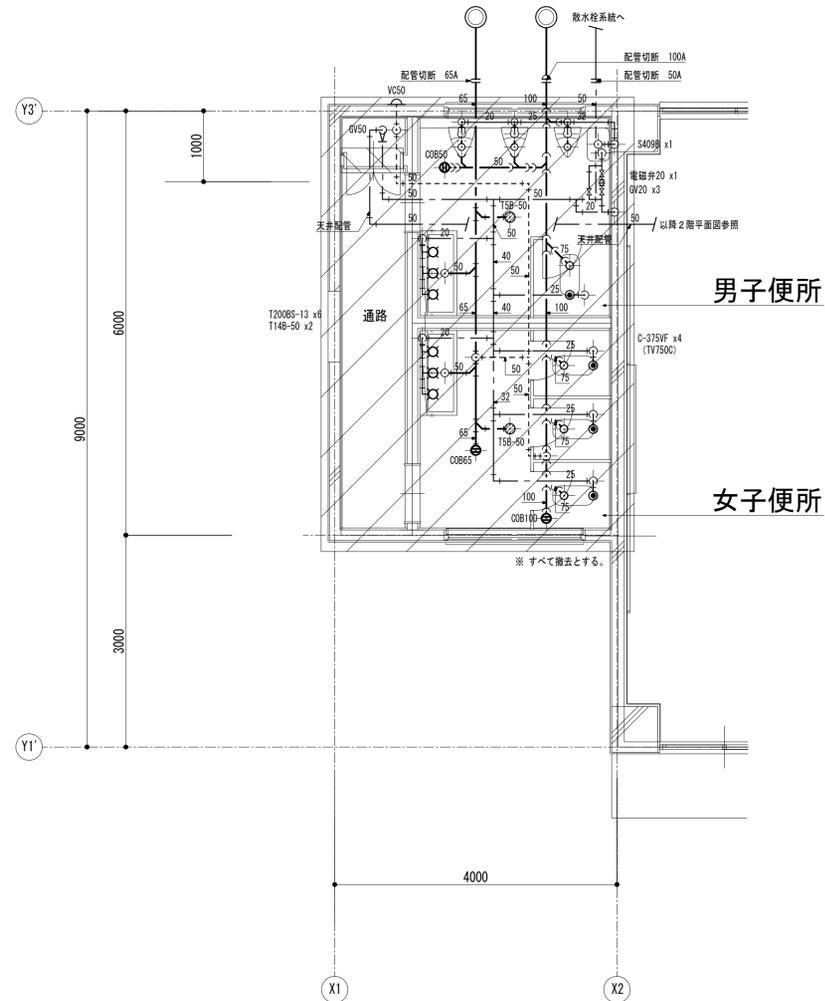
- 注記
1. 連合流し部分用PS内配管は撤去不可の為、残置とする。(各階共通)
  2. は撤去箇所を示す。1階は同時に研り工事を行う(設備工事)



高架水槽・補給水槽詳細図 1/50

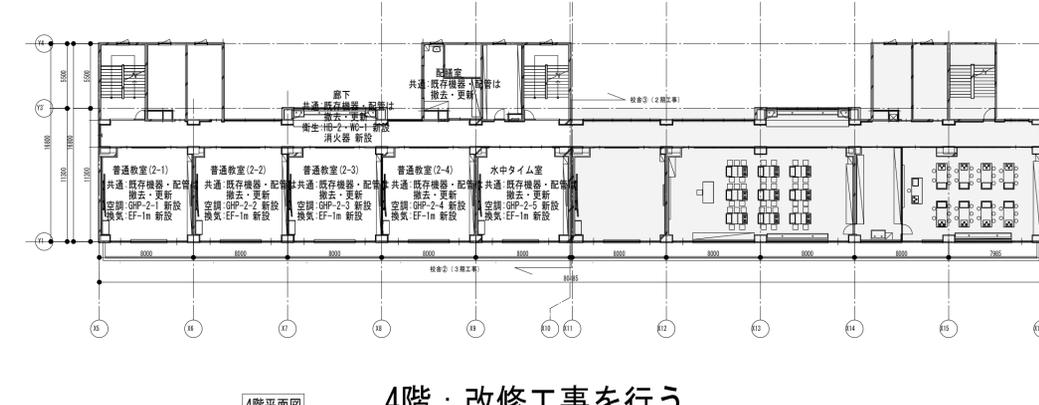
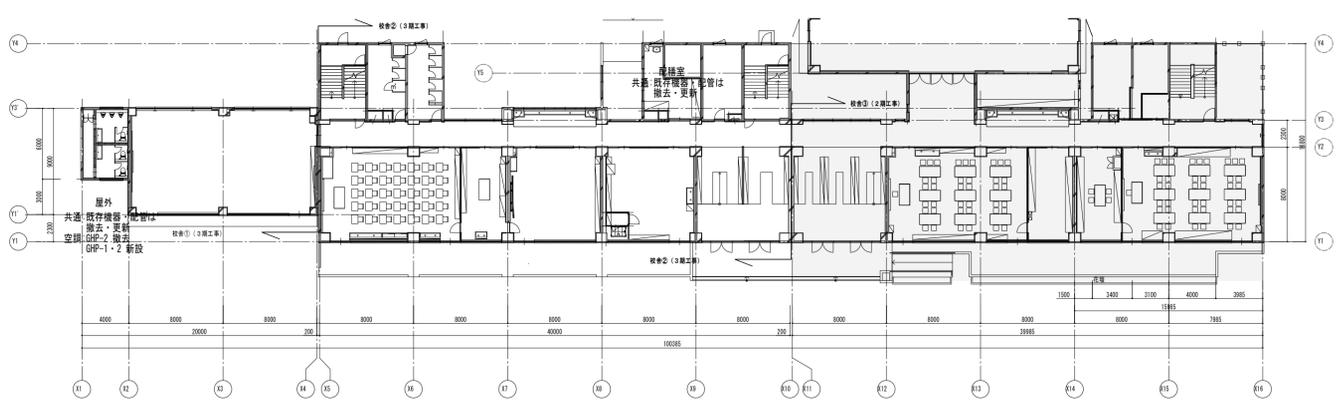
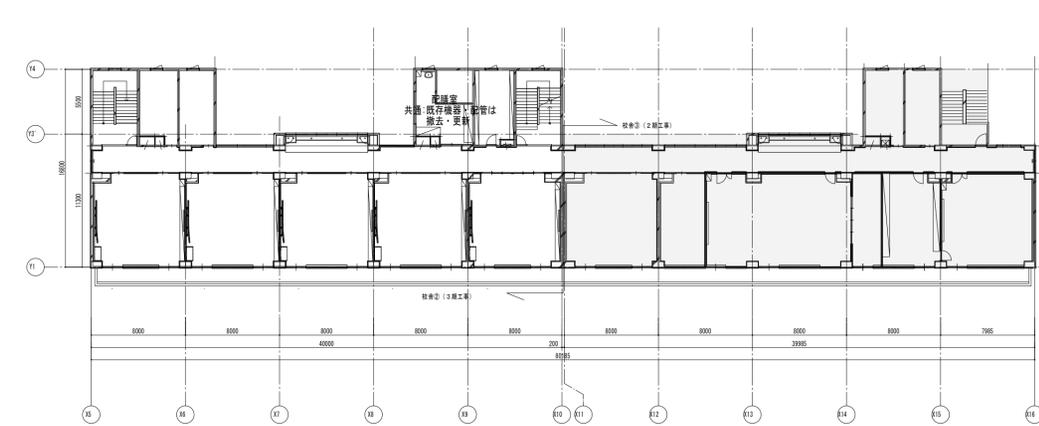
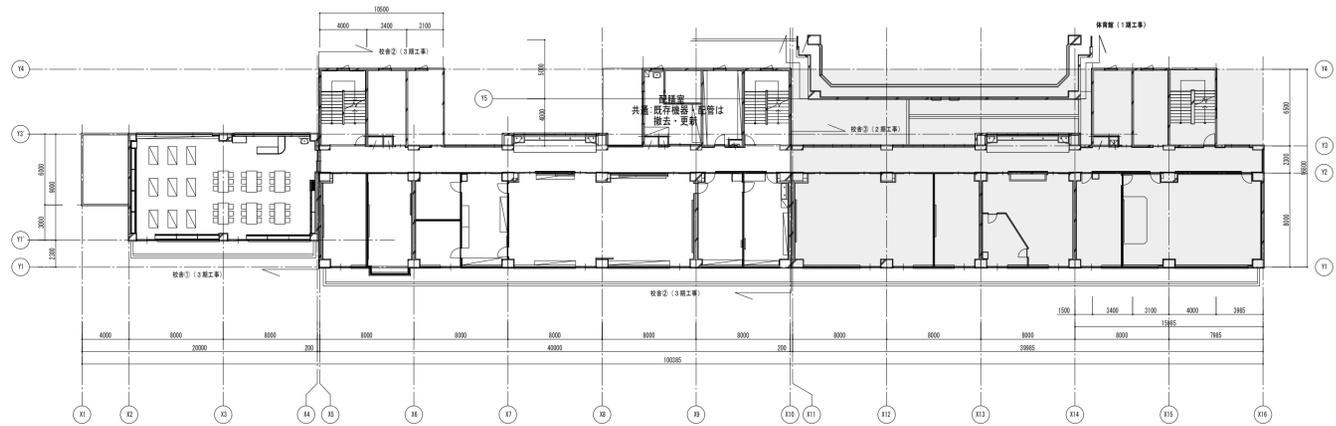
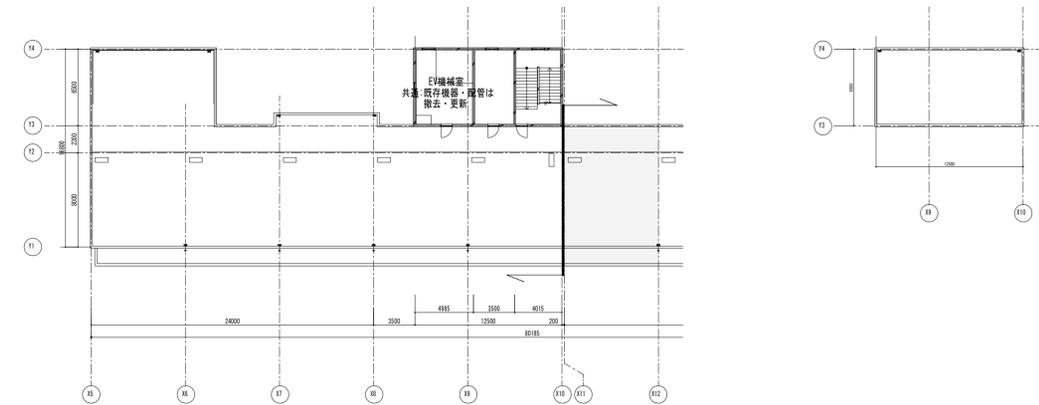
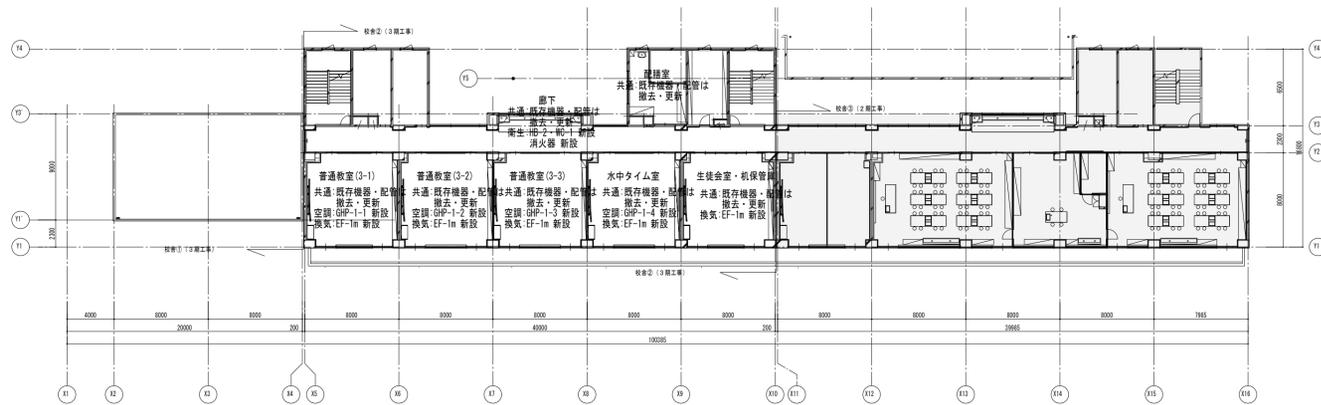
弁類・付属品類 一覧表

器具名	仕様・摘要	屋外	
		塔屋	
<b>&lt;水槽類&gt;</b>			
高架水槽	FRP製、寸法 (2.0m x 3.5m x 1.5H) 電極棒 (5P)、その他共	1	
消火用・補給水槽	FRP製、寸法 (2.0m x 3.5m x 1.5H) 電極棒 (3P)、その他共	1	
<b>&lt;弁類・付属品類&gt;</b>			
GV (ゲートバルブ)	150GV (JIS 5K)	1	
	65GV (JIS 10K)	1	
	50GV (JIS 5K)	1	
	25GV (JIS 5K)	1	
CV (チャッキバルブ)	65CV (JIS 10K)	1	
FJ (伸縮管継手)	150FJ (SUS-5K)、ベローズ	1	
	65FJ (SUS-10K)、ベローズ	1	
BT (ボールタップ)	20φ	1	
VC (バンドキャップ)	65VC	1	
防虫網	50φ	1	
間接排水口	100-50φ	1	



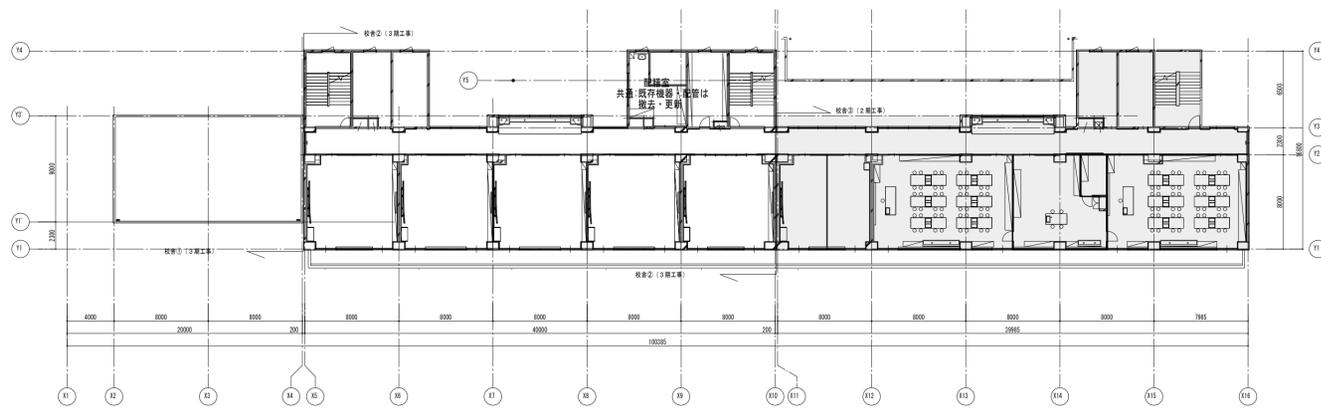
外便所詳細図 1/50

# 6月～夏休み前まで

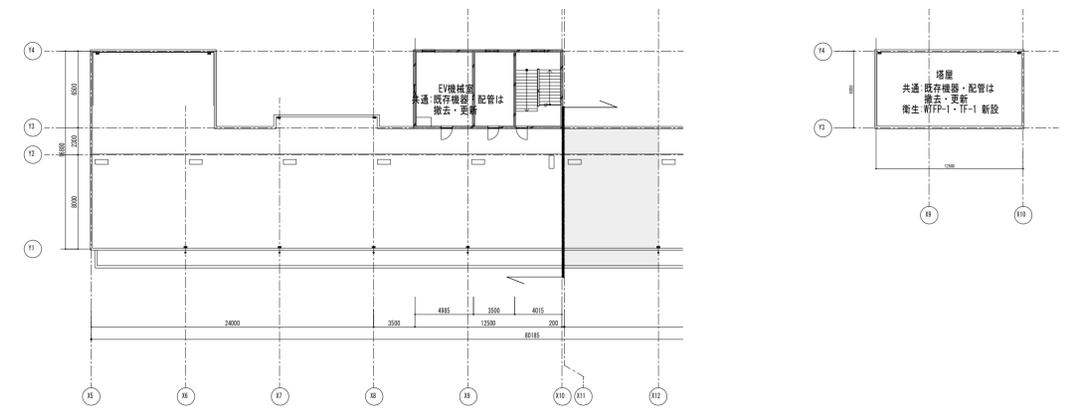


■ 注記  
 工事対象外

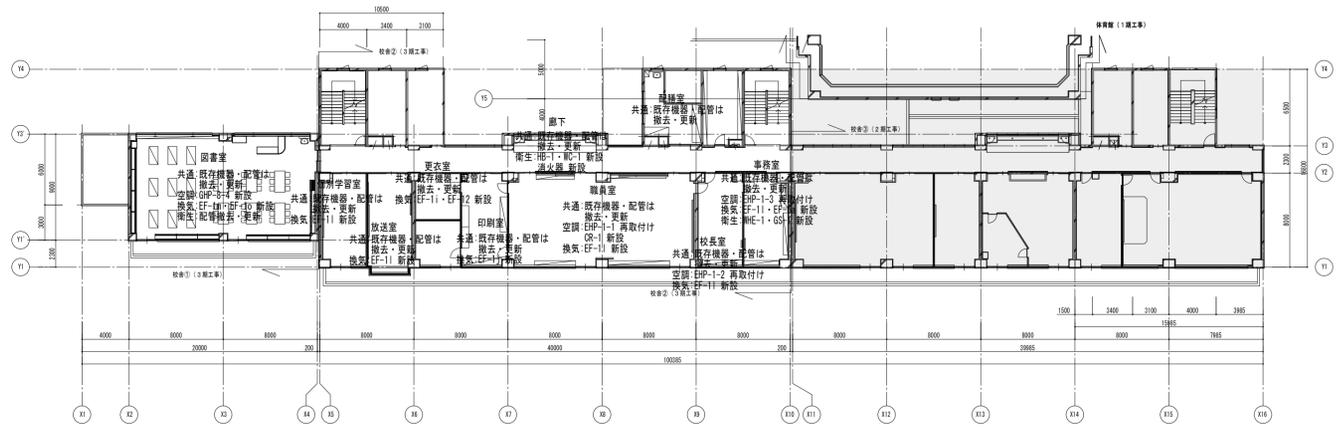
# 夏休み中



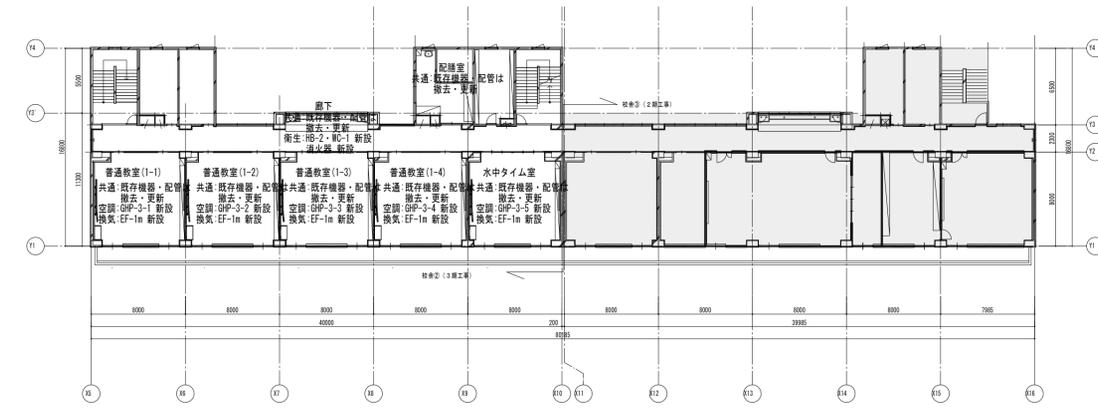
3階平面図 3階：配膳室の改修工事を行う。



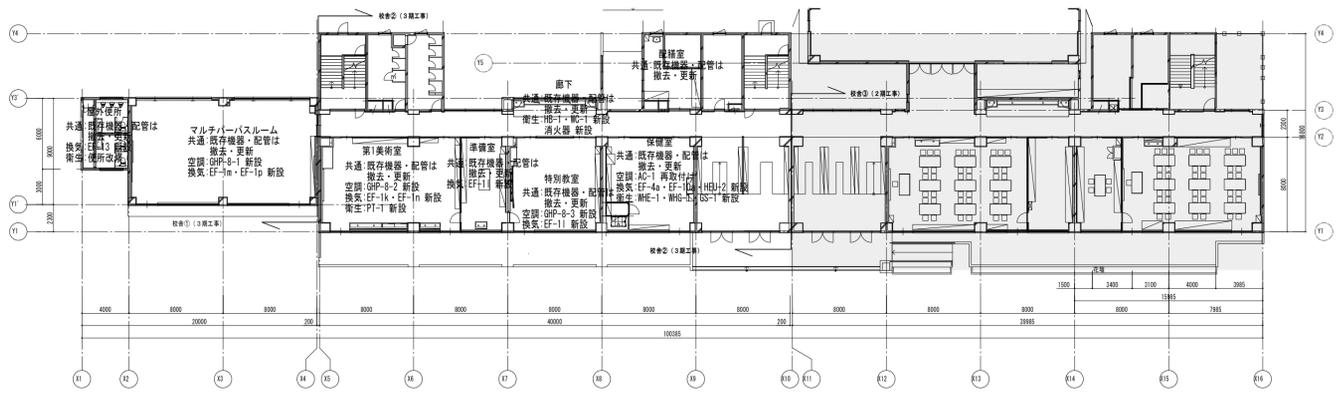
屋根・棟屋平面図 屋根・塔屋：改修工事を行う。



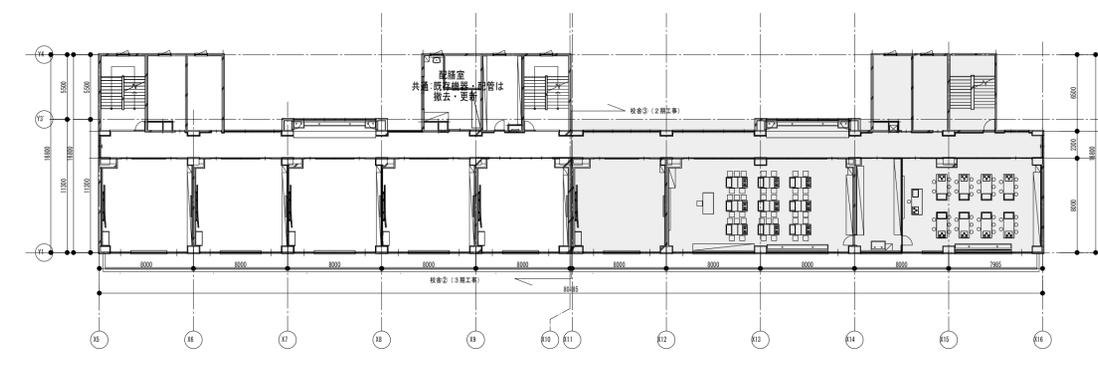
2階平面図 2階：改修工事を行う。



5階平面図 5階：改修工事を行う。



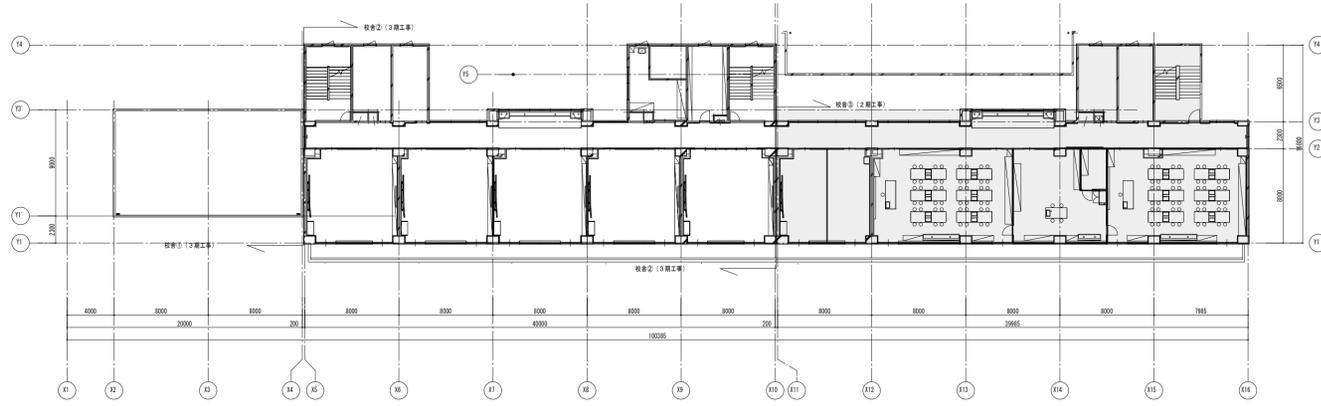
1階平面図 1階：改修工事を行う。



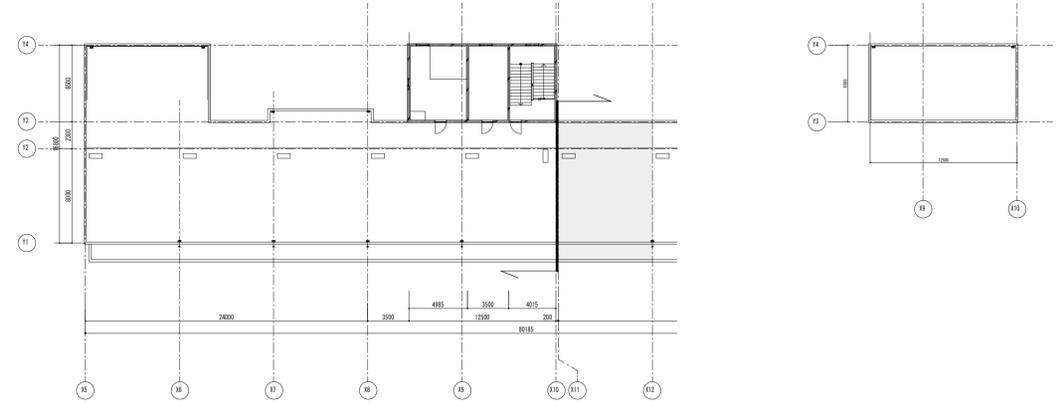
4階平面図 4階：配膳室の改修工事を行う。

■ 注記  
 工事対象外

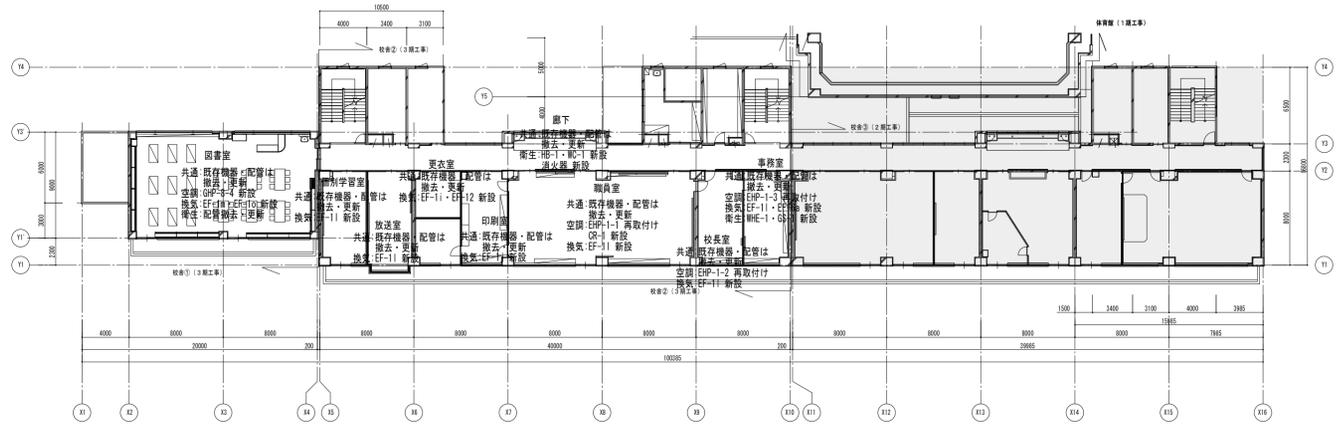
# 夏休み後～11月末まで



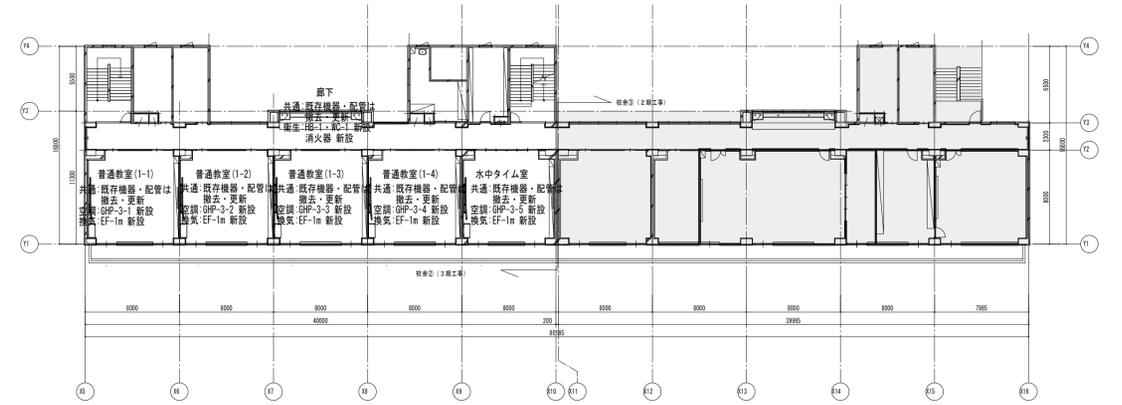
3階：通常通りの授業を行う。



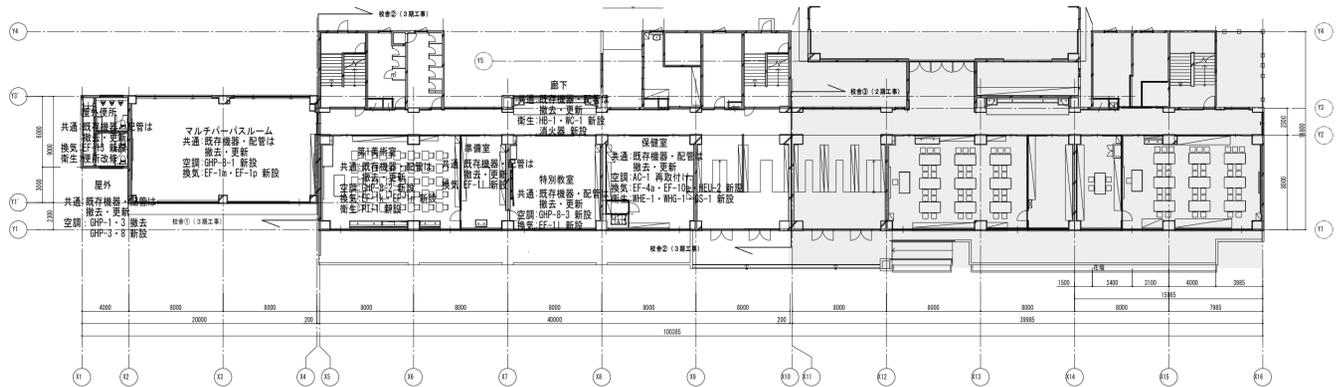
屋根・塔屋：通常通りの運営を行う。



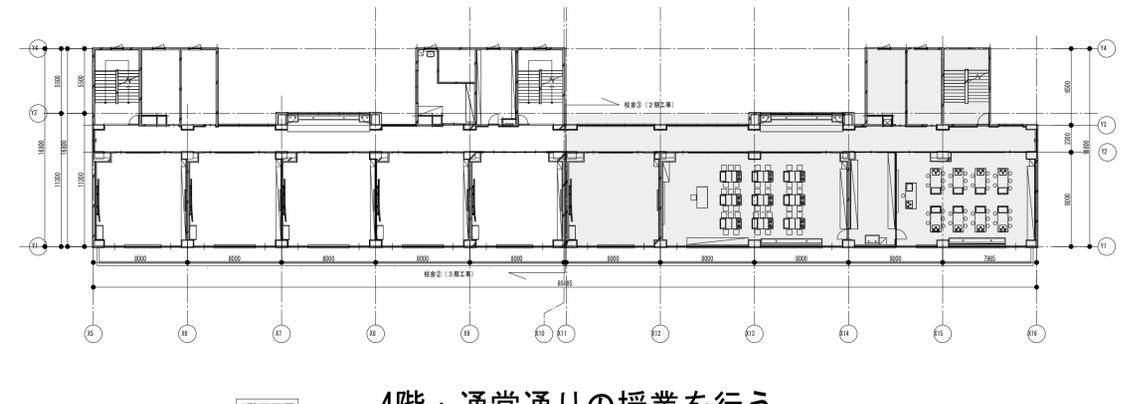
2階：配膳室以外の改修工事を行う。



5階：配膳室以外の改修工事を行う。



1階：配膳室以外の改修工事を行う。



4階：通常通りの授業を行う。

■ 注記  
 工事対象外

■凡例	
記号	内容
○	騒音振動計を示す
↑	通用口（鋼製片開ドア：W0.9×H2.0）を示す
~~~~~	仮門（パネルゲート：W=4,700×H=4,500）を示す
~~~~~	仮門（キャストゲートW=3,000×H=1,800）を示す
-----	仮囲（B型バリケード H=1,800）を示す
⊠	枠組本足場（W=900）を示す （養生シート：防災1類）
⊠	枠組本足場（W=600）を示す （養生シート：防災1類）
⊠	単管ブラケット足場を示す （養生シート：防災1類）
人	交通誘導員（重機搬入時は2人体制とする）
⊠	鉄板敷き範囲を示す
■備考 外部足場と干渉する植栽については、監督員と協議の上、枝払いをすること。	

■石綿除去工事時必要ヤード

